SONY

4-653-694-**01** (1)

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と本機を使う前の必要な準備について説明しています。この説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

ノートブックコンピューター

PCG-R505 Series

Microsoft® Windows® 2000 Professional 搭載モデル

i™ S400

MG™

© 2001 Sony Corporation

⚠警告 安全のために

ソニー製品は安全に十分配慮して設計されています。しかし、電気製品はまちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故につながることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

5〜11ページの注意事項をよくお読みください。
製品全般の注意事項が記載されています。

故障したら使わない

すぐにVAIOカスタマーリンク修理窓口に修理をご依頼ください。

万一異常が起きたら

- **煙が出たら**
- **異常な音、においがしたら**
- **内部に水、異物が入ったら**
- **製品を落としたり、キャビネットを破損したとき**

❶ 電源を切る

❷ 電源コードや接続ケーブルを抜き、バッテリを取りはずす

❸ VAIOカスタマーリンク修理窓口に修理を依頼する

データはバックアップをとる

ハードディスク内の記録内容は、バックアップをとって保存してください。ハードディスクにトラブルが生じて、記録内容の修復が不可能になった場合、当社は一切その責任を負いません。

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠危険

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。

⚠警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなどの人身事故につながることがあります。

⚠注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号

行為を禁止する記号

行為を指示する記号

電気通信事業法に基づくモデム認証番号について

本機内蔵のモデムは、電気通信事業法による端末機器技術基準認証を取得している下記の機器です。
認証機器名：T62M159.00
認証申請社名：AMBIT Microsystems Corporation
認証番号：A00-0813JP

電源高調波抑制規制について

社団法人電子情報技術産業協会（旧JEIDA） 家電・汎用品高調波抑制対策ガイドライン実行計画に基づく定格入力電力値：49.5 W

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

漏洩電流自主規制について

この装置の本体およびディスプレイは、それぞれ社団法人電子情報技術産業協会（旧JEIDA）のパソコン基準（PC-11-1988）に適合しております。

瞬時電圧低下について

本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお薦めします。
（社団法人電子情報技術産業協会（旧JEIDA）のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示）

*充電されたバッテリ使用時には、無停電電源装置等は不要です。

レーザー安全基準について

本機専用のドッキングステーションには、レーザーに関する安全基準(JIS・C-6802)クラス1適合のCD-RW/DVD-ROM一体型ドライブまたはDVD-ROMドライブが搭載されています。

目次

⚠警告・⚠危険・⚠注意 5
付属品を確かめる 12
こんなことができます 14
各部のなまえ 17

準備する

電源を入れる 22
Windows 2000を準備する 26
電源を切る 31
カスタマー登録する／
インターネットに接続する 32

マニュアルの使いかた

マニュアルの使いかた 40
本機のオンラインマニュアル
を見るには 41
オンラインマニュアル
を見るには 46
ヘルプを見るには 47

基本的な使いかた

タッチパッドを使う 50
キーボードを使う 52
キーボードショートカット
..... 56

ドッキングステーションを取り付けて使う

ドッキングステーションを使って
できること 60
ドッキングステーションの
各部のなまえ 61
ドッキングステーションの
主な接続例 63
ドッキングステーションを
取り付ける／取りはずす 64
ドッキングステーションを
取り付ける 64
ドッキングステーションを
取りはずす 66

困ったときは

トラブルを解決するには 70
主なトラブルとその解決方法 73

その他

コンピュータウイルスについて
..... 104
メモリを増設する 109
リカバリ CDで本機を
再セットアップする 115
パーティションサイズを
変更する 121
使用上のご注意 124
お手入れ 129
保証書とアフターサービス 130
主な仕様 132
付属ソフトウェアについて 135
索引 143

⚠警告

火災　感電

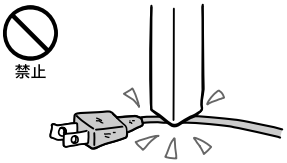
下記の注意事項を守らないと火災・感電などにより死亡や大けがの原因となります。

電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。

- 本機と机や壁などの間にはさみこんだりしない。
- 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけたり、加熱したりしない。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

万一、電源コードが傷んだら、VAIOカスタマーリンク修理窓口に交換をご依頼ください。



油煙、湯気、湿気、ほこりの多い場所には置かない

上記のような場所に置くと、火災や感電の原因となります。取扱説明書に記されている使用条件以外の環境でのご使用は、火災や感電の原因となります。

内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電源コードや接続ケーブルを抜いて、VAIOカスタマーリンク修理窓口に点検・修理をご依頼ください。

内部をむやみに開けない

- 本機および付属の機器（ケーブルを含む）は、むやみに開けたり改造したりすると火災や感電の原因となります。内部の点検、修理はVAIOカスタマーリンク修理窓口にご依頼ください。
- メモリを増設するときは、「メモリを増設する」（109ページ）に従って注意深く作業してください。また、指定されている部分以外には触れないでください。指定以外の部分にむやみに触れると、火災や感電の原因となります。

次のページにつづく

⚠警告

火災　感電

下記の注意事項を守らないと火災・感電などにより死亡や大けがの原因となります。

指定のACアダプタ以外は使用しない

火災や感電の原因となります。

ひざの上で長時間使用しない

長時間使用すると本体の底面が熱くなり、低温やけどの原因となります。

本機は日本国内専用です

本機に内蔵されているモデムは国内専用です。
海外などでモデムを使用すると、故障・火災・感電の原因となることがあります。

モデムは一般電話回線以外に接続しない

本機の内蔵モデムをISDN（デジタル）対応公衆電話のデジタル側のジャックや、構内交換機（PBX）へ接続すると、モデムに必要以上の電流が流れ、故障・発熱・火災の原因となります。
特に、ホームテレホン・ビジネスホン用の回線などには、絶対に接続しないでください。

品（ネットワーク）コネクタに指定以外のネットワークや電話回線を接続しない

本機の品（ネットワーク）コネクタに下記のネットワークや回線を接続すると、コネクタに必要以上の電流が流れ、故障や発熱、火災の原因となります。
特に、ホームテレホンやビジネスホンの回線には、絶対に接続しないでください。

- 10BASE-Tと100BASE-TXタイプ以外のネットワーク
- 一般電話回線
- ISDN（デジタル）対応公衆電話のデジタル側のジャック
- PBX（デジタル式構内交換機）回線
- ホームテレホンやビジネスホンの回線
- 上記以外の電話回線など

また、品（ネットワーク）コネクタをお使いになるときは、職場などのネットワーク管理者にご相談ください。

⚠警告 **下記の注意事項を守らないと、**
健康を害するおそれがあります。

ディスプレイ画面を長時間続けて見ない

ディスプレイなどの画面を長時間見続けると、目が疲れたり、視力が低下するおそれがあります。
ディスプレイ画面を見続けて体の一部に不快感や痛みを感じたときは、すぐに本機の使用をやめて休息してください。万一、休息しても不快感や痛みがとれないときは医師の診察を受けてください。

キーボードを使いすぎない

キーボードやタッチパッドなどを長時間使い続けると、腕や手首が痛くなったりすることがあります。
キーボードやタッチパッドを使用中、体の一部に不快感や痛みを感じたときは、すぐに本機の使用をやめて休息してください。万一、休息しても不快感や痛みがとれないときは医師の診察を受けてください。

大音量で長時間つづけて聞きすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。
特にヘッドホンで聞くときはご注意ください。
呼びかけられて返事ができるくらいの音量で聞きましょう。

⚠注意 下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり周辺の**物品**に**損害**を与えたりすることがあります。

ぬれた手で電源プラグにさわらない

ぬれた手で電源プラグの抜き差しをすると、
感電の原因となることがあります。

接続するときは電源を切る

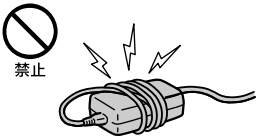
電源コードや接続ケーブルを接続するときは、
本機や接続する機器の電源を切り、ACアダプタや
電源コードをコンセントから抜いてください。
感電や故障の原因となることがあります。

指定された電源コードや接続ケーブルを使う

取扱説明書に記されている電源コードや接続
ケーブルを使わないと、感電や故障の原因となる
ことがあります。

電源コードや接続ケーブルをACアダプタに巻き付けない

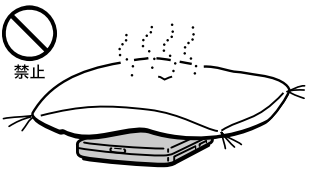
断線や故障の原因となることがあります。



通風孔をふさがない

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災や故障
の原因となることがあります。風通しをよくする
ために次の項目をお守りください。

- 毛足の長い敷物（じゅうたんや毛布など）の
  上に放置しない。
- 布などでくるまない。



通電中の本体やACアダプタに長時間ふれない

長時間皮膚がふれたままになっていると、
低温やけどの原因となることがあります。

本体やACアダプタを布や布団などでおおった状態で使用しない

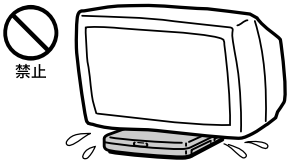
熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。

安定した場所に置く

ぐらついた台の上や傾いたところなどに置かないでください。また、横にしたり、ひっくり返して置いたりしないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

本機の上に重いものを載せない

壊れたり、落ちたりして、けがの原因となることがあります。



お手入れの際は、電源を切ってプラグを抜く

電源を接続したままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。

移動させるときは、電源コードや接続ケーブルを抜く

接続したまま移動させると、ケーブルが傷つき、火災や感電の原因となったり、接続している機器が落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
また、本機を落とさないようにご注意ください。

コネクタはきちんと接続する

- コネクタの内部に金属片を入れないでください、ピンとピンがショート（短絡）して、火災や故障の原因となることがあります。
- コネクタはまっすぐに差し込んで接続してください。斜めに差し込むと、ピンとピンがショートして、火災や故障の原因となることがあります。
- コネクタに固定用のスプリングやネジがある場合は、それらで確実に固定してください。接続不良が防げます。

次のページにつづく

⚠注意 **下記の注意事項を守らないと<u>けが</u>をしたり周辺の<u>物品</u>に<u>損害</u>を与えたりすることがあります。**

落雷のおそれがあるときは、電源プラグなどを抜く

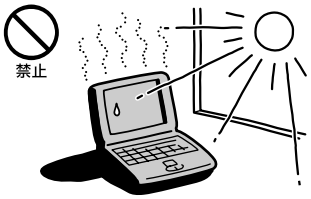
落雷のおそれがあるときは、テレホンコードや電源プラグを抜いてください。落雷により本機が破壊され、故障の原因となることがあります。

長時間使用しないときは電源プラグを抜く

長時間使用しないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。

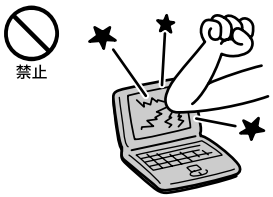
直射日光のあたる場所や熱器具の近くに設置・保管しない

内部の温度が上がり、火災や故障の原因となることがあります。



液晶画面に衝撃を与えない

液晶画面はガラス製のため、強い衝撃を与えると割れて、けがの原因となることがあります。



ディスプレイパネルの裏側を強く押さない

液晶画面が割れて、故障やけがの原因となることがあります。

本体に強い衝撃を与えない

故障の原因となることがあります。

電池についての安全上のご注意

漏液、発熱、発火、破裂などを避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

⚠危険

- 指定された充電方法以外で充電しない。
- 火の中に入れない。ショートさせたり、分解しない。電子レンジやオーブンで加熱しない。コインやヘヤーピンなどの金属類と一緒に携帯、保管するとショートすることがあります。
- 火のそばや炎天下などで充電したり、放置しない。
- バッテリに衝撃を与えない。
  落とすなどして強いショックを与えたり、重いものを載せたり、圧力をかけないでください。故障の原因となります。
- バッテリから漏れた液が目に入った場合は、きれいな水で洗った後、ただちに医師に相談してください。
- 本体付属または別売りのバッテリ以外は使用しないでください。

⚠警告

バッテリを廃棄する場合は、以下のご注意をお守りください。

- 地方自治体の条例などに従う。
- 一般ゴミに混ぜて捨てない。

または、ソニーサービスステーションにお持ちください。

本機の発熱についてのご注意

使用中に本体の底面やACアダプタが熱くなることがあります

CPUの動作や充電時の電流によって発熱してますが、
故障ではありません。使用している拡張
機器やソフトウェアによって発熱量は異なります。

本体やACアダプタが普段よりも異常に熱くなったときは

本機の電源を切り、ACアダプタの電源コードを抜き、
バッテリを取りはずしてください。次に、VAIO
カスタマーリンク修理窓口に修理をご依頼くだ
さい。

付属品を確かめる

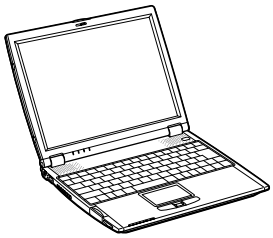
本機を初めて使うにあたって、以下のものがすべてそろっているかご確認ください。

❑ マークにチェックしながら確認すると便利です。

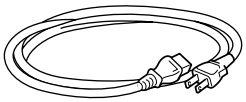
付属品が足りないときや破損しているときは、VAIO(バイオ)カスタマーリンクにご連絡ください。

なお、付属品は本機のみで動作保証がされています。

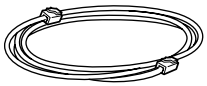
❑ **パソコン本体**（1）



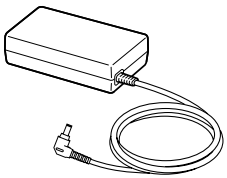
❑ **電源コード**（1）



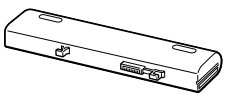
❑ **テレホンコード**（1）



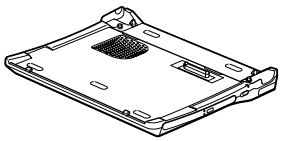
❑ ACアダプタ（1）



❑ **バッテリ**（1）



❑ **ドッキングステーション** PCGA-DSM5（1、PCG-R505R/DK**のみ**）



説明書およびCD-ROM

- ❑ 取扱説明書（本書、1）
- ❑ はじめてのインターネット！（1）
- ❑ 「Microsoft® Windows® 2000 Professional*」クイックスタートガイド（1）
- ❑ リカバリ CD-ROM パッケージ（1）

ご注意

リカバリ CD-ROMを使うには、下記のドッキングステーションまたは専用ドライブのいずれかが必要です。
ドライブをお使いになるときは、各ドライブに付属の取扱説明書もあわせてご覧ください。

- CD-RW/DVDドッキングステーション PCGA-DSM5
- DVDドッキングステーション PCGA-DSD5
- CD-ROMドライブ PCGA-CD51 Series
- CD-RWドライブ PCGA-CDRW5_ Series

* 以降、Windows 2000と略します。

その他

- ❑ VAIOカスタマー登録、保証書お申込書（1）
- ❑ VAIOサービス・サポートのご案内（1）
- ❑ VAIOカルテ（1）
- ❑ ソフトウェア使用許諾契約書（1）
- ❑ その他パンフレット類

本機に付属のソフトウェアについては、「付属ソフトウェアについて」（135ページ）をご覧ください。

本書内のイラストや画面について

本書で使われているイラストや画面は実際のものとは異なる場合があります。
特に指示のない限り、本文中のイラストにはPCG-R505R/DKを使用しています。

こんなことができます

本機は12.1型の大型液晶ディスプレイを搭載し、約1.7 kg（バッテリを含む）の軽量ボディーに、モバイル環境で便利な機能を満載しています。旅行や出張などのおともに気軽に持ち運べます。
ここでは、本機を使ってできることの例をご紹介します。

ドッキングステーションを使う

本機にドッキングステーションを取り付けると、CDやフロッピーディスクなどのディスクを使うことができ、またプリンタなどより多くの周辺機器を接続できます。
また、本機にドッキングステーションを取り付けたままバッテリのみでも使用できるので、そのまま持ち運んでお使いいただけます。
詳しくは、「ドッキングステーションを取り付けて使う」（59ページから）をご覧ください。

ネットワークを利用する

本機はネットワークコネクタを装着しているので、職場などのLAN（ラン）に直接接続することができます。

“マジックゲートメモリースティック”で音楽を楽しむ

付属の「OpenMG Jukebox（オープンエムジージュークボックス）」ソフトウェアを使ってインターネットから配信された音楽データや、音楽CDの曲を本機に取り込んで再生することができます。また、取り込んだ音楽ファイルを本機のマジックゲート対応メモリースティックスロット（以降、メモリースティックスロットと略します。）に挿入した“マジックゲートメモリースティック”に転送（チェックアウト）し、対応のポータブルプレーヤーなどで再生することもできます。

画像を取り込む

本機のi.LINK（アイリンク）コネクタにつないだi.LINK（アイトリプルイー）（IEEE1394）インターフェイスを持つデジタルビデオカメラレコーダーなどから、デジタル信号のままで美しい画像を取り込めます。
また、“メモリースティック”対応のソニー製デジタルスチルカメラやデジタルビデオカメラレコーダーで“メモリースティック”に画像を取り込んで、本機のメモリースティックスロットに挿入してデータを取り込むこともできます。

i.LINKとは？

i.LINKは、i.LINKコネクタを持つ機器間で、デジタル映像やデジタル音声などのデータを双方向でやりとりしたり、他機をコントロールしたりするためのデジタルシリアルインターフェイスです。i.LINKについて詳しくは、本機オンラインマニュアルの「VAIO Inform@tion」内「知っ得情報」の「i.LINKとは」をご覧ください。

取り込んだ画像を活用する

取り込んだ画像は、付属の「PictureGear（ピクチャーギア）」ソフトウェアで簡単に管理ができます。

付属の「MovieShaker（ムービーシェーカー）」ソフトウェアを使えば、文字タイトルなどのさまざまな特殊効果を加えるなど、簡単に動画編集ができます。

また、インターネット上のサービス「ImageStation（イメージステーション）」を利用すれば、「PictureGear」や「SmartCapture（スマートキャプチャー）」ソフトウェアを使って、「ImageStation」に好きな画像をアップロードして保管したり、パスワードをつけて特定の人だけに公開することもできます。

VAIO間でファイルを共有する

「Smart Connect（スマート　コネクト）」に対応したVAIO（バイオ）と本機を別売りのi.LINKケーブルで接続し、お互いのファイルをコピーしたり、削除、編集などを行うことができます。また、接続先のVAIOにつないだプリンタを使って印刷することもできます。

AV再生を楽しむ

付属の「Media Bar（メディア　バー）」ソフトウェアを使って、音楽CDなどを再生できます。

使用状況に応じて動作速度が自動的に切り替わる

ACアダプタに接続して使用しているときは、CPUのスピードを上げて、本機の動作速度を速くすることができます。

バッテリを装着して使用するときは、CPUのスピードを下げてバッテリ駆動時間を長持ちさせます。

次のページにつづく

センタージョグを便利に使う

センタージョグを回したり押したりするだけで、ポインタを動かさずにアクティブウィンドウを上下にスクロールしたり、［スタート］メニューやアクティブウィンドウのプルダウンメニューから項目を選択するなど、さまざまな操作が簡単にできます。

タッチパッド左右ボタンの中央部に配置されているので、キーボードのホームポジションからの操作がスムーズに行えます。

また、付属の「VAIO Action Setup（バイオ アクション セットアップ）」ソフトウェアを使って、センタージョグを押しただけで好みのソフトウェアを起動させたり、タイマー機能を使って深夜に自動的に電子メールを取り込むこともできます。

バッテリを上手に使う

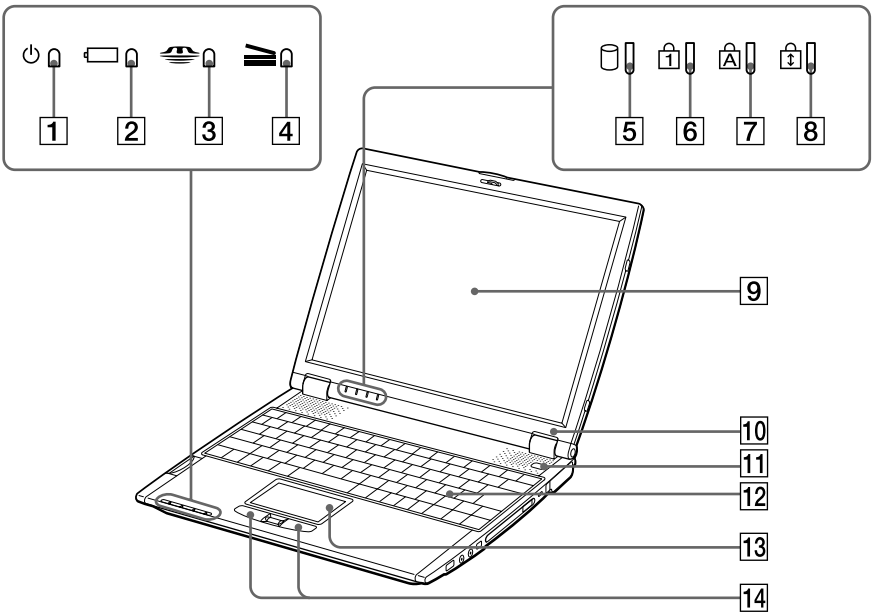
付属の「PowerPanel（パワー パネル）」ソフトウェアを使って、バッテリでの使用時間を優先する動作環境に設定したり、バッテリの残量などを簡単に把握することができます。

これらの機能をお使いいただくには、最初に、本書に沿って一通りに準備を完了しておく必要があります。「準備する」（21ページから）の説明に従って、本機の準備を行ってください。

また、それぞれの操作について詳しくは、本機または各ソフトウェアのオンラインマニュアルをご覧ください（40ページ）。

各部のなまえ

詳しい説明は、（ ）内のページをご覧ください。



1 ⏻ **（パワー）ランプ**（24**ページ**）

2 **（バッテリ）ランプ**

3 **“メモリースティック”ランプ**

4 **（ドッキングステーション）ランプ**（67**ページ**）

5 **（ハードディスク）ランプ**

6 (Num Lock) **ランプ**（52、55、77**ページ**）

7 (Caps Lock) **ランプ**（54、77**ページ**）

8 (Scroll Lock) **ランプ**

9 **液晶ディスプレイ**（57、83、124**ページ**）

10 **IDラベル**（72、131**ページ**）
型名が記載されています。

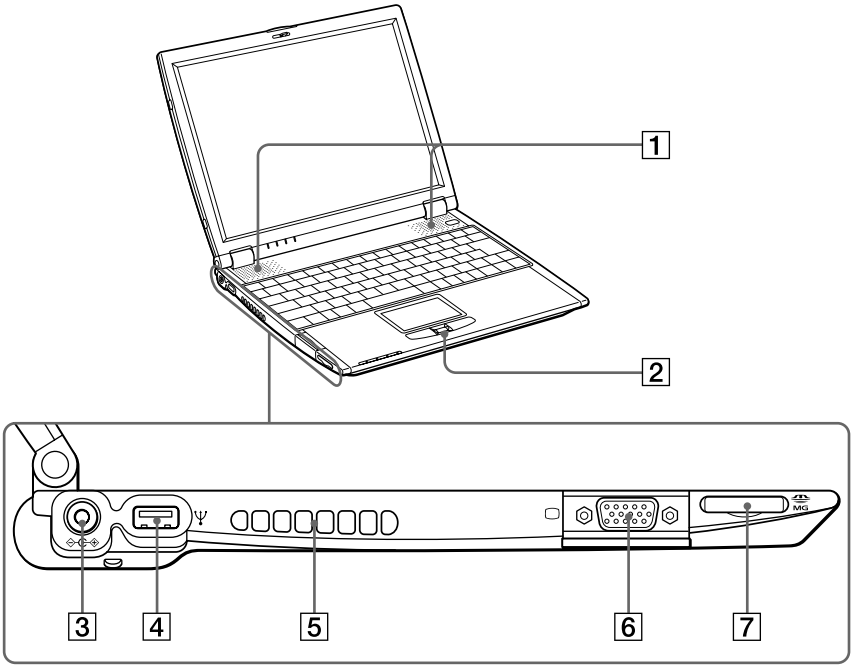
11 ⏻ **（パワー）ボタン**（24**ページ**）

12 **キーボード**（52、85**ページ**）

13 **タッチパッド**（50、85**ページ**）

14 **左／右ボタン**（50**ページ**）

本機左側面



1 **内蔵ステレオスピーカー**
(57、97ページ)

2 **センタージョグ (16ページ)**

3 ⟐ **(DC IN) コネクタ**
(23ページ)

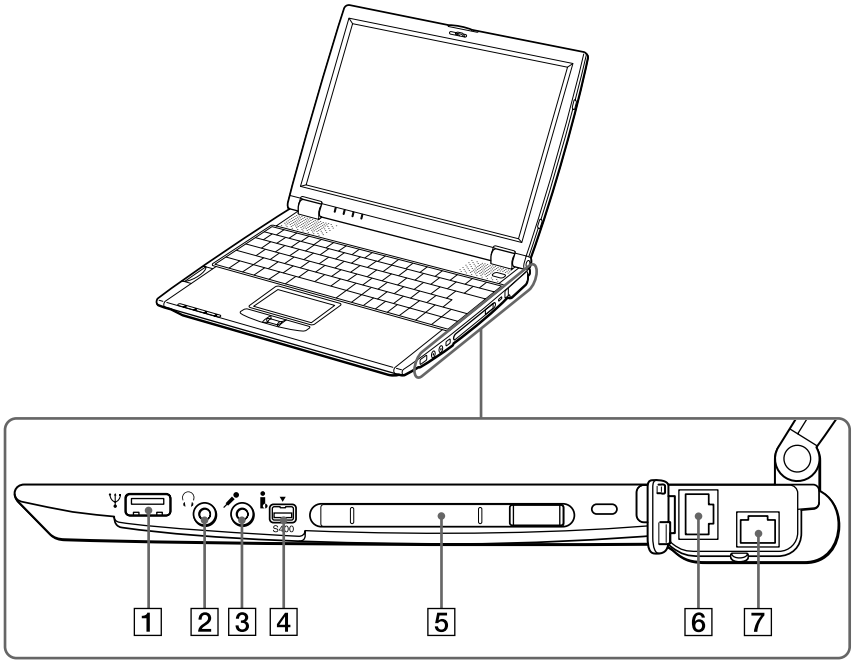
4 USB**コネクタ**

5 **通風孔**

6 MONITOR**コネクタ**

7 MG **(マジックゲート対応**
メモリースティック) スロット
(14ページ)

本機右側面



1 USB**コネクタ**

2 **(ヘッドホン) コネクタ**

3 (MIC IN) **コネクタ**

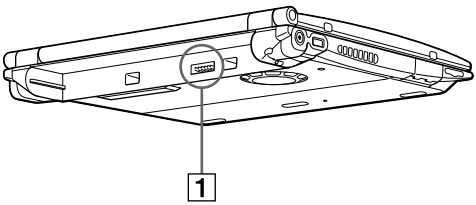
4 S400 (i.LINK) **コネクタ**

5 **PCカードスロット**
(127ページ)

6 **(ネットワーク) コネクタ**
(6ページ)

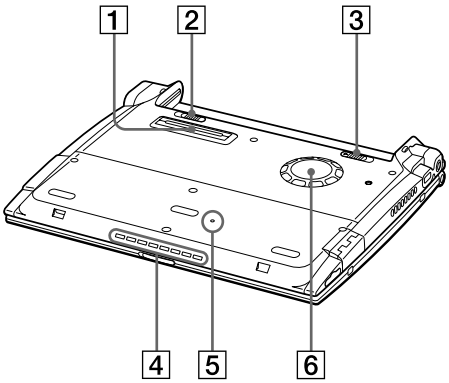
7 **モジュラジャック**
(33、79ページ)

本機後面



1 バッテリコネクタ

本機底面



1 ドッキングコネクタ

2 ロックレバー（22ページ）

3 取りはずしレバー

4 通風孔

5 リセットスイッチ（76ページ）

6 通風孔

準備する

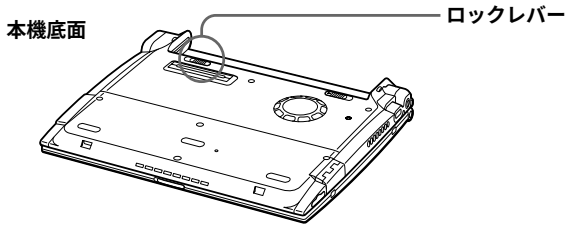
電源を入れる

以下の手順に従って、本機の電源を入れてください。

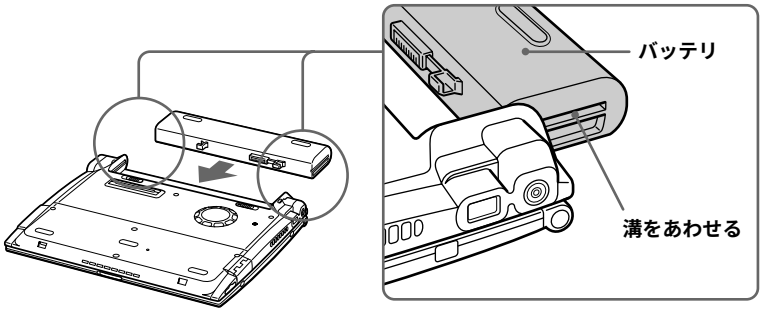
1 バッテリを取り付ける。

停電や誤ってAC電源がはずれ、作業中のデータが失われてしまうことのないよう、付属のバッテリを取り付けます。

① 本機底面のロックレバーが外側（UNLOCK側）にあることを確認する。



② 本機後面とバッテリ両端の溝をあわせ、「カチッ」と音がするまでバッテリを差し込む。



③ ロックレバーを内側（LOCK側）へずらして、バッテリを固定する。

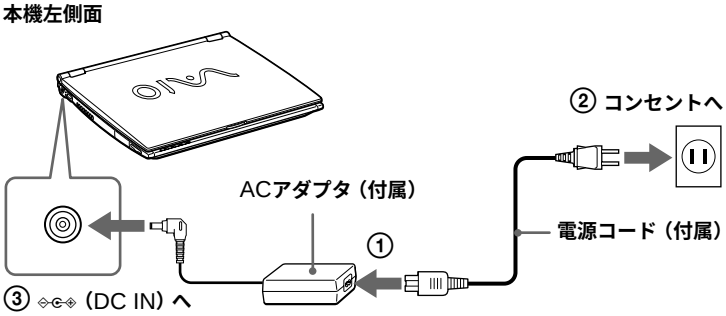
2 AC電源をつなぐ。

本機と壁のACコンセントを接続します。

① 電源コードのプラグをACアダプタに差し込む。

② 電源コードのもう一方のプラグを、壁のコンセントに差し込む。

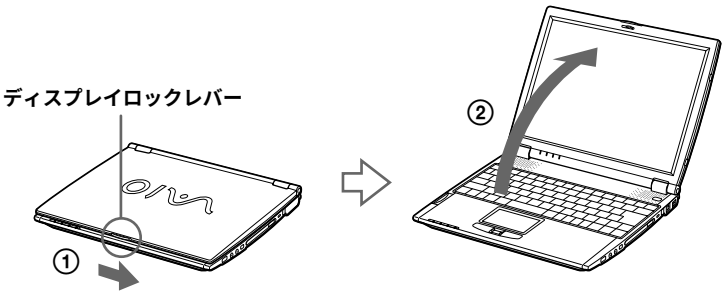
③ ACアダプタのプラグを、本機左側面の⟐⟐（DC IN）に差し込む。



3 ディスプレイパネルを開く。

① ディスプレイロックレバーを矢印の方向にずらす。

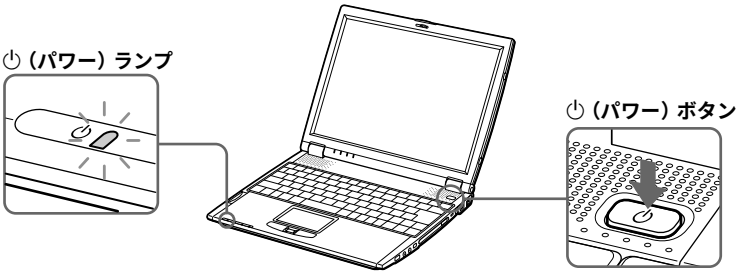
② ディスプレイパネルを開く。



4 ⏻（パワー）ボタンを押し、⏻（パワー）ランプが点灯（グリーン）したら離す。

キーボード右上の ⏻（パワー）ボタンを押します。

電源が入ると、⏻（パワー）ランプが点灯し、Windows 2000のロゴの画面が表示され、本機が起動します。



本機の電源を初めて入れる場合は、Windows 2000のロゴの画面が表示され、しばらくして「Windows 2000 セットアップ ウィザードの開始」の画面が表示されます。

「Windows 2000を準備する」(26ページ) の手順に従って、Windows 2000のセットアップを行ってください。

ご注意

⏻（パワー）ボタンを4秒以上押したままにすると、電源が切れてしまいます。

⏻（パワー）ランプが点灯したら指を離してください。

本機はエネルギースター規格に基づいて設計されており、工場出荷時の設定では、AC電源でご使用中に30分以上操作しないと、自動的に本機の液晶ディスプレイが暗くなります（LCD/Videoスタンバイ*1）。タッチパッドに触れるかキーボードのいずれかのキーを押すと、元の状態に戻ります。

また、バッテリで長時間使用できるようにするため、工場出荷時の設定では、バッテリでご使用中に数分間以上操作をしないと自動的に本機の液晶ディスプレイが暗くなります（LCD/Videoスタンバイ*1またはスタンバイ*1）。

さらに数分間以上操作をしないとシステムの状態をハードディスクに書き込んでから自動的に本機の電源を切ります（休止状態）。

元の状態に復帰させるには、⏻（パワー）ランプの状態により次の操作を行ってください。

- ⏻（パワー）ランプがグリーンで点灯（LCD/Videoスタンバイ）
  キーボードのいずれかのキーを押す。
- ⏻（パワー）ランプがアンバー（赤褐色）で点滅（スタンバイ）
  キーボードのいずれかのキーまたは⏻（パワー）ボタンを押す*2。
- ⏻（パワー）ランプが消灯（休止状態または電源オフ）
  ⏻（パワー）ボタンを押す*2。

*1 詳しくは、本機オンラインマニュアルの「VAIO Inform@tion」内「知っ得情報」の「省電力動作モードについて」をご覧ください。

*2 ⏻（パワー）ボタンを4秒以上押しつづけると保存された状態が破棄されますのでご注意ください。

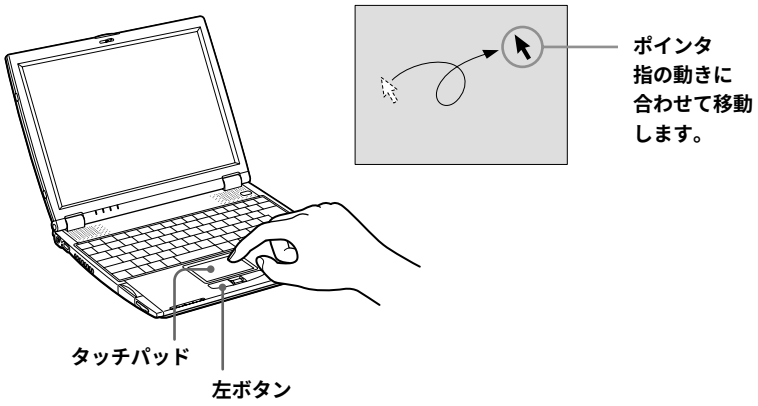
Windows 2000を準備する

本機を使う前に、Windows 2000を使うための準備が必要です。
Windows 2000が使える状態になると、本機に付属のソフトウェアやいろいろな機能も使えるようになります。以下の手順に従って、Windows 2000を使う準備をします。

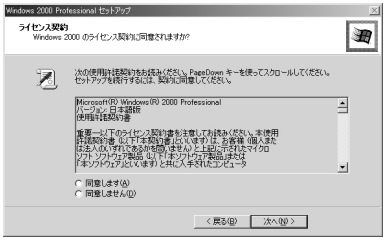
- 停電や誤ってAC電源がはずれ、作業中のデータが失われてしまうことのないよう、以下の操作を行う前に付属のバッテリを本機に取り付けてください。
  取り付けかたについては、「電源を入れる」(22ページ) の手順1をご覧ください。
- 「基本的な使いかた」(49ページ) では、タッチパッドやキーボードの使いかたについて説明しています。そちらもあわせてご覧ください。

1 「Windows 2000 セットアップ ウィザードの開始」画面が表示されたら (24ページ)、[次へ] をクリックする。

タッチパッドに触れて指を動かし、[次へ(N) >] の上までポインタを移動し、左ボタンを「カチッ」と1回押してすぐに離します。
これを「クリックする」と言います。

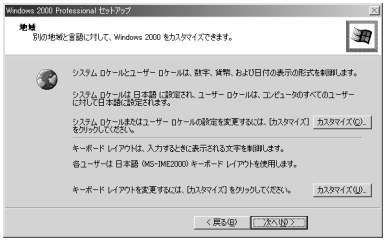


「ライセンス契約」画面が表示されます。



2 表示された内容を読み、内容に同意するときは［同意します］の ○ をクリックして ◉ にし、［次へ］をクリックする。

「地域」画面が表示されます。



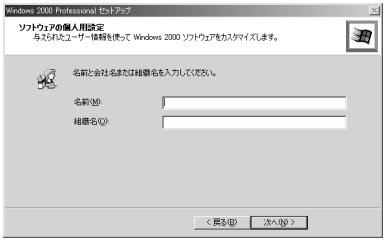
ご注意

[同意しません] の ○ をクリックすると、Windows 2000の準備作業は中止され、Windows 2000と本機に入っているソフトウェアはお使いになれません。

3 ［次へ］をクリックする。

設定を変更したい場合は［カスタマイズ］をクリックして設定し直し、［次へ］をクリックします。

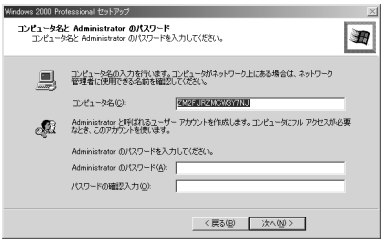
「ソフトウェアの個人用設定」画面が表示されます。



次のページにつづく

4 **名前と、必要な場合は組織名を入力し、［次へ］をクリックする。**

「コンピュータ名とAdministratorのパスワード」画面が表示されます。



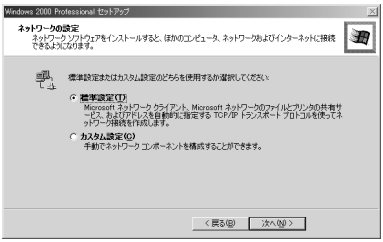
5 **Administratorのパスワードを入力し、必要な場合はコンピュータ名を変更して、［次へ］をクリックする。**

「日付と時刻の設定」画面が表示されます。

Administratorは、ハードウェアやソフトウェアの設定を変更できる管理者権限（Administrators）のある、あらかじめ用意されたユーザー名です。
セキュリティ確保のためにパスワードを設定しておくことをおすすめします。
また、パスワードは忘れないよう充分ご注意ください。

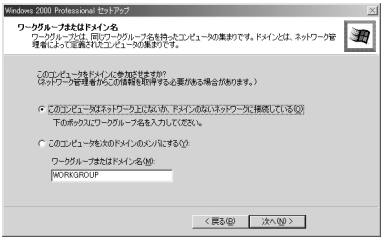
6 **日付と時刻およびタイムゾーンを確認し、［次へ］をクリックする。**

「ネットワークの設定」画面が表示されます。



7 **ネットワークの設定方法を選び、［次へ］をクリックする。**

「ワークグループまたはドメイン名」画面が表示されます。



8 **ネットワーク環境に合わせて設定し、［次へ］をクリックする。**

自動的に設定が行われ、「Windows 2000 セットアップ ウィザードの完了」画面が表示されます。

9 **［完了］をクリックする。**

本機が自動的に再起動し、「ネットワーク識別ウィザード」が表示されます。

10 **［次へ］をクリックする。**

「このコンピュータのユーザー」画面が表示されます。

11 **ログオン時のオプションを選択し、［次へ］をクリックする。**

「ネットワーク識別ウィザードの終了」画面が表示されます。

「常に次のユーザーがこのコンピュータにログオンすると仮定する」を選択した場合、表示されるユーザー名は管理者権限（Administrators）のあるユーザーです。

セキュリティ確保のためにパスワードを設定しておくことをおすすめします。また、パスワードは忘れないよう充分ご注意ください。

次のページにつづく

12 [完了] をクリックする。

これでWindows 2000が使えるようになりました。

ご注意

- 本機に付属のOS（Operating System）以外をインストールした場合の動作保証はいたしかねます。
- ハードディスクの内容を工場出荷時の状態に戻すには、下記のドッキングステーションまたは専用ドライブのいずれかが必要です。ドライブをお使いになるときは、各ドライブに付属の取扱説明書もあわせてご覧ください。
  - CD-RW/DVDドッキングステーション PCGA-DSM5
  - DVDドッキングステーション PCGA-DSD5
  - CD-ROMドライブ PCGA-CD51 Series
  - CD-RWドライブ PCGA-CDRW5_ Series

電源を切る

以下の手順に従って、本機の電源を切ります。

ご注意

必ず下記の手順に従って電源を切ってください。手順に従って電源を切らないと本機の故障の原因となったり、作成した文書などのファイルが使えなくなることがあります。

1 ［スタート］ボタンをクリックし、［スタート］メニューの［シャットダウン］をクリックする。

ここをクリックする。

「Windowsのシャットダウン」画面が表示されます。

2 をクリックして、一覧の中から［シャットダウン］を選び、［OK］をクリックする。

「Windows をシャットダウンしています」が表示されてからしばらくすると、本機の電源が自動的に切れ、⏻（パワー）ランプ（グリーン）が消灯します。

これで、本機を使う上で必要な準備と操作はひと通り終わりました。引き続きいろいろな操作をするためには、本機オンラインマニュアルをご覧ください（41ページ）。

カスタマー登録する／インターネットに接続する

ここでは、本機を電話回線につなぎ、オンラインカスタマー登録をしてから、インターネット接続サービスにオンラインで入会する手順を説明します。

ご注意

- オンラインカスタマー登録は、管理者権限（Administrators）のユーザーのみ行うことができます。
- 次ページからの手順を行うには、本機が一般電話回線につながっている必要があります。カスタマー登録に使用する電話回線はISDN回線や携帯電話には対応していません。ISDN回線をお使いになる場合は、本機のモジュラジャックとターミナルアダプタのアナログポートを接続してください。ISDN回線やターミナルアダプタについて詳しくは、NTT（局番なしの116番）またはターミナルアダプタの製造元にお問い合わせください。

インターネット接続サービスとは

インターネットにつなぐためには、インターネット接続サービスを提供する会社と契約する必要があります。インターネット接続サービスはインターネットとパソコンとの間を仲介する役割を持っており、インターネット接続サービスを提供する会社と契約すると、インターネットを使っていろいろな情報を記述したホームページを簡単に見たり、電子メールを送受信したりできるようになります。

本機のカスタマー登録すると、正規のユーザーとして登録され、登録カスタマー専用の各種アップグレードサービスなどが受けられます。サービスの内容については、VAIOホームページ（http://www.vaio.sony.co.jp/）をご覧ください。
また、本機に付属の保証書（未登録のお客様用）の保証期間はお買い上げ日から3か月ですが、ご登録後にVAIOカスタマー専用デスクから、お買い上げ日より1年間の保証書とVAIOカスタマー登録証をお送りします。（すでに登録証をお持ちの方へは登録証は送付されません。）保証について詳しくは、「保証書とアフターサービス」（130ページ）をご覧ください。

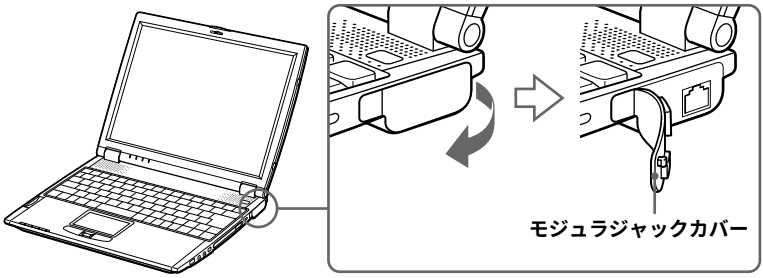
カスタマー登録に関するお問い合わせ先
VAIOカスタマー専用デスク　　電話番号：03-3584-6651

はがきでも登録できます

付属の「VAIOカスタマー登録、保証書お申込書」に記入し投函することによってカスタマー登録することができます。

ご登録内容は、ソニーから外部へは一切開示致しません。

1 モジュラジャックカバーを開ける。

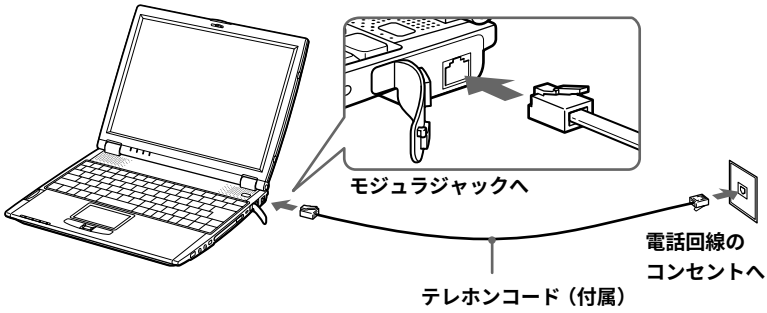


ご注意

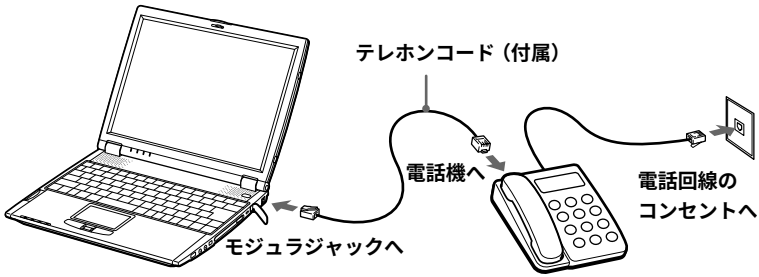
カバーを開く際は、強く引っ張りすぎないようにご注意ください。
引きすぎると破損の原因となります。

2 電話回線につなぐ。

「カチッ」と音がするまでテレホンコード差し込みます。



モジュラジャックが2つある電話機をお使いのときは、下図のようにつなぎます。



次のページにつづく

ご注意

- 使用可能な回線は、一般電話回線です。PBX（構内交換機）回線には接続しないでください。故障・発火の原因になります。
- 分配器を使用して電話回線を分岐すると、モデムおよび分岐先の機器が正しく動作しないことがあります。なお、屋内配線の中には分配器経由で各部屋に配線されている場合があります。
- オンラインカスタマー登録は、上記の手順1に従って、必ず本機のモジュラジャックを電話回線のコンセントに接続して行ってください。

- 電話回線への接続について詳しくは、本機オンラインマニュアルの「基本的な使いかた」内「インターネットへ接続する」の「一般電話回線につなぐ」をご覧ください。
- 電話回線のコンセントの形状が付属のテレホンコードにあわないときは交換工事や取り付け工事が必要な場合があります。詳しくは、本機オンラインマニュアルの「VAIO Inform@tion」内「知っ得情報」の「電話回線のコンセントの種類」をご覧ください。
- テレホンコードは、「カチッ」と音がするまでモジュラジャックに差し込んでください。

3 本機の電源を入れる。

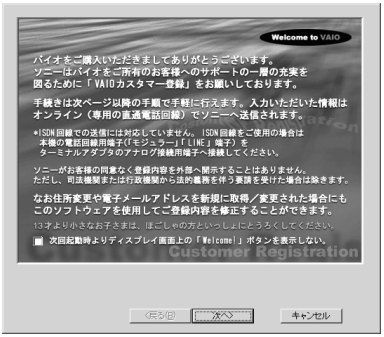
「電源を入れる」（22ページ）をご覧ください。

管理者権限（Administrators）のユーザー名とパスワードを入力してログオンしてください。

4 画面上の［Welcome!］ボタンをクリックする。

ここをクリックする。

「Welcome」の画面が表示されます。



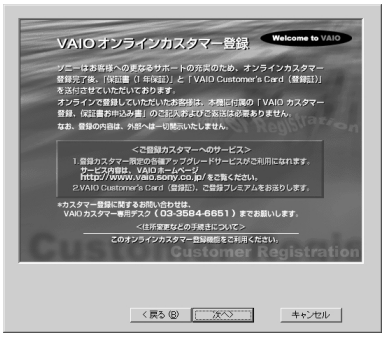
カスタマー登録をしない、または後でするときは

[キャンセル] をクリックします。

[キャンセル] をクリックすると、「ここでこのアプリケーションを終了すると登録が完了しません。」というメッセージ画面が表示されます。[終了] をクリックすると、「インターネット接続サービスのご紹介」画面が表示されます。その後の手順について詳しくは、36ページの手順7をご覧ください。

5 [次へ] をクリックする。

VAIOオンラインカスタマー登録の画面が表示されます。



1つ前の画面が見たいときは

[戻る] をクリックします。

6 [次へ] をクリックする。

カスタマー登録を開始します。

画面の指示に従って操作してください。

次のページにつづく

この画面が表示されたら

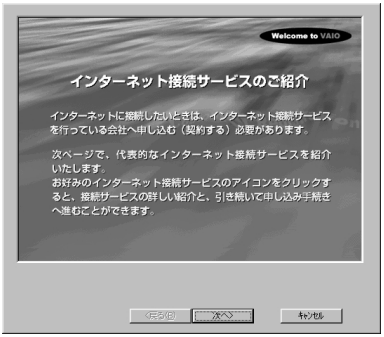
お使いの電話回線のダイヤル方法を確認し、発信方法を選びます。

お使いの電話回線の
ダイヤル方法を選ぶ。

- トーン式ダイヤルとは
  電話機のダイヤルボタンを押すと「ピポパ」と音がし、「カチカチ」という音がしない電話機のダイヤル方法です。
- パルス式ダイヤルとは
  ボタンではなくダイヤルを回す電話機、またはダイヤルボタンを押すたびに「カチカチ」という音がする電話機のダイヤル方式です。

7 [登録] をクリックする。

「インターネット接続サービスのご紹介」画面が表示されます。



入会手続きをしない、または後でするときは

[キャンセル] をクリックします。

8 [次へ] をクリックする。

「インターネット接続サービスご紹介」画面が表示されます。

9 お好みのインターネット接続サービスのアイコンをクリックする。

インターネット接続サービスに入会する手続きを開始します。
画面の指示に従って操作してください。

一部のインターネット接続サービスでは、オンラインカスタマー登録をしてから入会手続きを行うと、同じユーザー情報を何度も入力する手間が省けます。
オンラインカスタマー登録をしなくても、インターネット接続サービスへの入会手続きをすることはできます。

お好みのインターネット接続サービスのアイコンをクリックする。

インターネット接続を手動で設定する、またはLAN（ネットワーク）を使って接続するときは

画面右下の［こちらへ］をクリックします。
「インターネット接続ウィザード」画面が表示されるので、画面の指示に従って必要事項を入力してください。

入会手続きをしない、または後でするときは

画面右上の をクリックします。

入会手続きが終わると、インターネットが使えるようになります。
インターネットについてさらに詳しくは、別冊の「はじめてのインターネット！」をご覧ください。

マニュアルの使いかた

マニュアルの使いかた

本機には、本書のほかに、以下のオンラインマニュアルがあらかじめインストールされています。それぞれの目的にあわせてお読みください。
本機のオンラインマニュアルの見かたについては、「本機のオンラインマニュアルを見るには」（41ページ）を、他のオンラインマニュアルの見かたについては、「オンラインマニュアルを見るには」（46ページ）をそれぞれご覧ください。
本機に付属のソニー製のソフトウェアには、以下のオンラインマニュアルのほかにヘルプがあります。オンラインマニュアルでは基本操作を、ヘルプではソフトウェアのより詳しい使いかたを説明しています。
ヘルプの見かたについては、「ヘルプを見るには」（47ページ）および、それぞれのソフトウェアのオンラインマニュアルをご覧ください。
また、135ページの「付属ソフトウェアについて」では、本機に付属のソフトウェアについて簡単に説明しています。そちらもあわせてご覧ください。

オンラインマニュアルとは

本機やソフトウェアの操作説明などを、デスクトップ画面上で読めるようにしたマニュアルのことです。

本機に付属のオンラインマニュアル

- PCG-R505 Series オンラインマニュアル
  本機の使いかたについて詳しく説明しています。また、本機に付属のソフトウェアの起動方法やお問い合わせ先なども説明しています。本書を読み終わった方は、必ずこちらもご覧ください。
- 「DVgate」オンラインマニュアル
- 「Media Bar」オンラインマニュアル
- 「MovieShaker」オンラインマニュアル
- 「Navin' You」オンラインマニュアル
- 「PictureGear」オンラインマニュアル
- 「Smart Capture」オンラインマニュアル
- 「はじめてのインターネット!」オンラインマニュアル

本機のオンラインマニュアルを見るには

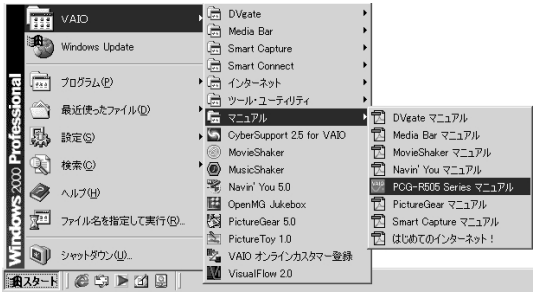
本機のオンラインマニュアルは、「Microsoft Internet Explorer」ソフトウェアを使って表示します。

ご注意

本機のオンラインマニュアルは、必ず「Microsoft Internet Explorer」を使って表示させてください。

本機のオンラインマニュアルを見るには、本機の電源が入っている状態で、デスクトップ画面上の VAIO をダブルクリックするか、下記の手順で操作します。

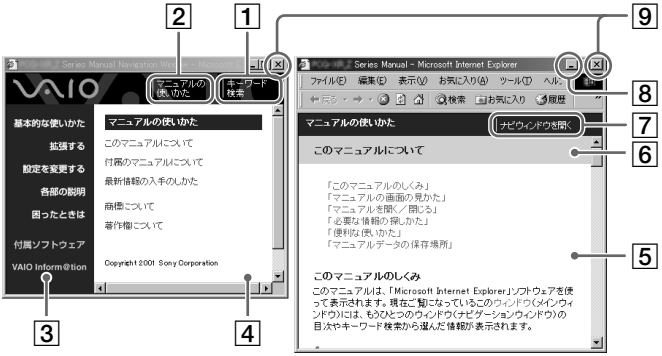
[スタート] ボタンをクリックして [VAIO] にポインタを合わせ、[マニュアル] から [PCG-R505 Series マニュアル] をクリックする。



次のページにつづく

本機オンラインマニュアルの画面の見かた

本機のオンラインマニュアルを開くと、ナビゲーションウィンドウとメインウィンドウの2つのウィンドウが開きます。
ナビゲーションウィンドウには目次が表示され、各項目の詳細がメインウィンドウに表示されます。



ナビゲーションウィンドウ　　**メインウィンドウ**

1 キーワードから説明を探したいときにクリックします。詳しくは、「キーワードを入力して探す」(44ページ) をご覧ください。

2 ここをクリックすると、4 にオンラインマニュアルの使いかたのトピックタイトルが表示されます。

3 それぞれの章タイトルをクリックすると、その章タイトルに含まれているトピックタイトルが 4 に表示されます。

4 トピックタイトルが表示されます。表示されたトピックタイトルをクリックするとメインウィンドウに操作手順などの説明が表示されます。

5 メインウィンドウ上に表示される以下の項目をクリックすると、クリックした項目の詳しい説明や、関連項目が表示されます。

- ページをスクロールさせたいときは、画面右下の をクリックします。
- ページの冒頭に見出しが表示されているときは、見たい内容をクリックすると、その説明箇所が表示されます。
- 本文中の【詳細】をクリックすると、さらに詳しい説明のあるページが表示されます。

- ［ここにも注目］のトピックタイトルをクリックすると、関連する項目のあるページが表示されます。
- 本文中、緑色で表示されている言葉（単語）をクリックすると、その言葉の用語解説のページが表示されます。

6 トピックタイトルが表示されます。

7 ナビゲーションウィンドウを閉じている場合にここをクリックすると、ナビゲーションウィンドウが再び表示されます。

8 ここをクリックするとウィンドウが最小化されます。ウィンドウを隠しておきたいときにクリックします。タスクバーのアイコンをクリックすればウィンドウは元の大きさに戻ります。

9 ここをクリックするとウィンドウを閉じることができます。マニュアルを読み終わったら、ここをクリックしてください。

マニュアルを開くと2つのウィンドウが開きますが、必要に応じてどちらか片方のウィンドウを閉じることもできます。

- ナビゲーションウィンドウが閉じているときは、メインウィンドウ上の［ナビウィンドウを開く］をクリックします。
- メインウィンドウが閉じているときは、ナビゲーションウィンドウの目次やキーワード検索から、表示したい情報の項目を選んでクリックします。

ご注意

メインウィンドウで他のWebページを表示すると、ナビゲーションウィンドウで目次やキーワードを選んでもメインウィンドウに表示されなくなります。この場合は、1度メインウィンドウを閉じてから、再びナビゲーションウィンドウで目次やキーワードを選び直して、メインウィンドウを表示させてください。

次のページにつづく

必要な情報の探しかた

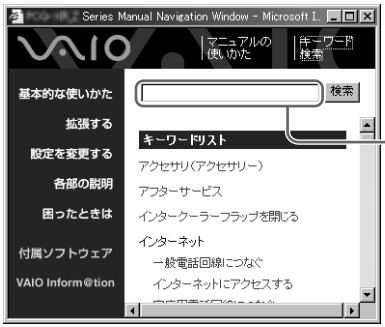
目次から探す

1 ナビゲーションウィンドウ左側から、章タイトルをクリックする。
クリックした章に含まれるトピックタイトルがナビゲーションウィンドウ右側に表示されます。

2 リストから、表示したい項目をクリックする。
項目の最後に ▶ があるものは、トピックタイトルをクリックするとさらに詳しいトピックタイトルが表示されます。
クリックしたトピックタイトルの情報がメインウィンドウに表示されます。

キーワードを入力して探す

1 ナビゲーションウィンドウ上部の［キーワード検索］をクリックする。
キーワードの入力欄が表示されます。



2 キーワードを入力して、［検索］をクリックする。
入力したキーワードを含む項目が表示されます。
キーワードリストを表示したいときは、［全キーワードを表示する］をクリックします。
該当するキーワードがない場合は、「キーワードが見つかりません」と表示されます。

3 表示したいキーワードを選んでクリックする。
選んだキーワードの解説がメインウィンドウに表示されます。

キーワードリストから探す

1 ナビゲーションウィンドウ上部の［キーワード検索］をクリックする。
キーワードリストが表示されます。

2 キーワードリストから表示したい項目を選んでクリックする。
選んだキーワードの解説がメインウィンドウに表示されます。

ご注意

- 英単語のキーワードを入力するときは、半角文字で入力してください。
- キーワードリストの中で黒字で表示されている項目は、キーワード検索の対象には含まれません。
  また、黒字で表示されている項目を選択して表示することはできません。

便利な使いかた

本機のオンラインマニュアルを表示しているブラウザの機能を使って、より便利に使いこなすことができます。

- 前のページに戻るには
  メインウィンドウ上の［戻る］をクリックします。
- 元のページに戻るには
  メインウィンドウ上の［進む］をクリックします。
- 見ている画面を印刷するには
  ［ファイル］メニューから［印刷］を選んでクリックし、プリンタの設定を確認して［OK］をクリックします。
- 章ごとに印刷するには
  Microsoft Internet Explorerを使って表示しているときのみ、章の内容を一度に印刷することができます。
  ナビゲーションウィンドウの［マニュアルの使いかた］をクリックして［このマニュアルについて］を選び、メインウインドウの［便利な使いかた］をクリックすると、章タイトルの一覧が表示されるので、印刷したい章タイトルをクリックします。印刷するには、印刷したい章をメインウィンドウに表示させてから、［ファイル］メニューの［印刷］を選び、［リンクドキュメントをすべて印刷する］のチェックボックスをクリックし、チェックしてから印刷してください。

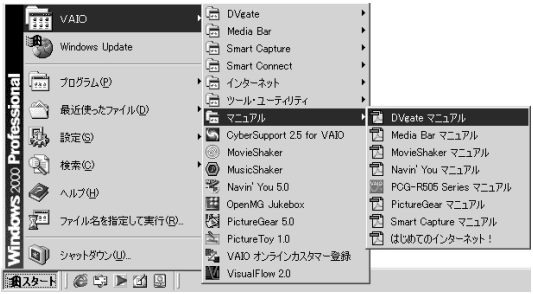
マニュアルデータの保存場所

オンラインマニュアルのデータは、「C:￥Program files￥Sony￥manual￥」フォルダに保存されています。誤ってこのフォルダを消去してしまわないようにご注意ください。

オンラインマニュアルを見るには

オンラインマニュアルを見るには、本機の電源が入っている状態で、次のように操作します。
オンラインマニュアルを見るには、「Adobe Acrobat Reader」ソフトウェアを使います。

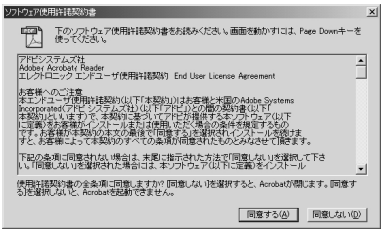
［スタート］ボタンをクリックして［VAIO］にポインタを合わせ、［マニュアル］を選び、見たいオンラインマニュアルをクリックする。



本機に付属の「Adobe Acrobat Reader」ソフトウェアが起動し、オンラインマニュアルが表示されます。

「Adobe Acrobat Reader」を初めて起動したときは

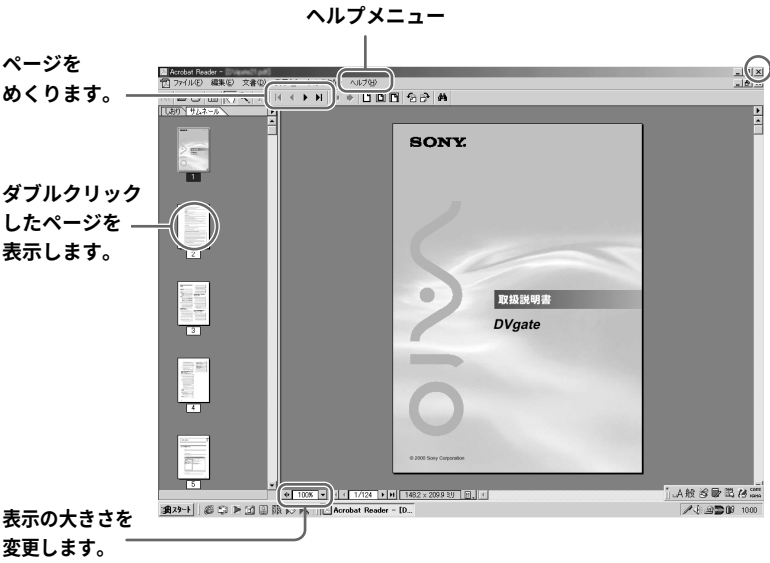
「ソフトウェア使用許諾契約書」が表示されますので、契約書の内容を読み、［同意する］をクリックしてください。



オンラインマニュアルの見かた

サムネール（縮小表示）やしおりを見たいときは、 をクリックし、それぞれのタブをクリックします。

詳しくは、「Adobe Acrobat Reader」のヘルプメニューをクリックしてヘルプをご覧ください。



ヘルプを見るには

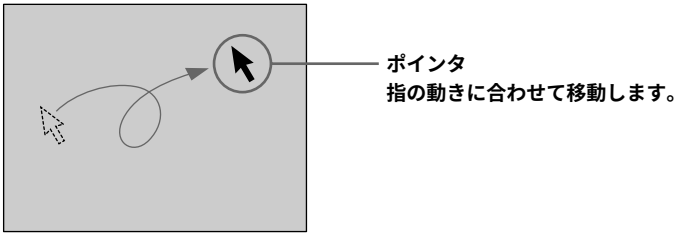
ソフトウェアによってヘルプの見かたが異なり、以下の2通りあります。本機の電源が入っている状態で操作します。お使いになるソフトウェアのヘルプの開きかたや使いかたについて詳しくは、本機オンラインマニュアルの「付属ソフトウェア」内、各ソフトウェアの「操作がわからなくなったときは」、または各ソフトウェアのオンラインマニュアルをご覧ください。

- ［スタート］ボタンをクリックして［プログラム］にポインタを合わせ、各ソフトウェアを選び、ヘルプ または をクリックする。
- ソフトウェアを起動し、［ヘルプ］メニューをクリックする。

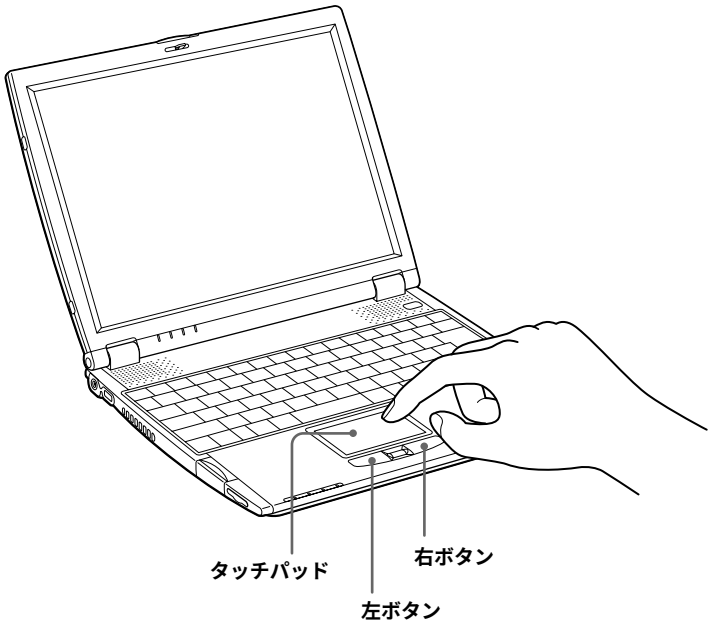
基本的な使いかた

タッチパッドを使う

タッチパッドに触れて指を動かすと、画面上のポインタも同じ方向に移動します。



ポインタを目的の位置まで動かして左または右のボタンを押すだけで、メニューを選んだり、さまざまな命令をコンピュータに伝えることができます。



クリックする

ポインタを希望の位置に合わせて、タッチパッドの手前にある左ボタンを1回押します。[OK] や [キャンセル] などのボタンを押したり、メニューを選ぶときなどに使います。
また、タッチパッドを指で1回軽くたたいても同じ働きをします。

ダブルクリックする

ポインタを希望の位置に合わせて、左ボタンを2回続けて押します。
ワードプロセッサや表計算などのソフトウェアを実行したり、作成した文書などのファイルを開くときなどに使います。
またタッチパッドを、2回続けて軽くたたいても同じ働きをします。

ドラッグする

ポインタを希望の位置に合わせて、左ボタンを押したまま、タッチパッド上で指を動かし、希望の位置でボタンを離します。ファイルを移動したり、ウィンドウの大きさを変更するときなどに使います。
また、タッチパッドを2回続けて軽くたたき、そのままタッチパッド上で指を動かして希望の位置で離しても同じ働きをします。

ドラッグアンドドロップする

ファイルなどのアイコンをドラッグし、他のフォルダやウィンドウ、ソフトウェアのアイコンなどの上で左ボタンを離します。ファイルを移動したり、コピーするときなどに使います。

右クリックする

ポインタを希望の位置に合わせて、右ボタンを1回押します。
押したときのポインタの位置によって、さまざまな内容のポップアップメニューが表示されます。

スクロールする

指をタッチパッド上の右端に合わせて、上下に動かします。選択されているウィンドウ上の垂直方向のスクロールバーを移動できます。
指をタッチパッドの右上または右下に置いたままにして、上方向または下方向にスクロールし続けることができます。
また、指をタッチパッドの下端に合わせて、左右に動かします。前面に表示されているウィンドウの水平方向のスクロールバーを移動できます。

上記は工場出荷時の設定です。設定を変更したり、タッチパッドをより便利に使うには、本機オンラインマニュアルの「設定を変更する」内の「タッチパッドをカスタマイズする」をご覧ください。

キーボードを使う

キーボードを使って文字や記号を入力したり、コンピュータへ命令を送ることができます。ここでは、他のキーと組み合わせて使う、特殊なキーのなまえと機能を紹介します。

文字の入力のしかたについては、本機オンラインマニュアルの「基本的な使いかた」内の「文字を入力する」をご覧ください。

ご注意

- キートップがはずれてしまったら、元の位置に戻して「カチッ」と音がするまで押し込んでください。Enterキーとスペースキーがはずれたときは、「キートップがはずれた」(88ページ) をご覧ください。
- キートップを故意にはずしたり、取り付けるときに無理に力を加えると故障や破損の原因となります。取り扱いにはご注意ください。

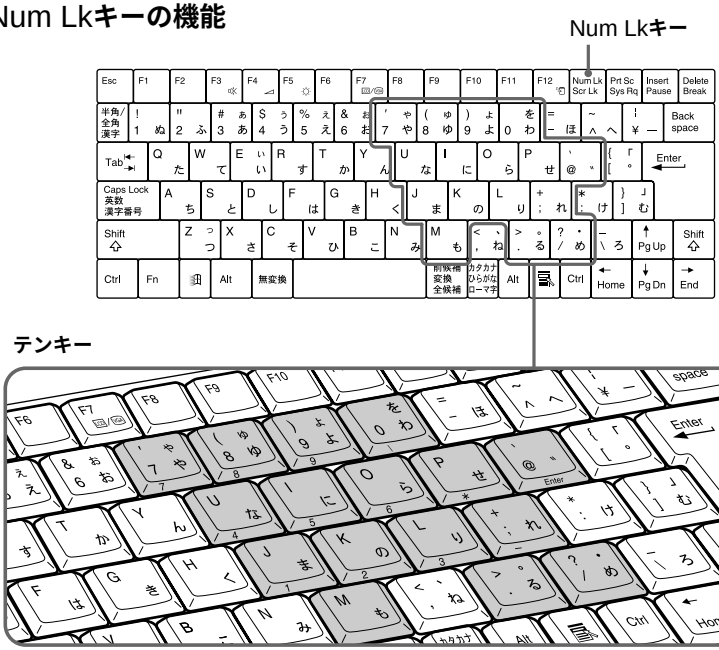
なまえ	機能
Esc（エスケープ）キー	設定を取り消したり、実行を中止するときなどに押します。
ファンクションキー	使用するソフトウェアによって働きが異なります。Fnキーと組み合わせて使うと、特定の機能を実行できます。詳しくは、「Fnキーとの組み合わせ」(57ページ) をご覧ください。
Num Lk（ナムロック）キー	テンキーと組み合わせて使うと、数字を入力できます。Num Lkキーを押すと、液晶ディスプレイ左下にある 1(Num Lock) ランプが点灯します。もう1度Num Lkキーを押すと、消灯します。詳しくは、「Num Lkキーの機能」(55ページ) をご覧ください。

なまえ	機能
Prt Sc（プリントスクリーン）キー	表示されている画面全体をクリップボードに取り込みます。Altキーを押しながらこのキーを押すと、選択されているウィンドウだけを取り込みます。取り込んだ画像は「ペイント」などのソフトウェアで保存、加工、印刷できます。詳しくは、使用するソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。
Insert（インサート）キー	文字入力モードを切り替えます。文字を入力するとき、このキーを押すごとに、カーソルの位置に文字を挿入するか、カーソルの位置から文字を上書きするか切り替えることができます。
Delete（デリート）キー	カーソルの右側の文字を消します。
Back space（バックスペース）キー	カーソルの左側の文字を消します。
矢印キー	カーソルを動かしたり、数ページにわたる画面の次ページまたは前ページを表示できます。
アプリケーションキー	タッチパッドの右ボタンを押したときと同じ働きをします。
Alt（オルト）キー	文字キーなどと組み合わせて使うと、特定の機能を実行できます。オルタネートキーともいいます。使用するソフトウェアによって働きが異なります。詳しくは各ソフトウェアのオンラインマニュアルをご覧ください。
Windows（ウィンドウズ）キー	Windows 2000の［スタート］メニューが表示されます。他のキーと組み合わせて使うと、特定の機能を実行できます。使用するソフトウェアによって働きが異なります。詳しくは各ソフトウェアのオンラインマニュアルおよび「Windowsキーとの組み合わせ」(56ページ) をご覧ください。
Fn（エフエヌ）キー	キーボード上で紫色で表記されている機能を使うとき、このキーと組み合わせて押します。詳しくは、「Fnキーとの組み合わせ」(57ページ) をご覧ください。

次のページにつづく

なまえ	機能
Ctrl（コントロール）キー	文字キーなどと組み合わせて使うと、特定の機能を実行します。使用するソフトウェアによって働きが異なります。詳しくは各ソフトウェアのオンラインマニュアルをご覧ください。 例）Ctrlキーを押しながら、Sキーを押す。メニューから「保存する」を選ばずに、ファイルを保存できます。
Shift（シフト）キー	文字キーと組み合わせて使うと、大文字を入力できます。また、文字キーと他の機能キーと組み合わせて使うと、特定の機能を実行できます。
Caps Lock（キャプスロック）キー	Shift（シフト）キーを押しながらこのキーを押し、液晶ディスプレイ左下にある A(Caps Lock）ランプが点灯しているときに、文字キーを押すと、アルファベットの大文字を入力できます。 もう1度、Shiftキーを押しながらこのキーを押すと、 A ランプが消え、アルファベットの小文字入力に戻ります。

Num Lkキーの機能

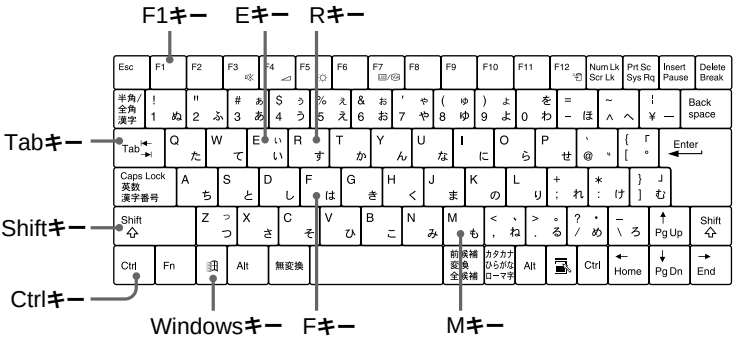


なまえ	機能
テンキー	Num Lkキーを押し、液晶ディスプレイ左下にある🔒（Num Lock）ランプが点灯しているときにテンキーを押すと、キー前面左側に印字されている数字を入力できます。 例： Uキーを押すと「4」が入力されます。

キーボードショートカット

メニューを開かなくても、キーボードから各種コマンドを実行できます。

Windowsキーとの組み合わせ



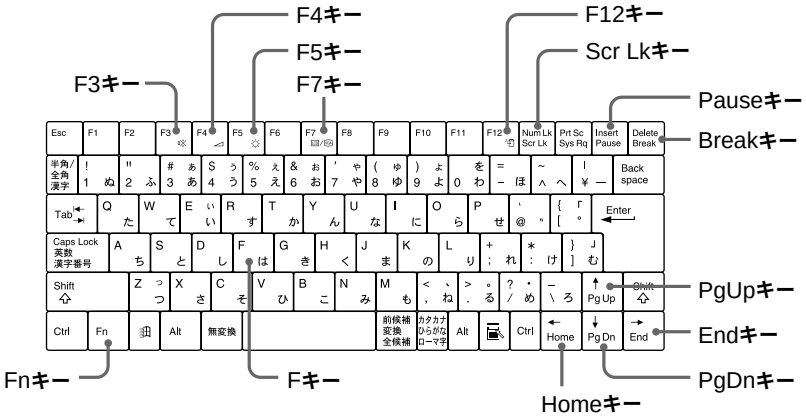
キー操作の表記

例： ⊞ +F ➡ Windowsキーを押しながらFキーを押す。

組み合わせ	機能
⊞ +F1	Windowsのヘルプを表示します。
⊞ +E	エクスプローラ*を表示します。
⊞ +R	「ファイル名を指定して実行」画面を表示します。 ［スタート］メニューから［ファイル名を指定して実行…］を選んだときと同じです。
⊞ +M	表示されているすべてのウィンドウを最小化します。
Shift+ ⊞ +M	最小化されているすべてのウィンドウを元のサイズに戻します。
⊞ +F	ファイルとフォルダの検索画面を表示します。 ［スタート］メニューから［検索］の［ファイルやフォルダ…］を選んだときと同じです。
⊞ +Ctrl+F	コンピュータの検索画面を表示します。
⊞ +Tab	タスクバーに表示されているボタンの選択を切り替えます。

＊ コンピュータの内容（ファイルやフォルダ）をツリー図で表示します。作成したファイルなどがコンピュータのどこに保存されているか、一目で確認できます。

Fnキーとの組み合わせ



キー操作の表記

例：Fn + 🔇 (F3)) ➡ Fnキーを押しながらEsc（エスケープ）キーを押す。

組み合わせ	機能
Fn+🔇 (F3)*	本機の内蔵スピーカーの音声を入／切します。
Fn+🔉 (F4)*	本機の内蔵スピーカーの音量が調節できます。このコマンドを実行すると、数秒間だけ音量表示が表示されます。 ↑または→キーを押すと大きくなり、←または↓キーを押すと小さくなります。
Fn+☼ (F5)*	液晶ディスプレイの明るさを調節できます。このコマンドを実行すると、数秒間だけ明るさ表示が表示されます。 ↑または→キーを押すと明るい画像になり、←または↓キーを押すと暗い画像になります。
Fn+LCD/VGA (F7)*	MONITORコネクタに接続したコンピュータ用ディスプレイと、本機の液晶ディスプレイの表示を切り替えます。 液晶ディプレイのみ→液晶ディスプレイと外部ディスプレイ同時表示→外部ディスプレイのみ→液晶ディスプレイのみ→…

次のページにつづく

組み合わせ	機能
Fn+Z (F12)*	本機の液晶ディスプレイやCPUだけでなく、ほとんどの電源供給を停止します（休止状態）。使用環境はハードディスクに書き込まれるので、復帰後もそのまま作業ができ、電源オフからの起動よりも早く本機を使用できます。
Fn+Scr Lk（スクロールロック）キー	使用するソフトウェアによって働きが異なります。詳しくは、各ソフトウェアのオンラインマニュアルをご覧ください。
Fn+Pause（ポーズ）キー	使用するソフトウェアによって働きが異なります。詳しくは、各ソフトウェアのオンラインマニュアルをご覧ください。
Fn+Break（ブレイク）キー	使用するソフトウェアによって働きが異なります。詳しくは、各ソフトウェアのオンラインマニュアルをご覧ください。
Fn+PgUp（ページアップ）キー	現在表示している画面の前のページを表示します。
Fn+End（エンド）キー	行の最後にカーソルを移動します。
Fn+PgDn（ページダウン）キー	現在表示している画面の次のページを表示します。
Fn+Home（ホーム）キー	行の先頭にカーソルを移動します。
Fn+Fキー	画面の解像度を液晶パネルの解像度より低くしているとき、液晶ディスプレイの表示を拡大／縮小することができます。

* センタージョグを使っても操作ができます。センタージョグの操作について詳しくは、本機オンラインマニュアルの「基本的な使いかた」内「センタージョグを使う」をご覧ください。

ご注意

Windows 2000起動後でないと作動しないものがあります。

ドッキングステーションを取り付けて使う

ドッキングステーションを使って できること

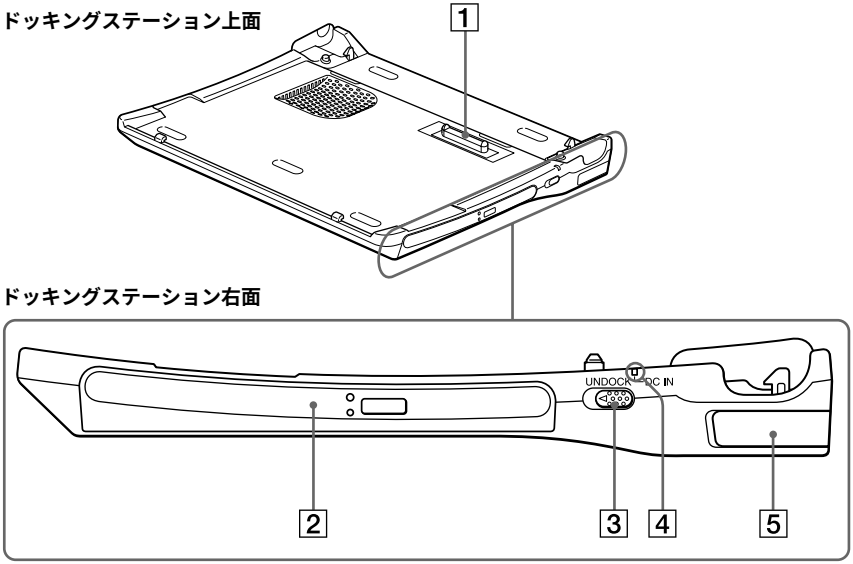
ドッキングステーションを取り付けると、CDやフロッピーディスクなどのディスクを使うことができ、またプリンタなどより多くの周辺機器を接続できます。

CD-RW/DVDドッキングステーションPCGA-DSM5にはCD-RW/DVD-ROM一体型ドライブ（以降、CD-RW/DVDドライブと略します）が、DVDドッキングステーションPCGA-DSD5にはDVD-ROMドライブが搭載されています。

ACアダプタやケーブル類はドッキングステーションに取り付けたまま、簡単に本機の着脱が可能です。本機にドッキングステーションを取り付けたままバッテリのみでも使用できるので、そのまま持ち運んでお使いいただけます。

ドッキングステーションの各部のなまえ

ドッキングステーション上面／右面



1 **ドッキングコネクタ**

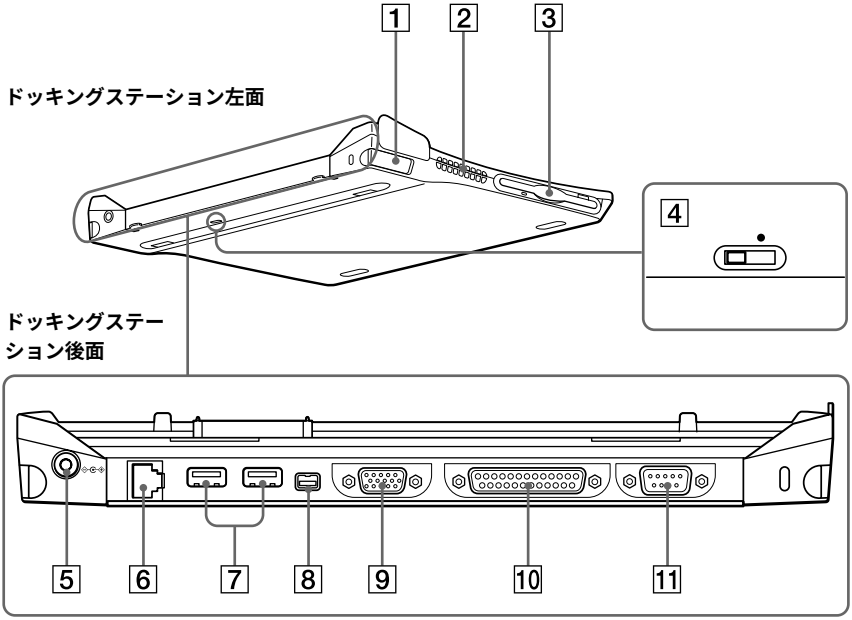
2 PCGA-DSM5**の場合**
CD-RW/DVD-ROM**一体型ドライブ**
PCGA-DSD5**の場合**
DVD-ROM **ドライブ**

3 UNDOCK**スイッチ**（66**ページ**）

4 DC IN **ランプ**（65**ページ**）

5 **取りはずしレバー**（67**ページ**）

ドッキングステーション左面／後面



1 **取りはずしレバー**（67ページ）

2 **通風孔**

3 **フロッピーディスクドライブ**

4 i.LINK**ネットワークスイッチ**（91ページ）

5 ⟐ (DC IN) **コネクタ**（65ページ）

6 品 **（ネットワーク）コネクタ**（6ページ）

7 Ψ USB**コネクタ**

8 S400 (i.LINK) **コネクタ**

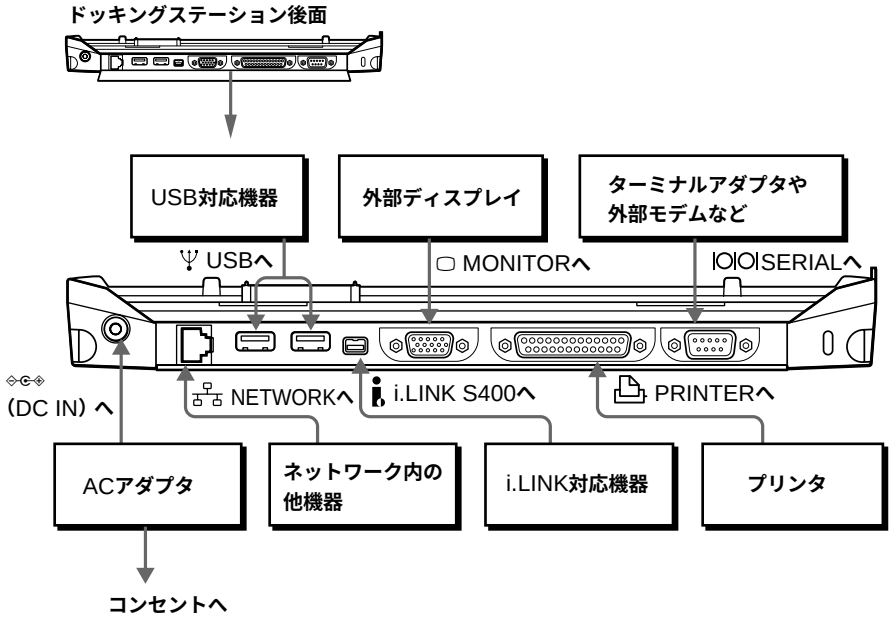
9 ▭ MONITOR**コネクタ**

10 PRINTER**コネクタ**

11 SERIAL**コネクタ**

ドッキングステーションの主な接続例

具体的な接続のしかたについては、本機オンラインマニュアルの「基本的な使いかた」内「ドッキングステーションを取り付けて使う」の「ドッキングステーションを使ってできること」をご覧ください。



ドッキングステーションを取り付ける／取りはずす

ドッキングステーションを取り付ける

充電されたバッテリを本機に装着しているときは、本機の電源が入っているときでもドッキングステーションを取り付けることができます。

ご注意

- 本機のバッテリを取りはずした状態でドッキングステーションを取り付けないでください。
- 本機が省電力動作モードのときは、ドッキングステーションを取り付けることはできません。通常の動作モードに復帰させてから行ってください。省電力動作モードについて詳しくは、本機オンラインマニュアルの「VAIO Inform@tion」内「知っ得情報」の「省電力動作モードについて」をご覧ください。
- ドッキングステーションを取り付けて使う場合は、CD-ROMドライブPCGA-CD51 SeriesやCD-RWドライブPCGA-CDRW5_ Seriesなどと同時に使用しないでください。本機の故障の原因となります。

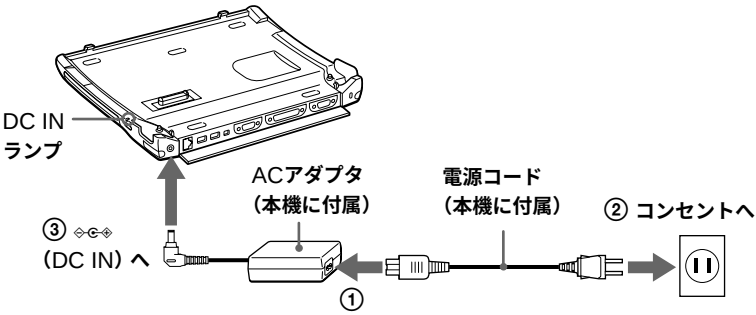
1 **本機に接続している機器を取りはずす。**

以下のコネクタに接続しているケーブル類は必ず取りはずしてください。

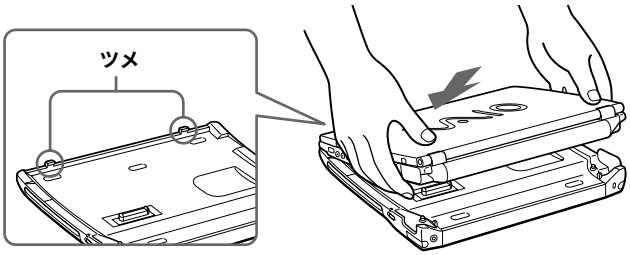
- ⟐⊂⟐ (DC IN) コネクタ
- 本機左側面の Ψ USBコネクタ
- 品 (ネットワーク) コネクタ
- ▭ MONITORコネクタ

2 AC電源で使用する場合は、ドッキングステーションをコンセントにつなぐ。

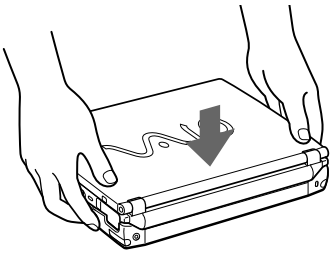
コンセントにつなぐと、DC INランプが点灯します。



3 本機前面にあるツメ受けに 、ドッキングステーション前面のツメを引っかける。



4 本機を後ろに倒して「カチッ」と音がするまでしっかりと押し込む。



ご注意

本機の上部を強く押すと、液晶ディスプレイが破損するおそれがあります。

ドッキングステーションを取りはずす

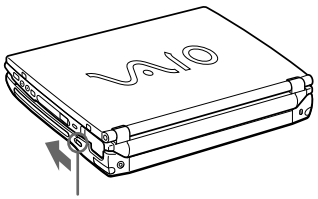
本機の電源が切れているときは、手順1の操作は必要ありません。

ご注意

- 本機の(ドッキングステーション) ランプが点灯しているときは、ドッキングステーションを取りはずさないでください。(ドッキングステーション) ランプが点灯しているときに取りはずすと、作業中のデータが失われたり、故障の原因となることがあります。
- バッテリが消耗しているときにドッキングステーションを取りはずすと、作業中のデータが失われるおそれがあります。
- i.LINK対応機器を接続している場合は、i.LINK対応機器をいったん終了させてからドッキングステーションを取りはずしてください。i.LINK対応機器の動作に不具合が生じたり、ドッキングステーションが取りはずせない場合があります。
- 本機が省電力動作モードのときは、ドッキングステーションの取りはずしはできません。通常の動作モードに復帰させたあとに手順1から操作をしてください。省電力動作モードについて詳しくは、本機オンラインマニュアルの「VAIO Inform@tion」内「知っ得情報」の「省電力動作モードについて」をご覧ください。

1 [スタート] メニューの [PCの取り外し] をクリックするか、ドッキングステーション右側面のUNDOCKスイッチを手前に引く。

確認画面が表示されます。



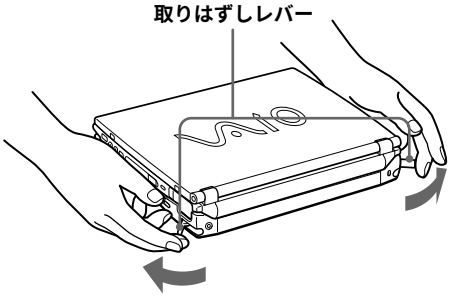
UNDOCK
スイッチ

ご注意

確認画面が表示されたら、長時間放置せずに手順2と3を行い、本機を取りはずしてください。

2 **本機の（ドッキングステーション）ランプが消灯するのを確認してから、ドッキングステーション両側面の取りはずしレバーを同時に手前に引く。**

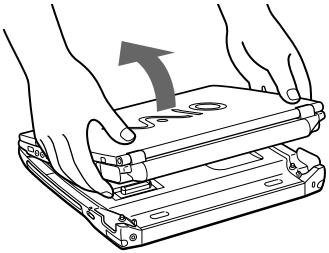
本機の後ろ側が持ち上がります。



ご注意

取りはずしレバーを操作する場合は、本機の上にものを載せないでください。

3 **本機前面のツメ受けに引っかかっているツメをはずしながら本機を持ち上げる。**



困ったときは

トラブルを解決するには

本機を操作していて困ったときや、トラブルが発生したときは、あわてずに下記の流れに従ってください。
また、メッセージなどが表示されている場合は、書きとめておくことをおすすめします。

手順1　オンラインマニュアルやヘルプで調べる

- 本書内の「主なトラブルとその解決方法」(73ページ) をチェックする。
- 本機オンラインマニュアルの「困ったときは」や関連する項目（キーワード検索など）
- ソフトウェアのオンラインマニュアルやヘルプ
- Windows 2000 のヘルプ
  デスクトップ画面左下の［スタート］ボタンをクリックし、［ヘルプ］をクリックして、「Windows 2000のヘルプ」をご覧ください。
- 「サイバーサポート (CyberSupport)」ソフトウェア
  付属の「CyberSupport」ソフトウェアを使うと、上記のマニュアルかVAIOカスタマーリンクに寄せられたFAQ（よくある質問とその回答）などから自動的に解決方法を検索できます。
  使いかたについて詳しくは、別冊の「VAIOサービス・サポートのご案内」をご覧ください。

手順2　VAIOカスタマーリンクのホームページを確認する

VAIOカスタマーリンク ホームページでは、トラブルの解決方法や疑問の解消に役立つ情報やサービスを掲載しています。
VAIOカスタマーリンク ホームページ
http://vcl.vaio.sony.co.jp/

手順3　VAIOカスタマーリンクに電話で問い合わせる

72ページのお問い合わせ先にご相談ください。

「CyberSupport」をはじめてお使いになるときは

VAIOカスタマーリンクのホームページにアクセスし、「CyberSupport」ソフトウェアで検索できる情報を更新してください。

更新するには、インターネットに接続した状態で、画面左下の［最新のデータに更新］をクリックします。自動的に、情報が更新されます。最初に更新するときは数十分時間がかかることがありますので、ご注意ください。

操作について詳しくは、別冊の「VAIOサービス・サポートのご案内」をご覧ください。

また、この機能を使うには、あらかじめインターネットに接続していることが必要です。インターネット接続について詳しくは、別冊の「はじめてのインターネット！」をご覧ください。

VAIOカスタマーリンク お問い合わせ先

VAIOカスタマーリンク

電話番号　(0466) 30-3000

受付時間

平日　10時～20時

土、日、祝日　10時～17時

(年末年始は除く)

一般的にお電話は午前中より午後の方がつながりやすくなっております。

- お電話は音声認識を用いた自動音声のアナウンスに従って、ご希望のメニューをお選びください。各メニューの担当オペレーターが対応いたします。
- 付属のソフトウェアについては、本機オンラインマニュアルの「付属ソフトウェア」、または「付属ソフトウェアについて」(135ページ) をご覧になり、各ソフトウェアのお問い合わせ先へお電話ください。
- 本機のご購入日から90日間無料。それ以後は、有料でのサポートメニュー「サポートプラス」をご用意しております。

お電話の前に以下の内容をご用意ください

① お客様のVAIOカスタマーID

② 本機の型名：IDラベル (17ページ) または、保証書に記載されています

③ 本機の製造番号：保証書などに記載されている7桁の番号です

④ カスタマー登録していていただいたときの電話番号、または登録予定の電話番号

発信者番号通知でお電話していただくとよりスムーズに担当者につながります。

⑤ 本機に接続している周辺機器名：メーカー名と型名

⑥ 表示されたエラーメッセージ

⑦ 本機に付属していないソフトウェアを追加した場合は、そのソフトウェアの名前とバージョン

⑧ トラブルが発生する前または直前に行った操作

⑨ トラブルがどのくらいの頻度で再現するか

⑩ その他お気づきの点

修理の場合は

⑪ VAIOカルテ：修理をお申し込みになるとき

⑫ 筆記用具：修理を受付する際にお伝えする修理受付番号を控えるのに必要です

主なトラブルとその解決方法

ここでは、本機の主なトラブルとその解決方法を説明します。

ご注意

再起動または電源を入れ直す場合は、必ず「電源を切る」(31ページ) の手順に従い、いったん電源を切ってください。
他の方法で本機の電源を切ると、作成したファイルが使えなくなることがあります。

- 電源 (74ページ)
- Windowsの起動 (76ページ)
- インターネット (79ページ)
- 液晶ディスプレイ・外部ディスプレイ (83ページ)
- タッチパッド・キーボード (85ページ)
- フロッピーディスク (89ページ)
- ドッキングステーション (91ページ)
- CD-ROM・CD-R・CD-RW・DVD-ROM (92ページ)
- “メモリースティック”(93ページ)
- DV機器・i.LINK機器 (94ページ)
- プリンタ (96ページ)
- PCカード (96ページ)
- スピーカー (97ページ)
- マイク (98ページ)
- パスワード (98ページ)
- 省電力動作モード (99ページ)
- ハードディスク (100ページ)
- ソフトウェア (100ページ)
- 文字入力 (101ページ)

電源

電源が入らない。（⏻（パワー）ランプがつかないとき）

電源が入らないときの状況によって対処方法が異なります。ACアダプタやバッテリが正しく接続されていることを確認した上で、以下のいずれかの操作を行ってください。

→ プログラム動作中に異常が発生したので電源を切った場合

プログラムの異常で、電源を制御するコントローラが停止している可能性があります。クリップなどの細い棒で本機底面のリセットスイッチ（20ページ）を押してから、電源を入れ直してください。シャープペンシルの芯など折れやすいものは、本機の故障の原因となりますので使用しないでください。それでも電源が入らない場合は、ACアダプタとバッテリをはずして1分ほど待ってから再度取り付け直し、電源を入れてください。

→ 寒い戸外から暖かい屋内に持ち込んだり、または湿度の高い場所で使用する場合

本機内部に結露が生じている可能性があります。その場合は、1時間ほど待ってから電源を入れ直してください。また、湿度の高い場所（80 %以上）でのご使用は、本機の故障の原因となりますのでおやめください。

電源が入らない。（⏻（パワー）ランプ（グリーン）が点灯するとき）

電源が入らないときの状況によって対処方法が異なります。ACアダプタやバッテリが正しく接続されていることを確認した上で、以下のいずれかの操作を行ってください。

→ プログラム動作中に異常が発生したので電源を切った場合

プログラムの異常で、電源を制御するコントローラが停止している可能性があります。クリップなどの細い棒で本機底面のリセットスイッチ（20ページ）を押してから、電源を入れ直してください。シャープペンシルの芯など折れやすいものは、本機の故障の原因となりますので使用しないでください。それでも電源が入らない場合は、ACアダプタとバッテリをはずして1分ほど待ってから再度取り付け直し、電源を入れてください。

→ 寒い戸外から暖かい屋内に持ち込んだり、または湿度の高い場所で使用する場合

本機内部に結露が生じている可能性があります。その場合は、1時間ほど待ってから電源を入れ直してください。また、湿度の高い場所（80 %以上）でのご使用は、本機の故障の原因となりますのでおやめください。

→ 外部ディスプレイに表示が切り替えられている。Fnキーを押しながら、F7キーを何回か押す。詳しくは、「Fnキーとの組み合わせ」(57ページ) をご覧ください。
センタージョグを使ってもこの操作ができます。詳しくは、本機オンラインマニュアルの「基本的な使いかた」内「センタージョグを使う」をご覧ください。

電源が切れない。

電源が切れないときの状況によって対処方法が異なります。以下の点を確認した上で、それぞれの操作を行ってください。

→ 新しくインストールしたプログラムやデータ、その操作などを確認してください。

→ 使用中のソフトウェアをすべて終了する。

→ PCカードをお使いの場合は、本機オンラインマニュアルの「拡張する」内「PCカードを取り付ける／取り出す」の手順に従ってPCカードを取り出す。

→ USB機器を接続しているときは取りはずす。

→ 周辺機器を接続している場合やネットワークを使用している場合には、それらを使用しない状態にしてから電源を切る操作を行ってください。Windows 2000は、周辺機器やネットワークと通信を行っている間は、電源が切れないしくみになっています。また、周辺機器のデバイスドライバによっては、OSの強制的なプログラムの終了に対応していないものもあります。

→「電源を切る」(31ページ) の操作をしても、「Windowsを終了しています」または「電源を切る準備ができました」と表示されたまま動かない場合

まず、Enterキーを押します。それでも電源が切れない場合は、本機の ⏻ (パワー) ボタンを4秒以上押したままにして、⏻ (パワー) ランプが消灯するか確認してください。

→［スタート］メニューから［シャットダウン］を選んでも電源が切れない場合

Altキーを押しながらF4キーを数回押して「Windowsのシャットダウン」画面を表示させます。▼ をクリックし、［シャットダウン］を選んでクリックし、［OK］をクリックしてください。
Altキーを押しながらF4キーを数回押しても「Windowsのシャットダウン」画面が表示されない場合は、CtrlキーとAltキーを押しながらDeleteキーを押し、「Windowsのセキュリティ」画面が表示されたら、［シャットダウン］をクリックしてください。
それでも電源が切れない場合は、本機の ⏻ (パワー) ボタンを4秒以上押したままにして、⏻ (パワー) ランプが消灯するか確認してください。

次のページにつづく

→ **本機の ⏻（パワー）ボタンを4秒以上押したままにしても、電源が切れない場合**

クリップなどの細い棒で本機底面のリセットスイッチ（20ページ）を押してください。
シャープペンシルの芯など折れやすいものは、本機の故障の原因となりますので使用しないでください。

→ 上記の操作を行っても電源が切れない場合は、ACアダプタとバッテリをはずしてください。

これらの操作を行うと、作成中のデータが破壊されるおそれがあります。また、本機の電源を入れ直した際、ディスクのチェックが行われます。その場合は、Windowsのデスクトップ画面が表示されるまで画面の指示に従って操作し、その後「電源を切る」（31ページ）の手順に従っていったん本機の電源を正しく切ってください。

電源が勝手に切れた。

→ 通常モード時に、バッテリの残量がわずかになると、自動的に休止状態になり、電源が自動的に切れます。

Windowsの起動

電源を入れると、「No System disk or disk error. Replace and press any key when ready.**」や「**Invalid system disk. Replace the disk, and then press any key.**」、「**NTLDR is missing. Press any key to restart.**」というメッセージが出て、**Windows**が起動できない。**

→ ドッキングステーションのフロッピーディスクドライブ、またはUSBフロッピーディスクドライブにフロッピーディスクが入っているときは、イジェクトボタンを押して、取り出す。その後、キーボードのいずれかのキーを押す。

電源を入れると、「Operating system not found**」と表示され、**Windows**が起動できない。**

→ ドッキングステーションのフロッピーディスクドライブ、またはUSBフロッピーディスクドライブにフロッピーディスクが入っている場合は、ディスクを取り出してからCtrlキーとAltキーを押しながらDeleteキーを押して本機を再起動する。

→ 再起動してもこのメッセージが表示され、Windowsが起動しない場合は、指定された方法以外のやりかたでパーティションサイズを変更している可能性があります。本機に付属のリカバリ CDを使って、パーティションサイズを変更し、本機を再セットアップしてください。詳しくは、「パーティションサイズを変更する」(121ページ) をご覧ください。

電源を入れると「System Disable」と表示され、Windowsが起動しない。

→ パワーオンパスワードを3回間違えて入力すると、「System Disable」と表示されWindowsが起動しません。本機の ⏻ (パワー) ボタンを4秒以上押したままにして、⏻ (パワー) ランプが消灯するか確認してください。その後、再度本機の電源を入れ、正しいパスワードを入力してください。パスワードを入力する際は、🔒1(Num Lock) ランプや 🔒A(Caps Lock) ランプが点灯していないか確認してください。点灯してる場合は、Num Lk キーまたはShiftキーを押しながらCaps Lockキーを押してランプを消灯させてから入力してください。

ハードディスクから起動できない。

→ ドッキングステーションのフロッピーディスクドライブ、またはUSBフロッピーディスクドライブに、フロッピーディスクが入っていないか確認する。

ディスクドライブから起動できない。

→ 下記のドッキングステーション、または専用ドライブ以外からは本機を起動できません。ドライブをお使いになるときは、各ドライブに付属の取扱説明書もあわせてご覧ください。

- CD-RW/DVD ドッキングステーション PCGA-DSM5
- DVD ドッキングステーション PCGA-DSD5
- CD-ROMドライブ PCGA-CD51 Series
- CD-RWドライブ PCGA-CDRW5_ Series

次のページにつづく

電源を入れたあと、「Press <F1> to resume, <F2> to Setup」と表示され、Windowsが起動しない。

→ 内蔵バックアップバッテリが消耗している。

以下の操作を行ってください。

1 電源を入れ、Sonyのロゴマークが表示されてから、F2キーを押す。

画面左下に「Entering Setup...」と表示されたあと、BIOSセットアップ画面が表示されます。「Entering Setup...」と表示されない場合は、F2キーを数回押してください。

2 日時を確認する。

「System Date」、「System Time」に正しい日時が表示されているか確認する。間違った日時が表示されている場合は次の操作をしてください。

①［System Date］の項目に月／日／年（西暦）を入力する。

例：2000年1月31日と設定するには、1＋Enterキー＋31＋Enterキー＋2000＋Enterキーの順で入力します。

②↓キーで「System Time」を選び、時刻を24時間表示で入力する。

例：午後2時35分00秒と設定するには、14＋Enterキー＋35＋Enterキー＋00＋Enterキーの順で入力します。

3 Escキーを押す。

4 ↓キーで［Get Default Values］を選択し、Enterキーを押す。

5「Load default configuration now?」と表示されるので、「Yes」を選択して、Enterキーを押す。

6 [Exit(Save Changes)] が選ばれていることを確認してEnterキーを押す。

7「Save configuration changes and exit now?」と表示されるので、「Yes」を選択して、Enterキーを押す。

上記の操作を行っても本機が起動しない場合は、VAIOカスタマーリンクにご相談ください。ディスクドライブから起動できない。

インターネット

ダイヤルできない。

→ テレホンコードの接続を確認する。

「発信音が聞こえません」とメッセージが表示されたときは、本体側のモジュラジャックと壁側の電話回線のコンセントの接続を確認します。「カチッ」と音がするまでモジュラジャックに差し込んでください。また、予備のテレホンコードがあれば、テレホンコードを交換して試してみます。詳しくは、「カスタマー登録する／インターネットに接続する」（32ページ）をご覧ください。

→ 分配器を使わずに、電話回線のコンセントにテレホンコードを直接接続しているか確認する。また、テレホンコードが長すぎないか、電話機の子機に接続していないか確認する。詳しくは、「カスタマー登録する／インターネットに接続する」（32ページ）をご覧ください。

→ 3分以内に3回以上同じところにダイヤルした場合はリダイヤル規制がかかり、連続してダイヤルすることができません。3分以上時間をおいてからリダイヤルしてください。

→ モデムがWindowsに正しく認識されているか確認します。

1［スタート］ボタンをクリックして［設定］にポインタを合わせ、［コントロールパネル］をクリックする。

2［電話とモデムのオプション］アイコンをダブルクリックし、［モデム］タブをクリックする。

3 リストからモデムを選んで［プロパティ］をクリックし、［診断］タブをクリックする。

4［モデムの照会］をクリックする。

コマンドとその応答が表示されたら、モデムは正しく認識されています。

正しく認識されていないときは次の点を確認してください。

COMポートのリソース（IRQなど）が他のデバイスと競合していないか確認します。

1［スタート］ボタンをクリックして［設定］にポインタを合わせ、［コントロールパネル］をクリックする。

2［システム］アイコンをダブルクリックする。

3「ハードウェア」タブの［デバイス マネージャ］をクリックする。

デバイスのアイコンに「！」がついているものは、他のデバイスと競合を起こしています。

次のページにつづく

競合している場合は

競合しているデバイスをダブルクリックしてプロパティを開き、［全般］タブの「デバイスの使用状況」の をクリックして、一覧の中から［すべてのハードウェアプロファイルでこのデバイスを使わない（無効）］を選び、［OK］をクリックします。
また、競合しているデバイスが着脱可能な場合は、本機から取りはずせば競合は解消します。

→ ダイヤルトーンを待たずにダイヤルする。

外線発信番号を設定している場合などは、ダイヤルトーン（受話器を上げたときの「ツー」という音）を待たずにダイヤルするよう、以下の手順で設定します。

1［スタート］ボタンをクリックして［設定］にポインタを合わせ、［コントロールパネル］をクリックする。

2［電話とモデムのオプション］アイコンをダブルクリックし、［モデム］タブをクリックする。

3 リストからモデムを選んで［プロパティ］をクリックする。

4［全般］タブにある「ダイヤルの管理」の「発信音を待ってからダイヤルする」のチェックボックスをクリックしてチェックをはずす。

5［OK］をクリックする。
手順3の画面に戻ります。

6［OK］をクリックする。

モデムはダイヤルしているが、接続できない。

うまく接続できないときは、以下の項目を確認してください。

→ お使いの電話回線のダイヤル方式がトーン式ダイヤルかパルス式ダイヤルかを確認する。（36ページ）

→ 接続先の電話番号を再確認する。

「ダイヤルしたコンピュータが応答しませんでした」といったメッセージが表示されたときは、接続先の電話番号を再確認してください。
接続先のサーバーが停止している可能性がありますので、時間をおいて再度ダイヤルし直してください。

→ 接続中の動作が長く続くとき

接続中の動作が長く続き、接続が完了しないときは、いったん回線を切断してかけ直します。高い通信速度で接続する場合、まれに接続に失敗して、接続確認の動作が終わらなくなることがあります。

→ ネットワークとダイヤルアップ接続の設定を確認する。

「指定したポートは接続されていません」または、「リモートコンピュータが応答していません」、「ユーザー名またはパスワード、あるいはその両方が無効なため、このドメインにアクセスできませんでした」といったメッセージが表示されるときは、以下の手順でプロバイダやネットワークに接続するための設定を確認します。

設定などに問題がなかった場合は、「ネットワークとダイヤルアップ接続」の［新しい接続の作成］で作り直してください。

1［スタート］ボタンをクリックして［設定］にポインタを合わせ、［コントロールパネル］をクリックする。

2［ネットワークとダイヤルアップ接続］アイコンをダブルクリックする。

3 接続先のアイコンを右クリックし、［プロパティ］をクリックする。

4 契約しているプロバイダから提供された資料に従って設定を確認する。

特に、次の点を重点的に確認してください。

- ［全般］タブ
  「接続の方法」と「電話番号」の設定
- ［ネットワーク］タブ
  「呼び出すダイヤルアップサーバーの種類」の設定で「PPP：Windows 95／98／NT4／2000, Internet」が選択されていることと、「チェックボックスがオンになっているコンポーネントはこの接続で使われます」の「インターネットプロトコル（TCP/IP）」がチェックされていることを確認してください。また、「インターネットプロトコル（TCP/IP）」のプロパティを開き、その設定内容も確認してください。

携帯電話を使って接続できない。

→ 所在地情報を確認してください。

1［スタート］ボタンをクリックして［設定］にポインタを合わせ、［コントロールパネル］をクリックする。

2［電話とモデムのオプション］アイコンをダブルクリックする。

3［ダイヤル情報］タブで所在地を選び、［編集］をクリックする。

4［全般］タブの「市外局番」に何も入力されていないときは、「000」や「999」など実在しない番号を入力する。

次のページにつづく

COMポートの設定を変えたい。

→ 本機では、標準状態でCOM1～COM4までが使われています。

新しい周辺機器（PCカードなど）を接続するとCOM5以降が割り当てられることがありますが、ソフトウェアによってはCOM5以降をサポートしていないものがあり、正しく周辺機器などを使用できない場合があります。このような場合には、割り当てられているCOMポートの設定を変更します。COMポートの設定を変更するためには、次の方法があります。

使用しないデバイスを無効にする

使用しないデバイスを無効にし、そのデバイスが使っていたCOM ポートを他の周辺機器が使用できるよう解放します。

1［スタート］ボタンをクリックして［VAIO］にポインタを合わせ、［ツール・ユーティリティ］から［Sony Notebook Setup］をクリックする。

2［使用デバイス］タブをクリックし、［シリアル通信ポート］のチェックをはずす。

3 本機の電源を切り、周辺機器を接続してから周辺機器と本機の電源を入れる。
空いているCOMポートが周辺機器に割り当てられます。

以下の手順で「デバイス マネージャ」画面を表示し、正しく設定されているか確認してください。

1［スタート］ボタンをクリックして［設定］にポインタを合わせ、［コントロールパネル］をクリックする。

2［システム］アイコンをダブルクリックする。

3「ハードウェア」タブの［デバイス マネージャ］をクリックする。

インターネットに接続できない。

→ デスクトップ画面上の［インターネットに接続］アイコンをダブルクリックして設定を確認する。

→ インターネット接続について詳しくは、「カスタマー登録する／インターネットに接続する」（32ページ）および別冊の「はじめてのインターネット！」をご覧ください。

最高の通信速度で通信できない。

→ 回線が混み合っている場合や回線の品質が悪い場合は、エラーが発生しないよう自動的に通信速度を落とします。

電子メールが送受信できない。

→ お使いになっているメールソフトウェアの設定を確認してください。

液晶ディスプレイ・外部ディスプレイ

液晶ディスプレイに何も表示されない。

→ LCD/Videoスタンバイになっている。キーボードのいずれかのキーを押す。

→ 外部ディスプレイに表示が切り替えられている。Fnキーを押しながら、F7キーを何回か押す。詳しくは、「Fnキーとの組み合わせ」(57ページ) をご覧ください。
センタージョグを使ってもこの操作ができます。詳しくは、本機オンラインマニュアルの「基本的な使いかた」内「センタージョグを使う」をご覧ください。

液晶ディスプレイが暗い。

→ Fnキーを押しながら、F5キーを押すと、液晶ディスプレイの明るさを調節できます。詳しくは、「Fnキーとの組み合わせ」(57ページ) をご覧ください。
センタージョグを使ってもこの操作ができます。詳しくは、本機オンラインマニュアルの「基本的な使いかた」内「センタージョグを使う」をご覧ください。

次のページにつづく

→ 本機はエネルギースター規格に基づいて設計されており、工場出荷時の設定では、AC電源でご使用中に30分以上操作しないと、自動的に本機の液晶ディスプレイが暗くなります（LCD/Videoスタンバイ*1）。タッチパッドに触れるかキーボードのいずれかのキーを押すと、元の状態に戻ります。
また、バッテリで長時間使用できるようにするため、工場出荷時の設定では、バッテリでご使用中に数分間以上操作をしないと自動的に本機の液晶ディスプレイが暗くなります（LCD/Videoスタンバイ*1またはスタンバイ）。さらに数分間以上操作をしないとシステムの状態をハードディスクに書き込んでから自動的に本機の電源を切ります（休止状態）。
元の状態に復帰させるには、⏻（パワー）ランプの状態により次の操作を行ってください。

- ⏻（パワー）ランプがグリーンで点灯（LCD/Videoスタンバイ）
  キーボードのいずれかのキーを押す。
- ⏻（パワー）ランプがアンバー（赤褐色）で点滅（スタンバイ）
  キーボードのいずれかのキーまたは⏻（パワー）ボタンを押す*2。
- ⏻（パワー）ランプが消灯（休止状態または電源オフ）
  ⏻（パワー）ボタンを押す*2。

*1 詳しくは、本機オンラインマニュアルの「VAIO Inform@tion」内「知っ得情報」の「省電力動作モードについて」をご覧ください。

*2 ⏻（パワー）ボタンを4秒以上押しつづけると保存された状態が破棄されますのでご注意ください。

外部ディスプレイに何も表示されない。

→ 表示するディスプレイの設定を確認してください。詳しくは、本機オンラインマニュアルの「設定を変更する」内「画面表示の設定を変更する」の「表示するディスプレイを選ぶ」をご覧ください。

外部ディスプレイの表示サイズ、表示位置がおかしい。

→ ディスプレイの調整つまみで設定する。詳しくは、ディスプレイの取扱説明書をご覧ください。

デスクトップ画面上にウィンドウやアイコンの軌跡が残る。

→ ⊞キーを押しながらDキーを2回押す。

タッチパッド・キーボード

指がタッチパッドの端まできてしまい、これ以上動かせない。

→ 指をいったんタッチパッドから離し、中央に戻す。

指がタッチパッドに触れただけで、クリックしてしまう。

→ タッチパッドの設定を変更し、タッピング機能を無効にしてください。詳しくは、本機オンラインマニュアルの「設定を変更する」内「タッチパッドをカスタマイズする」の「タッピング機能を無効にする」をご覧ください。

タッチパッドが働かない。

→ タッチパッドが無効になっている。タッチパッドの設定を変更し、タッチパッドを有効にしてください。詳しくは、本機オンラインマニュアルの「設定を変更する」内「「Sony Notebook Setup」で本機の使用環境を設定する」の「タッチパッドを無効にする／有効にする」をご覧ください。

→ 下記の手順でタッチパッドの設定を確認してください。

1［スタート］ボタンをクリックして［設定］にポインタを合わせ、［コントロールパネル］をクリックする。

2［マウス］アイコンをダブルクリックする。

「マウスのプロパティ」画面が表示されます。

3［タッピング］タブをクリックする。

4「コーナーでタップしない」がチェックされていないことを確認する。

チェックされているときは、クリックしてチェックをはずします。

画面上のポインタが動かない。

→ CD-ROMなどのディスクを再生しているときなどにポインタが動かなくなった場合は、CtrlキーとAltキーを押しながらDeleteキーを押し、［タスクマネージャ］でディスクの再生を強制的に終わらせ、以下の手順で本機を再起動する。

→ ⊞ キーを押して［スタート］メニューを表示させ、↑キーを押して［シャットダウン］を選んでEnterキーを押し、↑キーまたは↓キーを押して［シャットダウン］または［再起動］を選び、Enterキーを押す。

→ 上記の操作で電源が切れないときは、CtrlキーとAltキーを押しながらDeleteキーを押して「シャットダウン」または「再起動」を選び、Enterキーを押す。

→ 以上の操作でも何も起こらないときは、本機の ⏻（パワー）ボタンを4秒以上押して電源を切る。

次のページにつづく

画面上のすべてのものが動かなくなってしまった。

→ CtrlキーとAltキーを押して「Windowsのセキュリティ」画面を表示させ、Sキーを押してから↑キーまたは↓キーを押して［再起動］を選び、Enterキーを押して再起動する。

→ 以上の操作でも何も起こらないときは、本機の ⏻（パワー）ボタンを4秒以上押して電源を切る。

タッチパッドでスクロール機能が働かない。

→ ソフトウェアによっては、タッチパッドのスクロール機能が使えないことがあります。その場合は、タッチパッドの左右ボタンを同時に押して、オートスクロール機能を可能にしてからスクロールしてください。

キーボードを使って正しく入力できない。

→ U、I、O、J、K、L、M、@などの文字が入力できない場合は、Num Lock（ナムロック）が有効になっている場合があります。
🔒1(Num Lock) ランプが点灯していないか確認してください。点灯している場合は、Num Lkキーを押してランプを消灯させてから入力してください。

→ 以下の手順で「デバイス マネージャ」画面を表示し、キーボードの項目が「日本語 PS/2 キーボード（106/109キー Ctrl+英数）」に設定されているか確認してください。異なるキーボードタイプに設定していると、入力したい文字と違う文字が表示されることがあります。

1［スタート］ボタンをクリックして［設定］にポインタを合わせ、［コントロールパネル］をクリックする。

2［システム］アイコンをダブルクリックする。

3「ハードウェア」タブの［デバイス マネージャ］をクリックする。

→ 市販のUSB機器（キーボードやテンキーなど）を本機に接続したときなどに、本機のキーボードのキーボード配列が101英語キーボードの設定になり、正しくキーボード入力できないことがあります。その場合は下記の手順に従って操作し、日本語キーボードの設定に戻してください。

1［スタート］ボタンをクリックして［設定］にポインタを合わせ、［コントロールパネル］をクリックする。

2［システム］アイコンをダブルクリックする。

3［ハードウェア］タブをクリックし、［デバイス マネージャ］をクリックする。

4「キーボード」の［+］をクリックする。

5 表示される項目から［日本語 PS/2 キーボード（106/109キー Ctrl+英数）］を選んで右クリックし、［プロパティ］をクリックする。

「日本語 PS/2 キーボード（106/109キー Ctrl+英数）のプロパティ」画面が表示されます。

6［ドライバ］タブをクリックし、［ドライバの更新］をクリックする。

「デバイス ドライバのアップグレード ウィザードの開始」画面が表示されます。

7［次へ］をクリックする。

8［このデバイスの既知のドライバを表示して、その一覧から選択する］をクリックして選び、［次へ］をクリックする。

「デバイス ドライバの選択」画面が表示され、「モデル」に「101/102英語キーボードまたはMicrosoft Natural PS/2キーボード」が表示されます。

9［このデバイス クラスのハードウェアをすべて表示］をクリックする。

「製造元」と「モデル」の一覧が表示されます。

10「製造元」は［(標準キーボード)］を、「モデル」は［日本語 PS/2 キーボード (106/109キー Ctrl+英数)］をそれぞれクリックして選び、［次へ］をクリックする。

11 ドライバの更新警告メッセージが表示されたら、［はい］をクリックする。

「デバイス ドライバのインストールの開始」画面が表示されます。

12「日本語 PS/2 キーボード (106/109キー Ctrl+英数)」のドライバがインストールされることを確認してから、［次へ］をクリックする。

ドライバのインストールが始まります。インストールが終わると、「デバイス ドライバのアップグレード ウィザードの完了」画面が表示されます。

13［完了］をクリックする。

「システム設定の変更」画面が表示されます。

14［はい］をクリックする。

本機が再起動し、キーボードが日本語キーボードの設定に戻ります。

次のページにつづく

キートップがはずれた。

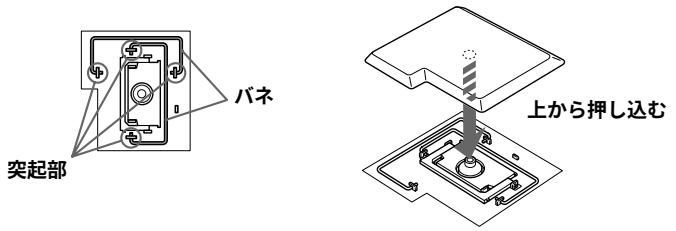
→ EnterキーとCaps Lockキー、スペースキーは以下の図に従って取り付けてください。

その他のキートップがはずれたときは、元の位置に戻して「カチッ」と音がするまで上から押し込んでください。

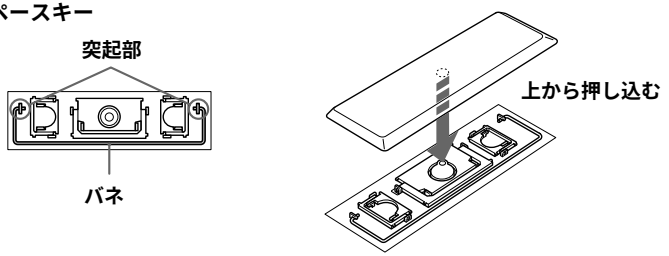
キートップの取り付けかた

キートップから針金のバネを取りはずして、突起部にひっかけ、キートップの中心を合わせて「カチッ」と音がするまで上から押し込む。

Enterキー



スペースキー



ご注意

- キートップを故意にはずさないでください。故障の原因となります。
- 取り付けるときに無理に力を加えると破損の原因となります。取り扱いには充分ご注意ください。

フロッピーディスク

フロッピーディスクが取り出せない。

→ ドッキングステーションまたはUSBフロッピーディスクドライブを取りはずして、VAIOカスタマーリンクにご連絡ください。

「ディスクがいっぱいです」というメッセージが表示され、ファイルなどをフロッピーディスクに保存できない。

→ フロッピーディスクの容量の空きがない。容量の空きが充分にある別のフロッピーディスクを使って保存し直す。

「書き込み禁止」というメッセージが表示された。

→ フロッピーディスクが書き込み禁止になっている。タブを動かして書き込み可能にする。詳しくは、本機オンラインマニュアルの「基本的な使いかた」内「フロッピーディスクを使う」の「フロッピーディスクのデータを誤って消さないようにする」をご覧ください。

「マイ コンピュータ」からフロッピーディスクを選んで初期化しようとしたができない。

→ フロッピーディスクが書き込み禁止になっている。タブを動かして書き込み可能にする。詳しくは、本機オンラインマニュアルの「基本的な使いかた」内「フロッピーディスクを使う」の「フロッピーディスクのデータを誤って消さないようにする」をご覧ください。

→ フロッピーディスクがドッキングステーションのフロッピーディスクドライブ、またはUSBフロッピーディスクドライブにきちんと入っているか確認する。

→「アプリケーションが使用中です」というメッセージが出たときは、フロッピーディスクの内容が画面で表示されている。画面表示されているときは初期化できないので、フロッピーディスクのウィンドウを閉じる。

次のページにつづく

別売りのUSBフロッピーディスクドライブPCGA-UFD5がA:ドライブとして認識されない。

→ 以下の手順に従って操作してください。

1 本機の電源を切り、本機をドッキングステーションから取りはずす。

2 本機の電源を入れる。

3 USBフロッピーディスクドライブPCGA-UFD5を本機に接続する。

4 [スタート] ボタンをクリックして [設定] にポインタを合わせ、[コントロール パネル] をクリックする。

5 [システム] アイコンをダブルクリックする。

6 「ハードウェア」タブの [デバイス マネージャ] をクリックする。

7 [USB (Universal Serial Bus) コントローラの [+] をクリックして [Y-E Data USB Floppy] を選び、「操作」メニューから、[削除] を選ぶ。

8 「デバイスの削除の確認」画面が表示されるので [OK] をクリックする。

9 「操作」メニューから [ハードウェア変更のスキャン] をクリックする。

スキャンが終了すると、USBフロッピーディスクドライブPCGA-UFD5がA:ドライブとして認識されます。

本機に取り付けたドッキングステーションのフロッピーディスクドライブがA:ドライブとして認識されない。

→ 以下の手順に従って操作してください。

1 本機の電源を切り、接続している周辺機器を取りはずす。

2 ドッキングステーションを取り付けて、本機の電源を入れる。

3 [スタート] ボタンをクリックして [設定] にポインタを合わせ、[コントロール パネル] をクリックする。

4 [システム] アイコンをダブルクリックする。

5 「ハードウェア」タブの [デバイス マネージャ] をクリックする。

6 [フロッピーディスクコントローラの [+] をクリックして [標準フロッピーディスクコントローラ] を選び、「操作」メニューから、[削除] を選ぶ。

7 「デバイスの削除の確認」画面が表示されるので [OK] をクリックする。

8 「操作」メニューから [ハードウェア変更のスキャン] をクリックする。

スキャンが終了すると、ドッキングステーションのフロッピーディスクドライブがA:ドライブとして認識されます。

ドッキングステーション

本機に取り付けたドッキングステーションのディスクドライブが操作できない。

→ ドッキングステーションを本機からいったん取りはずし、もう1度取り付け直してください。詳しくは、「ドッキングステーションを取り付ける／取りはずす」(64ページ) をご覧ください。

→ 下記の手順に従って、ドッキングステーション底面のi.LINKネットワークスイッチを切り替えてください。

1 本機をドッキングステーションから取りはずす。(66ページ)

2 ドッキングステーションに接続しているAC電源とすべての接続ケーブルを取りはずす。

3 細いペン先などで、ドッキングステーション底面のi.LINKネットワークスイッチを「●」マークのない方に合わせる。

4 本機をドッキングステーションに取り付ける。(64ページ)

5 本機の電源を入れる。

ご注意

- 電源の入った状態で、i.LINKネットワークスイッチを切り替えないでください。故障の原因となります。
- i.LINKネットワークスイッチを切り替える場合は、ドッキングステーションに接続しているすべての接続ケーブルを取りはずしてから行ってください。

i.LINKで他のコンピュータと接続中、本機に取り付けたドッキングステーションのドライブを操作できない。

→ ドッキングステーション底面のi.LINKネットワークスイッチを切り替えてください。詳しくは、本機オンラインマニュアルの「拡張する」内「i.LINK接続でデータをやりとりする」の「ドッキングステーションを取り付けているときは」をご覧ください。

ドッキングステーションを取りはずそうとしたが、「ドッキングステーションから装着解除中にエラーが発生しました」というメッセージが表示された。

→ 使用中のソフトウェアや接続している周辺機器によってはエラーメッセージが表示される場合があります。ソフトウェアを終了したり、接続している機器を取りはずしてから、再度ドッキングステーションの取りはずし操作を行ってください。詳しくは、「ドッキングステーションを取りはずす」(66ページ) をご覧ください。

次のページにつづく

ディスクが取り出せない。

→ 本機が省電力動作モードのときは、ディスクを取り出せません。通常モードに復帰させてから、イジェクトボタンを押してください。省電力動作モードについて詳しくは、本機オンラインマニュアルの「VAIO Inform@tion」内「知っ得情報」の「省電力動作モードについて」をご覧ください。

イジェクトボタンを押してもディスクが取り出せない。

→ 針金のようなもの（太めのクリップで代用可）を、マニュアルイジェクト穴に押し込んでください。

CD-ROM・CD-R・CD-RW・DVD-ROM

CD-ROMなどのディスクが再生できない。

→ ドッキングステーションまたはディスクドライブが正しく装着されているか確認する。

→ ディスクが正しくトレイに置かれているか確認する。詳しくは、本機オンラインマニュアルの「基本的な使いかた」内「CDなどのディスクを使う」の「ディスクを入れる／取り出す」をご覧ください。

→ ディスクの再生面を柔らかい布できれいに拭き、汚れをとる。（129ページ）

→ 結露が生じている可能性があります。1時間くらい待って電源を入れ直してから、もう1度再生してみる。（124ページ）

→ 再生音量を確認する。

DVDが再生できない。

→ DVDディスクの地域番号（リージョンコード）が合っているか確認する。詳しくは、本機オンラインマニュアルの「VAIO inform@tion」内「制限事項」の「DVDビデオディスクについてのご注意」をご覧ください。

→ 本機の液晶ディスプレイの設定が、標準の解像度以下に設定されているか確認してください。詳しくは、本機オンラインマニュアルの「設定を変更する」内「画面表示の設定を変更する」の「ディスプレイの設定を変更する」をご覧ください。

ディスクの再生時、音がとぎれる。

→ ディスクの再生面を柔らかい布できれいに拭き、汚れをとる。（129ページ）

ディスクが取り出せない。

→ 本機が省電力動作モードのときは、ディスクを取り出せません。通常モードに復帰させてから、イジェクトボタンを押してください。省電力動作モードについて詳しくは、本機オンラインマニュアルの「VAIO Inform@tion」内「知っ得情報」の「省電力動作モードについて」をご覧ください。

イジェクトボタンを押してもディスクが取り出せない。

→ 針金のようなもの（太めのクリップで代用可）を、マニュアルイジェクト穴に押し込んでください。

ディスクドライブから起動できない。

→ 下記のドッキングステーション、または専用ドライブ以外からは本機を起動できません。ドライブをお使いになるときは、各ドライブに付属の取扱説明書もあわせてご覧ください。

- CD-RW/DVD ドッキングステーション PCGA-DSM5
- DVD ドッキングステーション PCGA-DSD5
- CD-ROMドライブ PCGA-CD51 Series
- CD-RWドライブ PCGA-CDRW5_ Series

“ メモリースティック ”

「書き込み禁止」または「書き込み保護されています」というメッセージが表示された。

→ “ メモリースティック ”が書き込み禁止になっている。タブを動かして書き込み可能にする。詳しくは、本機オンラインマニュアルの「基本的な使いかた」内「“メモリースティック”を使う」の「データを書き込み禁止にする」をご覧ください。

次のページにつづく

“ メモリースティック ”を挿入すると、「このメディアは使用できません。著作権非対応のメディアか不正なメディアが挿入されています」などのメッセージが表示される。

→ “ メモリースティック ”内に保存されている静止画像などを表示／再生する場合は、下記の手順で「OpenMG Jukebox」ソフトウェアの設定を確認してください。

1［スタート］ボタンをクリックする。

2［プログラム］にポインタを合わせ、［OpenMG Jukebox］から、［OpenMG Jukebox］をクリックする。

3［ツール］メニューから［設定］を選んでクリックする。

4［全般］タブをクリックする。

5「Jukebox Startupをタスクトレーに追加する」がチェックされていないことを確認する。
チェックされているときは、クリックしてチェックをはずします。

“ メモリースティック ”を挿入しても、画像が表示されない。

→ 工場出荷時の設定では、“ メモリースティック ”を挿入すると自動的に「VisualFlow」が起動するよう設定されています。「VisualFlow」が起動しても、“ メモリースティック ”内の画像が表示されない場合は、“ メモリースティック ”のフォーマット形式が違う可能性があります。この場合は、“ メモリースティック ”内のデータをハードディスクなどにいったんコピーした後、本機に付属の［メモリースティックフォーマッタ］でフォーマットし直してください。

DV機器・i.LINK機器

DV機器が使用できない。または、「DV機器が接続されていないか、電源が入っていないので、動作しません。」などのメッセージが表示される。

→ DV機器の電源が入っているか、またはケーブルが正しく接続されているか確認する。詳しくは、本機オンラインマニュアルの「拡張する」内「i.LINK対応機器とデータをやりとりする」の「i.LINK対応機器をつなぐ」をご覧ください。

→ i.LINKでは、複数の機器を接続して動くように設計されていますが、機器との組み合わせによっては、動作が不安定になることがあります。接続されている機器すべての電源をいったん切り、なるべく不要な機器を取りはずして、ケーブルの接続を確認した後、再度電源を入れてください。

本機と接続したi.LINK対応機器が認識されない。または、「DV機器が接続されていないか、電源が入っていないので、動作しません。」などのメッセージが表示される。

→ いったんi.LINKケーブルを抜き、再度接続し直してください。詳しくは、本機オンラインマニュアルの「拡張する」内「i.LINK対応機器とデータをやりとりする」の「i.LINK対応機器をつなぐ」をご覧ください。

ドッキングステーションのi.LINKコネクタに接続した機器が正しく動作しない。

→ 本体のi.LINKコネクタをお使いください。

接続しているi.LINK対応機器の動作が停止した。

→ i.LINK対応機器を接続中にドッキングステーションを取りはずすときは、i.LINK対応機器の動作を終了させてから行ってください。

「DVgate」ソフトウェアを使用してテープに録画中、「DV機器への録画に失敗しました。DV機器の電源、接続の状態を確認して操作をやり直してください」というメッセージが表示される。

→ DV機器の電源やケーブルが正しく接続されているかどうか確認してください。また、続けて録画を行っていると、機器が正しく接続されていても、録画できなくなる場合があります。その場合、すべてのソフトウェアを終了してから本機を再起動してください。
さらに快適な環境でご使用いただくためには、メモリの増設をおすすめします。詳しくは、「メモリを増設する」(109ページ) をご覧ください。

「DVgate」ソフトウェアを使用中にフレーム落ちが生じる。

→ 使用状況によってはフレーム落ちが生じることがあります。その場合は、メモリの増設をしてください。詳しくは、「メモリを増設する」(109ページ) をご覧ください。

プリンタ

プリンタで印刷できない。

→ Windows 2000対応でないプリンタドライバではお使いになれません。

→ お使いのプリンタの製造元からWindows 2000に対応したドライバを入手してお使いいただくか、プリンタの製造元へお問い合わせください。

→ プリンタポートのモード設定を変更する。詳しくは、本機オンラインマニュアルの「設定を変更する」内「「Sony Notebook Setup」で本機の使用環境を設定する」の「プリンタポートの設定を変更する」をご覧ください。

PCカード

PCカードが使えない。

→ Windows 2000対応でないPCカードは使えないことがあります。

→ 以前使用できたPCカードが使用できなくなった場合は、下記の手順でドライバの更新を行ってください。

1［スタート］ボタンをクリックして［設定］にポインタを合わせ、［コントロールパネル］をクリックする。

2［システム］アイコンをダブルクリックする。

3［ハードウェア］タブの［デバイス マネージャ］をクリックする。

4 動作しないPCカードをダブルクリックして、プロパティ画面を表示する。

5［ドライバ］タブの［ドライバの更新］をクリックする。

→ ドライバの更新を行っても使用できない場合は、PCカード製造元にお問い合わせください。

→ 以下の手順で「デバイス マネージャ」画面を表示し、PCカードに「！」がついている場合は、ドライバを削除してインストールし直してください。

1［スタート］ボタンをクリックして［設定］にポインタを合わせ、［コントロールパネル］をクリックする。

2［システム］アイコンをダブルクリックする。

3［ハードウェア］タブの［デバイス マネージャ］をクリックする。

スピーカー

スピーカーから音が出ない。

→ 本機の内蔵スピーカーが「切」になっている。Fnキーを押しながら、F3キーを押す。詳しくは、「Fnキーとの組み合わせ」(57ページ) をご覧ください。

→ 本機の内蔵スピーカーの音量が最小になっている。Fnキーを押しながら、F4キーを押したあと、↑または→キーを押して音量を上げる。詳しくは、「Fnキーとの組み合わせ」(57ページ) をご覧ください。

→ ∩ コネクタにケーブルをつないでいるときは、ケーブルをはずす。

本機に接続したドッキングステーションなどのドライブで音楽CDを再生してもスピーカーから音が出ない。

→ ドッキングステーションやCD-ROMドライブ PCGA-CD51 Series、CD-RWドライブ PCGA-CDRW5_ Seriesを本機に接続した状態で、下記の手順で設定を確認してください。

1［スタート］ボタンをクリックして［設定］にポインタを合わせ、［コントロール パネル］をクリックする。

2［システム］アイコンをダブルクリックする。

3［ハードウェア］タブの［デバイス マネージャ］をクリックする。

4「DVD/CD-ROMドライブ」をダブルクリックする。

5「DVD/CD-ROMドライブ」の下に表示されたお使いのドライブ名をダブルクリックする。

6［プロパティ］タブをクリックし、「このCD-ROMデバイスでデジタル音楽CDを使用可能にする」のチェックボックスがチェックされていることを確認する。

チェックされていないときは、クリックしてチェックします。

Fnキーを押しながらF3キーまたはF4キーを押しても、何も表示されない。

→ 以下の手順で「デバイス マネージャ」画面を表示し、サウンドデバイスを使用できるように設定してください。

1［スタート］ボタンをクリックして［設定］にポインタを合わせ、［コントロール パネル］をクリックする。

2［システム］アイコンをダブルクリックする。

3［ハードウェア］タブの［デバイス マネージャ］をクリックする。

「Windows Media Player」ソフトウェアで再生中、音声に雑音が混じる。

→「Media Bar」ソフトウェアで再生してください。

マイク

マイクが使えない。

→ 録音デバイスとしてマイクが選択されていない可能性があります。下記の手順に従って選択してください。

1 デスクトップ画面右下のタスクトレイにある をダブルクリックする。

2［オプション］メニューから［プロパティ］を選ぶ。

3「音量の調整」の［録音］と「表示するコントロール」の「Microphone」をチェックし、［OK］をクリックする。

4「Microphone」の「選択」がチェックされていることを確認する。
チェックされていないときは、クリックしてチェックします。

5 スライダを上下に動かして好みの音量に調整する。

→「Media Bar」などの音声を扱うソフトウェアと同時に動かしている場合は、それらのソフトウェアを終了させてください。

音声を扱うソフトウェアでエラーメッセージが表示された。

→ 他の音声を扱うソフトウェアと同時に動かしている場合は、それらのソフトウェアを終了させてください。

パスワード

パスワードを忘れた。

→ パスワードを忘れてしまったときは、修理（有償）が必要となります。VAIOカスタマーリンクにご連絡ください。

省電力動作モード

「VAIO Action Setup」で省電力動作モードにならない。

→ 動作しているプログラムやデバイスによっては、省電力動作モードに移行できないことがあります。

バッテリ残量がわずかなのに、休止状態にならない。

→ 使用中のソフトウェアや接続している周辺機器によっては、Windows からの指示で作業を一時中断することができないため、この機能が正しく働かないことがあります。

休止状態に移行できない。

下記の操作を行ってください。

→ モデム通信やDVDプレイヤー、プリンタユーティリティなどが使用中の場合は、終了するか一時的に使用不可にする。

→ Fnキーを押しながらF12を押して休止状態に移行できない場合は、下記の手順で「Hotkey Utility」が表示されるか確認してください。

1［スタート］ボタンをクリックして［設定］にポインタを合わせ、［コントロールパネル］をクリックする。

2［アプリケーションの追加と削除］アイコンをダブルクリックする。

「Hotkey Utility」が表示されるか確認してください。表示されない場合は、センタージョグを使って「電源管理 (PowerPanel)」の を選択してください。

→ それでも休止状態に移行できない場合は、以下の手順で操作してください。

1［スタート］ボタンをクリックして［設定］にポインタを合わせ、［コントロールパネル］をクリックする。

2［電源オプション］アイコンをダブルクリックする。

3［休止状態］タブで「休止状態をサポートする」がチェックされているか確認する。

チェックされていないときは、チェックボックスをクリックしてチェックしてください。

ハードディスク

誤ってハードディスクを初期化してしまった。

→ リカバリ CDを使って、本機を再セットアップする必要があります。詳しくは、「リカバリ CDで本機を再セットアップする」(115ページ) をご覧ください。

ハードディスクから起動できない。

→ ドッキングステーションのフロッピーディスクドライブまたはUSBフロッピーディスクドライブに、フロッピーディスクが入っていないか確認する。

ソフトウェア

「Microsoft Internet Explorer」から、PDF形式のファイルを開こうとすると、「Could not find Acrobat External Window Handler.」、「An internal error has occurred.」というメッセージが表示され、PDF形式のファイルを開くことができない。

→ 本機を再起動後、下記の手順を行ってください。

1 **[スタート] ボタンをクリックして [プログラム] にポインタを合わせ、[Adobe Acrobat 4.0] から [Acrobat Reader 4.0] をクリックする。**

2 **言語を選択する画面が表示されたら、「日本語」を選択し、[OK] をクリックする。**

言語を選択する画面が表示されない場合は、そのまま手順3を行ってください。

3 **「ソフトウェア使用許諾契約書」画面が表示されたら、契約書の内容を読み、[同意する] をクリックする。**

「ソフトウェア使用許諾契約書」画面が表示されずに「Adobe Acrobat Reader」が起動した場合は、そのまま手順4を行ってください。

4 **「Adobe Acrobat Reader」が起動したら、画面右上の ✕ をクリックする。**

5 **「Microsoft Internet Explorer」から、先ほど開けなかったPDF形式のファイルを開き、表示されることを確認する。**

文字入力

日本語が入力できない。

→ 本機オンラインマニュアルの「基本的な使いかた」内の「文字を入力する」をご覧ください。

キーボードを使って正しく入力できない。

→ U、I、O、J、K、L、M、@などの文字が入力できない場合は、Num Lock（ナムロック）が有効になっている場合があります。
1(Num Lock）ランプが点灯していないか確認してください。点灯している場合は、Num Lkキーを押してランプを消灯させてから入力してください。

→ 以下の手順で「デバイス マネージャ」画面を表示し、キーボードの項目が「日本語 PS/2 キーボード（106/109キー Ctrl+英数）」に設定されているか確認してください。異なるキーボードタイプに設定していると、入力したい文字と違う文字が表示されることがあります。

1［スタート］ボタンをクリックして［設定］にポインタを合わせ、［コントロールパネル］をクリックする。

2［システム］アイコンをダブルクリックする。

3「ハードウェア」タブの［デバイス マネージャ］をクリックする。

入力した文字が表示されない。

→ 文字を入力したいソフトウェアの画面が前面に出ていない。（デスクトップ画面上では薄い色の画面になります。）画面のどこかをクリックするか、Altキーと Tabキーを同時に押して目的のソフトウェアを前面に出し、使える状態にする。

その他

コンピュータウイルスについて

コンピュータウイルスとは、コンピュータの中のファイルやプログラムに悪影響を与えるプログラムのことです。ほとんどがいたずら半分で作成されたものですが、下記の「コンピュータウイルスに侵入されると…」に見られるような被害が起きてしまいます。
コンピュータウイルスは他のプログラムと異なり、それ自体が増殖し、データのコピーなどを通じて他のコンピュータにも悪影響を及ぼしていきます。

コンピュータウイルスに侵入されると…

- 意味不明なメッセージや、ウイルスが侵入したことを知らせるメッセージが画面上に表示される。
- ファイルが勝手に消去される。
- ハードディスク上の情報が意味のないものに書き換えられる。
- 画面上に意味のないものが表示される。
- ハードディスク上の空き容量が急に小さくなる。

本機には、コンピュータウイルス検査・ウイルス除去用ソフトウェアとして「VirusScan」が用意されています。コンピュータウイルスから守るため、定期的なウイルスチェックをおすすめします。
本機で「VirusScan」を初めてお使いになるときは、次の手順に従ってインストール作業を行ってください。また、108ページの注意事項もあわせてご覧ください。
なお、「VirusScan」について詳しくは「VirusScan」のヘルプをご覧になるか、下記にお問い合わせください。
日本ネットワークアソシエイツ株式会社 テクニカルサポート
電話番号：(03) 3379-7770

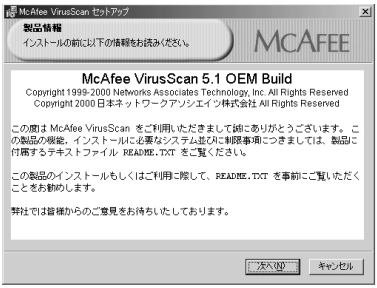
「VirusScan」は、本機ご購入時より1年間、無償でアップグレードを行うことができます。
アップグレード方法ならびにパッケージのご購入について詳しくは、下記にお問い合わせください。
日本ネットワークアソシエイツ株式会社
電話番号：(03) 5428-1100

ご注意

以下の手順を行うには、管理者権限（Administrators）のユーザーでログインしている必要があります。

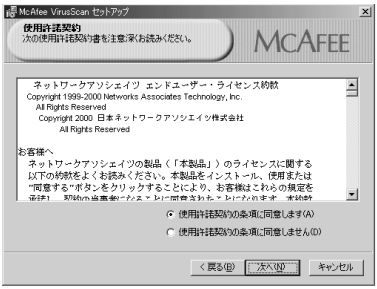
1 ［スタート］ボタンをクリックして［プログラム］にポインタを合わせ、［McAfee ウイルススキャン］をクリックし、［McAfee VirusScan セットアップ］をクリックする。

「McAfee VirusScan セットアップ」画面が表示されます。



2 ［次へ］をクリックする。

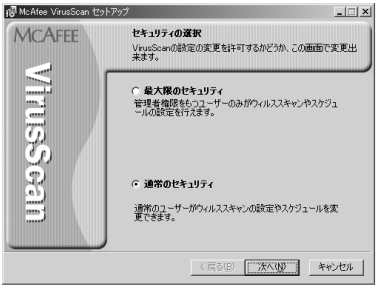
「使用許諾契約」画面が表示されます。



次のページにつづく

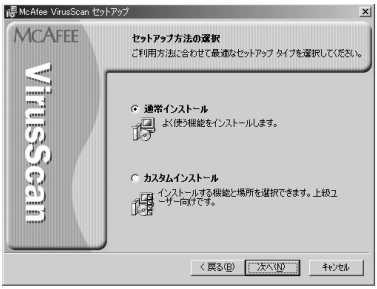
3 **内容を確認後、「使用許諾契約の条項に同意します」を選択して［次へ］をクリックする。**

「セキュリティの選択」画面が表示されます。



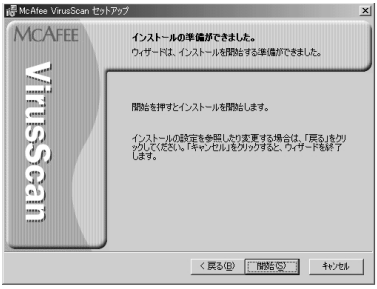
4 **［通常のセキュリティ］を選択して［次へ］をクリックする。**

「セットアップ方法の選択」画面が表示されます。



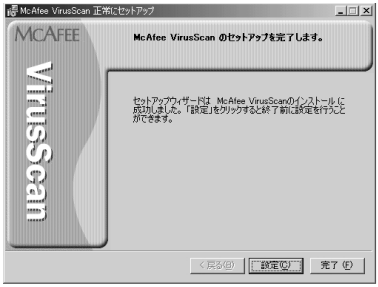
5 **［通常インストール］を選択して［次へ］をクリックする。**

「インストールの準備ができました」画面が表示されます。



6 **［開始］をクリックする。**

インストールが始まります。インストールが終わると、「McAfee VirusScan のセットアップを完了します」画面が表示されます。



7 **［設定］をクリックする。**

「ウィルススキャン設定」画面が表示されます。

8 **［次へ］をクリックする。**

「VirusScan メンテナンス」画面が表示されます。

次のページにつづく

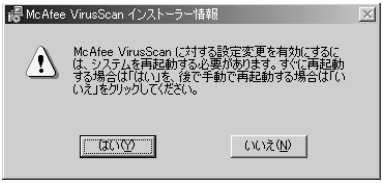
9 「ウィルススキャンアップデートの実行」および「レスキューディスクを作成」のチェックをはずし、［完了］をクリックする。

「ウィルススキャンアップデートの実行」および「レスキューディスクを作成」のどちらも、インストール手順が終了してからでも行うことができます。チェックしてインストールを続ける場合は、［次へ］をクリックし、画面の指示に従って操作してください。

ご注意

「ウィルススキャンアップデートの実行」を選択すると、インターネットへ接続してアップデートを行います。インターネットへ接続するための設定をしていない場合は、ここでチェックをはずしてください。
インストール終了後にアップデートすることもできます。
なお、インターネット接続について詳しくは、別冊の「はじめてのインターネット！」をご覧ください。

10 「McAfee VirusScan インストーラー情報」画面が表示されたら、［はい］をクリックして本機を再起動する。



これでインストールは完了です。

「VirusScan」をご使用になる際のご注意

- インストールを行うと、次回起動時から「McAfee VShield」がデスクトップ画面右下のタスクトレイに常駐し、ウイルスの自動監視を行います。それにより、Windowsの起動時間が長くなる場合があります。
- 本機に付属の「VirusScan」は、複数ユーザーでの同時使用はできません。ただし、一人のユーザーが複数のユーザー名を使い分けて本機にログオンする場合、「VirusScan」をインストールしたユーザー名でいったんアンインストールを行い、新たなユーザー名でインストールし直すことにより、そのユーザー名で「VirusScan」を使用することができます。
- 新種のウイルスに対応するため、ウイルスに関するデータファイルは常に更新することをおすすめします。インターネット上で、下記のURLより最新データファイルを入手できます。
  http://www.nai.com/japan/
- ウイルスデータファイルの更新や「VirusScan」ソフトウェアの使いかたについて詳しくは、「VirusScan」のヘルプをご覧ください。

メモリを増設する

別売りのソニー製メモリーモジュールPCGA-MM64N/MM128Nを取り付けることにより、データの処理速度や、複数のソフトウェアを同時に起動したときの処理速度が向上します。

ご注意

- コンピュータ内部はとても精密にできています。そのため、メモリの増設は注意深く行う必要があります。取り付けかたや取りはずしかたを誤ると、本機の故障の原因になります。破損した場合は有償修理となります。
  メモリ増設に関するご相談やご質問は、VAIOカスタマーリンクまでご連絡ください。
- 別売りのソニー製メモリーモジュールPCGA-MM64N/MM128N以外では、正常に認識されなかったり、Windowsの動作が不安定になるものがあります。他のメモリモジュールをお使いになる場合には、販売店またはメモリモジュールの製造メーカーにご相談ください。
- 水などの液体や、ネジなどの異物が入ると故障の原因となりますので、ご注意ください。

メモリモジュールを取り付ける

本機には拡張用メモリスロットが1つあり、別売りのメモリモジュールを取り付けることにより、最大256 Mバイトまでメモリを増設できます。
メモリモジュールの取りはずしかたについて詳しくは、「メモリモジュールを取りはずす」(112ページ) をご覧ください。

メモリモジュール取り扱い上のご注意

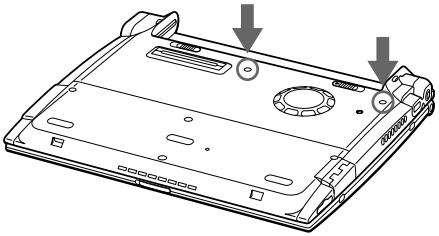
- 静電気でメモリモジュールを破壊しないように、メモリモジュールを取り扱うときは、次のことをお守りください。
  - メモリを増設するときは、静電気の起こりやすい場所 (カーペットの上など) では作業しないでください。
  - 静電気を体から逃がすため、本体の金属部に触れてから作業を始めてください。
  - メモリモジュールは静電気防止袋に入っています。取り付け直前まで袋から出さないでください。
- メモリモジュールを保管するときは、静電気防止袋またはアルミホイルで覆ってください。

次のページにつづく

1 本機と周辺機器の電源を切り、電源コードやバッテリ、および接続しているすべての機器を取りはずす。

2 しばらくしてから本機を裏返し、底面のネジ（2か所）をプラスドライバーで取りはずす。

取りはずすネジ（2か所）の上には印（●）がついています。
電源を切ったすぐあとは、本機の内部が熱くなっており、やけどをするおそれがあります。電源を切って約1時間ほどおいてから作業を行ってください。

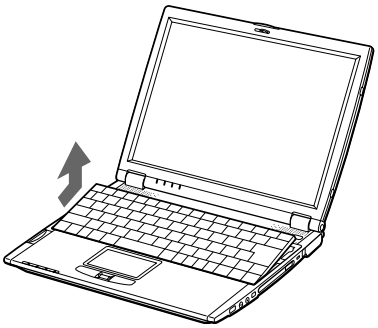


ご注意

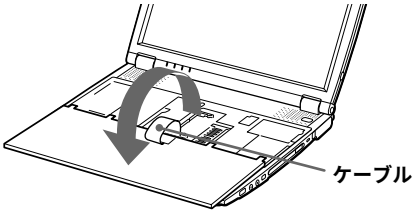
- ドライバーはネジのサイズにあったもの（精密ドライバーなど）をお使いください。
- 指定以外のネジをはずしたり、ゆるめたりしないでください。本機の故障の原因となるおそれがあります。

3 本機のキーボードを裏返す。

① ディスプレイパネルを開き、キーボード中央部を持って液晶ディスプレイ側に少しずらして持ち上げる。



② キーボードを液晶ディスプレイ側から持ち上げて、キーボード全体を裏返し、タッチパッドのある手前のスペースにゆっくりのせる。



ご注意

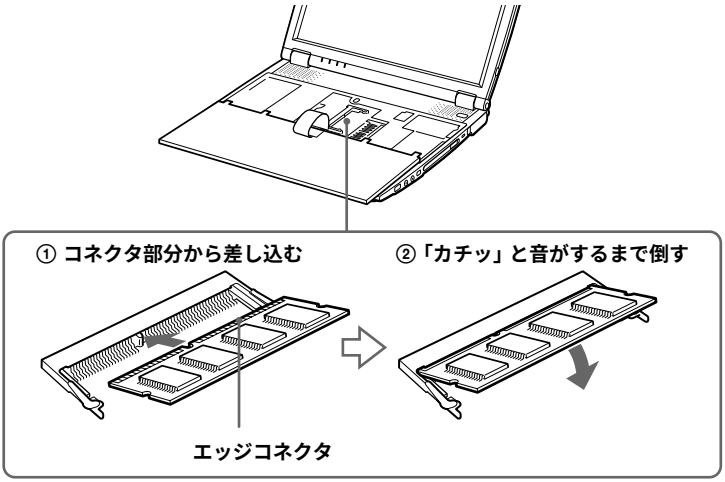
キーボードを裏返すときに、キーボードのケーブルは無理に引っぱりすぎないようにしてください。ケーブルが断線してしまうおそれがあります。

4 本体の金属部に触れて体の静電気を逃がしてから、メモリモジュールを静電気防止袋から取り出す。

5 メモリモジュールを取り付ける。

① メモリモジュールのエッジコネクタ部分を下にむけ、切り欠き部分をスロットの溝にあわせて、しっかりと差し込む。

②「カチッ」と音がするまで、矢印の方向にメモリモジュールを倒す。メモリモジュールの両端が固定されます。



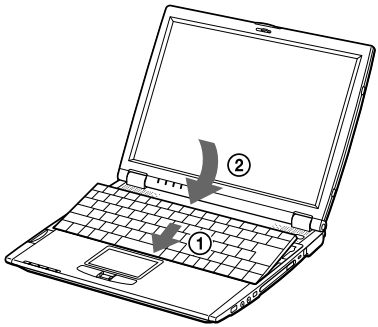
ご注意

メモリモジュール以外の基板には触れないようご注意ください。

次のページにつづく

6 キーボードを戻す。

ケーブルが断線しないようにキーボードをゆっくり元の位置に戻し、Deleteキー横にある本機のツメに引っかけて、本体に押し込んでください。



7 ディスプレイパネルを閉じ、本機底面のネジを締める。

プラスドライバーで本機底面のネジ（2か所）をしっかりと締めてください。

メモリモジュールを取りはずす

メモリモジュール取り扱い上のご注意

- 静電気でメモリモジュールを破壊しないように、メモリモジュールを取り扱うときは、次のことをお守りください。
  - メモリを取りはずすときは、静電気の起こりやすい場所（カーペットの上など）では作業しないでください。
  - 静電気を体から逃がすため、本体の金属部に触れてから作業を始めてください。
- メモリモジュールを保管するときは、静電気防止袋またはアルミホイルで覆ってください。

1 本機と周辺機器の電源を切り、電源コードやバッテリ、および接続しているすべての機器を取りはずす。

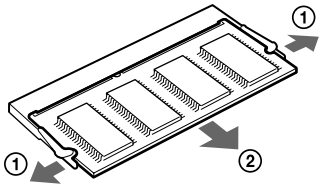
2 「メモリモジュールを取り付ける」（109ページ）の手順2と手順3を行う。

電源を切ったすぐあとは、本機の内部が熱くなっており、やけどをするおそれがあります。電源を切って約1時間ほどおいてから作業を行ってください。

3 本体の金属部に触れて体の静電気を逃がしてから、メモリモジュールを取りはずす。

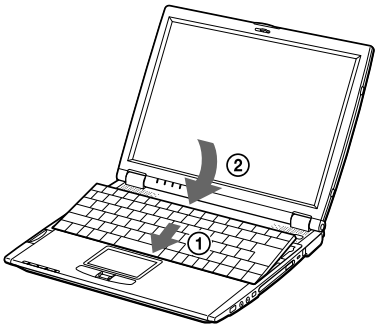
① メモリモジュールを固定しているタブを、注意しながら同時に押し広げる。

② メモリモジュールを矢印の方向に引き抜く。



4 キーボードを戻す。

ケーブルが断線しないようにキーボードをゆっくり元の位置に戻し、Deleteキー横にある本機のツメに引っかけて、本体に押し込んでください。



5 ディスプレイパネルを閉じ、本機底面のネジを締める。

プラスドライバーで本機底面のネジ（2か所）をしっかりと締めてください。

メモリの増設を確認する

1 **本機の電源を入れる。**

2 **［スタート］ボタンをクリックして［VAIO］にポインタを合わせ、［ツール・ユーティリティ］から［Sony Notebook Setup］をクリックする。**

Sony Notebook Setupが起動し、「Sony Notebook Setup」画面が表示されます。

3 **［システム情報］タブをクリックして、「システム メモリ」の項目が増設後のメモリ容量になっていることを確認する。**

メモリの容量の表示が正しければ、メモリの増設は完了しました。

メモリの容量が増えていないときは、本機の電源を切って、もう1度正しく増設の手順を繰り返してください。

リカバリ CDで本機を再セットアップする

ここでは、付属のリカバリ CDを使って、本機を再セットアップする方法を説明します。

リカバリ CDとは

付属のリカバリ CDには「システム リカバリ CD-ROM」と「アプリケーション リカバリ CD-ROM」の2種類があり、出荷時のハードディスク内のすべてのファイルが保存されています。誤ってハードディスクを初期化してしまったり、あらかじめインストールされているソフトウェアを消してしまった場合には、「システム リカバリ CD-ROM」と「アプリケーション リカバリ CD-ROM」の両方のリカバリ CDを使って本機を再セットアップすることで、ハードディスクの内容を出荷時の状態に戻すことができます。

リカバリ CDを使うと、次のことができます

- ハードディスクを初期化したうえで、すべてのファイルを復元する。
- ハードディスクのパーティションサイズを変更する。
  詳しくは「パーティションサイズを変更する」(121ページ) をご覧ください。

ご注意

- 付属のリカバリ CDは本機でのみ使用できます。他の製品では動作しません。
- リカバリ CDで再セットアップできるのは、本機に標準で付属されているソフトウェアのみです。ご自分でインストールしたソフトウェアや、作成したデータを復元することはできません。またWindows 2000だけを復元することもできません。
- ご自分で変更された設定は、再セットアップ後はすべて初期値に戻ります。
  再セットアップ後に、もう1度設定し直してください。
- 再セットアップする際は、必ず「システム リカバリ CD-ROM」と「アプリケーション リカバリ CD-ROM」の両方のリカバリ CDを使って行ってください。
  上記の操作を行わないと、本機の動作が不安定になる場合があります。

再セットアップする前に

本機を再セットアップする前に、大切なデータは必ずバックアップをとってください。

バックアップをとるには、次の方法があります。

- フロッピーディスクにコピーする。
- CD-RW、CD-Rにコピーする。
- D:ドライブにデータを残して、再セットアップする。

  本機のハードディスクは、C:ドライブとD:ドライブの2つのパーティションに分かれています。「本機を再セットアップするには」の手順6で「フォーマットしてリカバリ」を選んだ場合、C:ドライブのファイルはすべて消えてしまいますが、D:ドライブにあるファイルは残ります。

ご注意

「本機を再セットアップするには」の手順6で「パーティションサイズを変更してリカバリ」または「出荷時の状態へリカバリ」を選んだ場合は、それ以前にハードディスク上にあったファイルは、C:ドライブだけでなくD:ドライブのものも含めてすべて消えてしまいます。

本機を再セットアップするには

すべての周辺機器をはずし、ACアダプタとドッキングステーションまたはドライブのみを接続してから、作業を行ってください。

Windowsが完全に起動できない場合などに本機を再セットアップするときは、「Windowsが完全に起動しない状態で本機を再セットアップするには」（119ページ）をご覧ください。

パーティションサイズを変更するときは、「パーティションサイズを変更する」（121ページ）をご覧ください。

本機を再セットアップするには、下記のドッキングステーションまたは専用ドライブのいずれかが必要です。ドライブをお使いになるときは、各ドライブに付属の取扱説明書もあわせてご覧ください。

- CD-RW/DVD ドッキングステーション PCGA-DSM5
- DVD ドッキングステーション PCGA-DSD5
- CD-ROMドライブ PCGA-CD51 Series
- CD-RWドライブ PCGA-CDRW5_ Series

ご注意

- ドッキングステーションを取り付けて使う場合は、上記のドライブなどと同時に使用しないでください。本機の故障の原因となります。
- 再セットアップした場合、それ以前にハードディスク上にあったファイルはすべて消えてしまいます。再セットアップを行う前に、大切なデータはCD-RW、CD-Rに保存するなどして、必ずバックアップをとってください。

1 ドッキングステーションまたはドライブを本機に取り付ける。

PCGA-CDRW5_ Seriesをお使いのときは
ドライブ底面にある切り替えスイッチを「Recovery」に合わせ、PCGA-CDRW5_ Seriesに付属のACアダプタを取り付けてください。

2 本機をAC電源につなぎ、電源を入れる。

本機にドッキングステーションを取り付けている場合は、ドッキングステーションをAC電源につなぎます。

3 付属の「システム リカバリ CD-ROM Vol.1 of 2」をドライブに入れる。

自動的に「VAIO System Recovery Utility」が起動し、ドライブに関するご注意が表示され、続いて「はじめに」画面が表示されます。

次のページにつづく

4 内容をよく読み、［次へ］をクリックする。

5 引き続き内容をよく読んでから［同意する］をクリックし、［次へ］をクリックする。

「メニュー選択」画面が表示されます。

［同意しない］をクリックすると、再セットアップ作業を続けることはできません。

6 再セットアップの方法を選んでクリックし、［次へ］をクリックする。

通常は「フォーマットしてリカバリ」を選ぶことをおすすめします。

7 画面の指示に従って操作し、「再起動してリカバリを開始します」画面が表示されたら、「リカバリを開始する」のチェックボックスをクリックして、［完了］をクリックする。

自動的に本機が再起動します。

再セットアップを中止するときは、［キャンセル］をクリックします。

8 Sonyのロゴマークが表示されたらF2キーを押す。

ディスプレイ画面左下に「Entering Setup...」と表示されたあと、BIOSセットアップ画面が表示されます。

「Entering Setup...」と表示されない場合は、F2キーを数回押してください。

9 Escキーを押す。

10 ↑または↓キーで［Get Default Values］を選択し、Enterキーを押す。

11 「Load default configuration now?」と表示されるので、「Yes」を選択して、Enterキーを押す。

12 ［Exit (Save Changes)］が選ばれていることを確認してEnterキーを押す。

13 「Save configuration changes and exit now?」と表示されるので、「Yes」を選択して、Enterキーを押す。

本機が再起動し、再セットアップが始まります。

14 「2枚目のディスクを入れてください。」というメッセージが表示されたら、付属の「システム リカバリ CD-ROM Vol.2 of 2」をドライブに入れ、いずれかのキーを押す。

再セットアップの続きが始まります。

15 「システム リカバリ CD-ROM」のセットアップが終了したら、画面の指示に従って、「システム リカバリ CD-ROM」を取り出してから何かキーを押し、本機を再起動する。

16 「Windows 2000を準備する」（26ページ）の手順に従って、Windows 2000のセットアップを行う。

17 Windowsのセットアップが終了し、「Windows 2000の紹介」画面が表示されたら、画面右上の ✕ をクリックして画面を閉じる。

18 付属の「アプリケーション リカバリ CD-ROM」をドライブに入れる。

自動的にアプリケーションソフトウェアのセットアップが始まります。アプリケーションソフトウェアのセットアップが終わるとメッセージが表示されるので、［OK］をクリックして本機を再起動してください。

ご注意

アプリケーション リカバリ CD-ROMでセットアップを行うには、管理者権限(Administrators)でログオンしてください。

Windowsが完全に起動しない状態で本機を再セットアップするには

1 付属の「システム リカバリ CD-ROM Vol.1 of 2」をドライブに入れる。

2 CtrlキーとAltキーを押しながらDeleteキーを押して「Windowsのセキュリティ」を表示させ、Sキーを押してから↑キーまたは↓キーを押して［再起動］を選び、Enterキーを押す。

本機が再起動します。

本機が再起動しない場合は、⏻（パワー）ボタンを4秒以上押して本機の電源をいったん切り、再度電源を入れてください。

3 Sonyのロゴマークが表示されたらF2キーを押す。

ディスプレイ画面左下に「Entering Setup...」と表示されたあと、BIOSセットアップ画面が表示されます。

「Entering Setup...」と表示されない場合は、F2キーを数回押してください。

4 Escキーを押す。

次のページにつづく

5 **↑または↓キーで［Get Default Values］を選択し、Enterキーを押す。**

6 **「Load default configuration now?」と表示されるので、「Yes」を選択して、Enterキーを押す。**

7 **［Exit (Save Changes)］が選ばれていることを確認してEnterキーを押す。**

8 **「Save configuration changes and exit now?」と表示されるので、「Yes」を選択して、Enterキーを押す。**
リカバリCDから本機が起動します。

9 **画面の指示に従って操作する。**
操作を続けるかどうか表示されたときは、Yキーを押してEnterキーを押してください。
画面の指示に従って操作をしていくと、メニュー画面が表示されます。メニューから再セットアップの方法を選び、引き続き画面の指示に従って操作してください。通常は「フォーマットしてリカバリ」を選ぶことをおすすめします。
再セットアップを中止するときは「4」を選び、Enterキーを押します。

10 **「本機を再セットアップするには」（117ページ）の手順14から18を行う。**

パーティションサイズを変更する

本機のハードディスクはC:ドライブとD:ドライブの2つのパーティションに分かれており、D:ドライブは、「DVgate」ソフトウェアなどで取り込んだ動画などの容量が大きいデータを保存したり、操作したりするための領域（データスペース）として使えるように設定されています（工場出荷時）。
付属のリカバリ CDを使ってパーティションサイズを変更できます。
動画の取り込みや書き出しを行う場合は大容量のデータを高速で読み書きするため、ハードディスクの断片化が起こり、フレーム落ちの原因となります。そのためデータスペースとしてお使いになるパーティションは、ハードディスクの空き容量が常に連続になるよう、最適化（デフラグ）またはフォーマットを行ってください。
パーティションを区切ると、Windows 2000はC:ドライブにインストールされます。C:ドライブを最適化するには非常に時間がかかる場合がありますので、D:ドライブをデータスペースとしてお使いになることをおすすめします。

ご注意

ハードディスクのパーティションサイズを変更すると、それ以前にハードディスク上にあったファイルは、C:ドライブだけでなくD:ドライブのものも含めてすべて消えてしまいます。パーティションサイズを変更する前に、大切なデータはCD-RW、CD-Rに保存するなどして、必ずバックアップをとってください。

1 **「本機を再セットアップするには」（117ページ）の手順1〜5を行う。**

2 **「メニュー選択」画面が表示されたら、「パーティションサイズを変更してリカバリ」を選び、［次へ］をクリックする。**

3 **リストからパーティションサイズを選んでクリックし、［次へ］をクリックする。**

［詳細情報］をクリックすると、現在のパーティション情報が表示されます。

4 **表示される内容をよく読み、［次へ］をクリックする。**

「再起動してリカバリを開始します」画面が表示されます。

次のページにつづく

5「リカバリを開始する」のチェックボックスをクリックして、［完了］をクリックする。

自動的に本機が再起動します。

パーティションサイズの変更を中止するときは、［キャンセル］をクリックします。

6 Sonyのロゴマークが表示されたらF2キーを押す。

ディスプレイ画面左下に「Entering Setup...」と表示されたあと、BIOSセットアップ画面が表示されます。

「Entering Setup...」と表示されない場合は、F2キーを数回押してください。

7 Escキーを押す。

8 ↑または↓キーで［Get Default Values］を選択し、Enterキーを押す。

9「Load default configuration now?」と表示されるので、「Yes」を選択して、Enterキーを押す。

10［Exit (Save Changes)］が選ばれていることを確認してEnterキーを押す。

11「Save configuration changes and exit now?」と表示されるので、「Yes」を選択して、Enterキーを押す。

本機が再起動し、再セットアップが始まります。

12「2枚目のディスクをいれてください。」というメッセージが表示されたら、付属の「システム リカバリ CD-ROM Vol. 2 of 2」をドライブに入れ、いずれかのキーを押す。

再セットアップの続きが始まります。

13「システム リカバリ CD-ROM」のセットアップが終了したら、画面の指示に従って、「システム リカバリ CD-ROM」を取り出してから何かキーを押し、本機を再起動する。

14「Windows 2000を準備する」（26ページ）の手順に従って、Windows 2000のセットアップを行う。

15 Windowsのセットアップが終了し、「Windows 2000の紹介」画面が表示されたら、画面右上の ✕ をクリックして画面を閉じる。

16 付属の「アプリケーション リカバリ CD-ROM」をドライブに入れる。

自動的にアプリケーションソフトウェアのセットアップが始まります。アプリケーションソフトウェアのセットアップが終わるとメッセージが表示されるので、[OK] をクリックして本機を再起動してください。

ご注意

アプリケーション リカバリ CD-ROMでセットアップを行うには、管理者権限(Administrators)でログオンしてください。

使用上のご注意

本機の取り扱いについて

- 本体に手やひじをつくなどして力を加えないでください。本機の液晶ディスプレイはガラスでできています。力を加えると、ガラスが割れてしまいます。
- 衝撃を加えたり、落としたりしないでください。記録したデータが消失したり、本機の故障の原因となります。
- 炎天下や窓をしめきった自動車内など、異常な高温になる場所には置かないでください。本機が変形し、故障の原因となることがあります。
- クリップなどの金属物を本機の中に入れないでください。
- 振動する場所や不安定な場所では使用しないでください。

結露について

結露とは本機を寒い場所から急に暖かい場所に持ち込んだときなどに、本機の表面や内部に水滴がつくことで、そのままご使用になると故障の原因となります。
結露が起きたときは、電源を入れずに約1時間放置してください。

液晶ディスプレイについて

- 液晶ディスプレイの表面をぬれたもので拭かないでください。内部に水が入ると故障の原因となります。
- 液晶ディスプレイに物をのせたり、落としたりしないでください。また、手やひじをつくなどして力を加えないでください。
- 本機を戸外など寒い場所から室内へ持ち込むと、液晶ディスプレイに結露が生じることがあります。結露が生じたら、水滴をよく拭き取ってからご使用ください。水滴を拭き取るときは、ティッシュペーパーをお使いになることをおすすめします。液晶面が冷えているときは、水滴を拭き取っても、また結露が生じてしまいます。液晶面が室温に暖まるまでお待ちください。
- 画面上に常時点灯している輝点（赤、青、緑など）や滅点がある場合があります。液晶パネルは非常に精密な技術で作られておりますが、ごくわずかの画素欠けや常時点灯する画素があります。また、見る角度によってすじ状の色むらや明るさのむらが見える場合があります。これらは、液晶ディスプレイの構造によるもので、故障ではありません。

ハードディスクの取り扱いについて

ハードディスクは、フロッピーディスクに比べて記憶密度が高く、データの書き込みや読み出しに要する時間も短いという特長があります。その一方、衝撃や振動、ほこりに弱い装置でもあります。また、フロッピーディスク同様に磁気を帯びた物に近い場所での使用は避けなければなりません。

ハードディスクには衝撃や振動、ほこりからデータを守るための安全機構が組み込まれていますが、記憶したデータを失ってしまうことのないよう、次の点に特にご注意ください。

- 衝撃を与えないでください。
- 振動する場所や不安定な場所では使用しないでください。
- 電源を入れたまま、本機を動かさないでください。
- データの書き込み中や読み込み中は、電源を切ったり再起動したりしないでください。
- 急激な温度変化（毎時10℃以上の変化）のある場所では使用しないでください。

何らかの原因でハードディスクが故障した場合、データの修復はできませんのでご注意ください。

ハードディスクのバックアップをとる

ハードディスクは非常に多くのデータを保存することができますが、その反面、ひとたび事故で故障すると多量のデータが失われ、取り返しのつかないことになります。万一のためにも、ハードディスクの内容は定期的にバックアップを取ることをおすすめします。

ソフトウェアはオリジナルがCD-ROMやフロッピーディスクにありますので、バックアップが必要なのはデータなどです。ハードディスクのバックアップ、バックアップの内容の戻しかたについて詳しくは、Windowsのヘルプをお読みください。

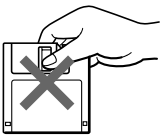
データの損失については、一切責任を負いかねます。

フロッピーディスクの取り扱いについて

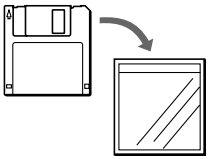
フロッピーディスクに記録されているデータなどを保護するため、次のことにご注意ください。

- テレビやスピーカー、磁石などの磁気を帯びたものに近づけないでください。フロッピーディスクに記録されているデータが消えてしまうことがあります。
- 直射日光のあたる場所や、暖房器具の近くに放置しないでください。フロッピーディスクが変形し、使用できなくなります。

- 手でシャッターを開けてディスクの表面に触れないでください。フロッピーディスクの表面の汚れや傷により、データの読み書きができなくなることがあります。

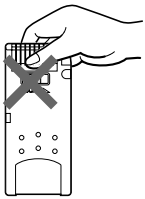


- フロッピーディスクに液体をこぼさないでください。
- 大切なデータを守るため、フロッピーディスクはフロッピーディスクドライブから取り出して、必ずケースなどに入れて保管してください。



“ メモリースティック ”の取り扱いについて

- 端子部には手や金属で触れないでください。

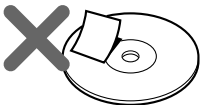


- ラベル貼り付け部には専用ラベル以外は貼らないでください。
- ラベルを貼るときは、所定のラベル貼り付け部からはみ出さないように貼ってください。
- 持ち運びや保管の際は、“ メモリースティック ”に付属の収納ケースに入れてください。
- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでください。
- 分解したり、改造したりしないでください。
- 水にぬらさないでください。
- 以下のような場所でのご使用や保存は避けてください。
  - －高温になった車の中や炎天下などの気温の高い場所
  - －直射日光の当たる場所
  - －湿気の多い場所や腐食性のある場所

ディスクの取り扱いについて

ディスクに記録されているデータなどを保護するため、次のことにご注意ください。

- 紙などを貼ったり、傷つけたりしないでください。



- 文字の書かれていない面（再生面）に触れないようにして持ちます。

- ほこりやちりの多いところ、直射日光の当たるところ、暖房器具の近く、湿気の多いところには保管しないでください。
- ディスクに液体をこぼさないでください。
- 大切なデータを守るため、ディスクは必ずケースなどに入れて保管してください。

PCカード使用時のご注意

PCカードスロットからはみ出すPCカード（ワイヤレスLANカードなど）を挿入してお使いの場合は、以下の点にご注意ください。

- PCカードを挿入した状態で、本機を移動しないでください。
  移動時にPCカードに強い衝撃を与えると、本機が破損するおそれがあります。
- PCカード部分を持って本機を持ち上げるなど、PCカードに力を加えると、本機が破損するおそれがあります。
- PCカードを挿入した状態で、本機をカバンやキャリングケースなどの中へ入れないでください。PCカードに予期せぬ力が加わり、本機が破損するおそれがあります。

ACアダプタについて

- ACアダプタをつながない状態で、本機の電源を入れたままバッテリを取りはずすと、作業中のデータが失われます。
- 本機には、付属のACアダプタをご使用ください。指定以外のACアダプタを使用すると、故障の原因になることがあります。
- ACアダプタを海外旅行者用の「電子式変圧器」などに接続しないでください。発熱や故障の原因となります。
- ケーブルが断線したアダプタは危険ですので、そのまま使用しないでください。

コンピュータウイルスについて

コンピュータウイルスとは、コンピュータの中のファイルやプログラムに悪影響を与えるプログラムのことです。ほとんどがいたずら半分で作成されたものですが、下記の「コンピュータウイルスに侵入されると…」に見られるような被害が起きてしまいます。コンピュータウイルスは他のプログラムと異なり、それ自体が増殖し、データのコピーなどを通じて他のコンピュータにも悪影響を及ぼしていきます。

次のページにつづく

コンピュータウイルスに侵入されると...

- 意味不明なメッセージや、ウイルスが侵入したことを知らせるメッセージが画面上に表示される。
- ファイルがかってに消去される。
- ハードディスク上の情報が意味のないものに書き換えられる。
- 画面上に意味のないものが表示される。
- ハードディスク上の空き容量が急に小さくなる。

コンピュータウイルスを侵入させないために

- 見知らぬ人から送られてきた、またはネットワーク経由で入手した文書やプログラムなどのデータは必ずウイルスチェックをする。
- 本機にはコンピュータウイルス検査・ウイルス除去用ソフトウェアとして、「VirusScan」ソフトウェアが用意されています。コンピュータウイルスから守るため、定期的なウイルスチェックをおすすめします。
  本機で「VirusScan」を初めてお使いになるときは、「コンピュータウィルスについて」(104ページ) の手順に従ってインストール作業を行ってください。
- コンピュータウイルスはフロッピーディスクなどを介して広がることがありますので、他人のフロッピーディスクなどを使うときはご注意ください。フロッピーディスクなどのデータを共有する場合は、共有する人を限定してください。
- 新種のウイルスに対応するため、ウイルスに関するデータファイルは常に更新することをおすすめします。インターネット上で、下記のURLより最新のデータファイルを入手できます。
  http://www.nai.com/japan/
- ウイルスデータファイルの更新や「VirusScan」ソフトウェアの使いかたについて詳しくは、「VirusScan」のヘルプをご覧ください。

ウイルスが侵入して被害を受けてしまったときに備えて、日頃から作成した文書のバックアップをとる習慣をつけましょう。

ソフトウェアの不正コピー禁止について

本機に付属のソフトウェアは、ライセンスあるいはロイヤリティ契約のもとに供給されています。これらのソフトウェアを不正にコピーすることは法律で禁止されています。
また、店頭で購入したソフトウェアを人に貸したり、人からソフトウェアを借りてコピーして使うことは禁じられています。ソフトウェアの使用許諾書をよくお読みのうえ、お使いください。

ソフトウェアと周辺機器の動作について

一般的にWindows 2000用、DOS/V用などと表記している市販ソフトウェアや周辺機器の中には、本機で使用できないものがあります。ご購入に際しては、販売店または各ソフトウェアおよび周辺機器の販売元にご確認ください。市販ソフトウェアおよび周辺機器を使用された場合の不具合や、その結果生じた損失については、一切責任を負いかねます。また、本機に付属のOS以外をインストールした場合の動作保証はいたしかねます。

CD-RW/DVDドライブの地域番号書き替えについて

工場出荷時、ドッキングステーションのCD-RW/DVDドライブの地域番号（リージョンコード）は「2」（日本）に設定されています。
Windows 2000および一部のソフトウェアには地域番号を
書き替える機能がありますが、ご使用にならないでください。これらの機能を使用した結果生じた不具合につきましては、保証期間内であっても、有償修理とさせていただきます。

お手入れ

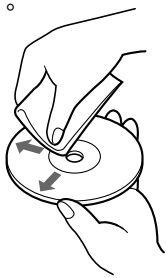
- 本機についたゴミやほこりなどは、乾いた布で軽く拭き取ってください。
- 液晶ディスプレイは、乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。汚れてきたと思ったら、こまめに拭くように心がけてください。

ご注意

- 濡れたもので液晶ディスプレイを拭かないでください。内部に水が入ると故障の原因となります。
- アルコールやシンナーなど揮発性のものは、表面の仕上げを傷めますので使わないでください。
  化学ぞうきんをお使いになるときは、その注意書きに従ってください。

CD-ROM、DVD-ROM ディスクのお手入れ

- 指紋やほこりによるディスクの汚れは、読みとりエラーの原因になります。いつもきれいにしておきましょう。
- ふだんのお手入れは、柔らかい布でディスクの中心から外の方向へ軽く拭きます。



次のページにつづく

- 汚れがひどいときは、水で少し湿らせた布で拭いたあと、さらに乾いた布で水気を拭き取ってください。
- ベンジンやレコードクリーナー、静電気防止剤などはディスクを傷めることがありますので、使わないでください。

CD-RW、CD-Rディスクのお手入れ

- CD-RW、CD-Rディスクは、データを記録する前には絶対にクリーナーで拭かないでください。ほこりなどの汚れは、ブロワーを使って吹き飛ばしてください。
- ベンジンやシンナー、静電気防止剤などはディスクを痛めることがありますので、使わないでください。
- CD-RW、CD-Rの未記録部分にキズやほこりがあると正しいデータが記録できないことがあります。取り扱いには充分ご注意ください。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品は保証書が添付されていますので、お買い上げの際、お買い上げ店からお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より3か月間です。ユーザー登録していただいたお客様は1年間になります。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この取扱説明書をもう1度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときはVAIOカスタマーリンクへご連絡ください

VAIOカスタマーリンクについては、別冊の「VAIOサービス・サポートのご案内」をご覧ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。ただし、故障の原因が不当な分解や改造であると判明した場合は、保証期間内であっても、有償修理とさせていただきます。
詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。

修理について

当社ではノートブックコンピュータの修理は引取修理を行っています。
当社指定業者がお客様宅に修理機器をお引き取りにうかがい、修理完了後にお届けします。詳しくは別冊の「VAIOサービス・サポートのご案内」をご覧ください。

データのバックアップのお願い

修理に出すまえに、ハードディスクなどの記録媒体のプログラムおよびデータは、お客様にてバックアップされますようお願いいたします。当社の修理により、ハードディスク内のプログラムおよびデータが万一消去あるいは変更された場合に関しても、当社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
なお、ハードディスクなどの記録媒体そのものの故障の場合には、プログラムおよびデータの修復はできません。

部品の保有期間について

当社ではノートブックコンピュータの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後8年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、VAIOカスタマーリンク修理窓口にご相談ください。

ご相談になるときは次のことをお知らせください。

- **型名：IDラベル（17ページ）または保証書に記載されています**
- **製造番号：本体底面または保証書に記載されています**
- **故障の状態：できるだけ詳しく**
- **購入年月日：**

部品の交換について

この製品は、修理の際に交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

主な仕様

プロセッサ

Intel® SpeedStep™テクノロジ対応
Pentium®IIIプロセッサ
850 MHz[1)]
[1)] ACアダプタ使用（最高パフォーマンス）時
バッテリ使用（最適化パフォーマンス）時は
700 MHz（工場出荷時）

キャッシュ（プロセッサに内蔵）
1次：32 Kバイト
2次：256 Kバイト

プロセッサシステムバスクロック
100 MHz

チップセット

Intel® 815EMチップセット

メインメモリ

128 Mバイト オンボード（SDRAM）
最大256 Mバイトまで拡張可能

メモリバスクロック
100 MHz

拡張用メモリスロット

拡張用SODIMMスロット（1）

グラフィックアクセラレータ

高速グラフィックアクセラレータ
（Intel® 815EMチップセットに内蔵）
ディスプレイキャッシュ4 Mバイト

ビデオメモリ

最大11 Mバイト（メインメモリと共用）

液晶ディスプレイ

12.1 型、XGA対応、TFTカラー液晶

液晶ディスプレイ表示モード

1,024 × 768ドット（約1,677万色）[2)]
800 × 600ドット（約1,677万色）[2)]
640 × 480ドット（約1,677万色）[2)]
[2)] グラフィックアクセラレータのディザリング
により実現

外部ディスプレイ表示モード

1,400 × 1,050ドット（65,536色）
1,280 × 1,024ドット（約1,677万色）[3)]
1,024 × 768ドット（約1,677万色）[3)]
800 × 600ドット（約1,677万色）[3)]
640 × 480ドット（約1,677万色）[3)]
[3)] 外部ディスプレイによっては、使えない
表示モードがあります。

ハードディスクドライブ

20.0 Gバイト
ATA66対応
C:ドライブ 12.0 Gバイト
D:ドライブ 8.0 Gバイト（工場出荷時）
（1 Gバイト=10億バイトで算出）

ネットワーク

IEEE 802.3 10BASE-T
IEEE 802.3u 100BASE-TX
オートネゴシエーション、全二重　対応

外部接続

ドッキングコネクタ
専用コネクタ、100ピン (1)

i.LINK (IEEE1394) コネクタ
S400 4ピン (1)　S400＝400 Mbps

USBコネクタ
USB 4ピン (2)

MONITORコネクタ
アナログRGB、ミニD-SUB 15ピン (1)

マイク入力コネクタ
モノラルミニジャック (1)

ヘッドホン出力コネクタ
ステレオミニジャック (1)

モデムコネクタ
モジュラジャック (1)

ネットワークコネクタ
RJ45 (1)

インジケータ

(パワー) ランプ
(バッテリ) 1/2ランプ
(ハードディスク) ランプ
("メモリースティック") ランプ
(ドッキングステーション) ランプ
(Num Lock) ランプ
(Caps Lock) ランプ
(Scroll Lock) ランプ

PCカードスロット

Type I／II 、CardBus対応 (1)

メモリースティックスロット

マジックゲート対応メモリースティック
スロット (1)

オーディオ機能

ウィンドウズサウンドシステム互換、
AC97準拠、ソフトウェアMIDI音源、
3Dサウンド機能、ステレオスピーカー

内蔵モデム

V.90およびK56flex対応
データ受信時最大56 kbps
データ送信時最大33.6 kbps
ファックス送受信時最大14.4 kbps

入力デバイス

インテリジェント タッチパッド、センター
ジョグ

電源・その他

電源
ACアダプタまたはバッテリ
DC端子入力 DC19.5 V、3 A

バッテリ駆動時間
約3～4.5時間

外形寸法
約 279.5 × 23.0 × 239.0 mm
(幅／高さ (最薄部) ／奥行き)

質量
約 1.7 kg (バッテリ装着時)

ACアダプタ [4)]

電源
AC 100～240 V、50/60 Hz
(付属電源コードはAC100V用)
[4)] その他の仕様については、ACアダプタの
ラベルをご覧ください。

バッテリ

出力電圧
14.8 V

付属品

「付属品を確かめる」(12ページ) をご覧くだ
さい。

ドッキングステーション

(PCG-R505R/DKにはPCGA-DSM5が付属)

ドライブ

PCGA-DSM5

読み出し
- CD-ROM、CD-R：最大24倍速
- CD-RW：最大12倍速
- DVD-ROM：最大8倍速

書き込み
- CD-R：最大8倍速
- CD-RW：最大4倍速

マルチセッション対応、12／8 cm対応トレイタイプ

PCGA-DSD5

読み出し
- CD-ROM：最大24倍速
- DVD-ROM：最大8倍速

マルチセッション対応、12／8 cm対応トレイタイプ

フロッピーディスクドライブ

3.5 型、1.44 Mバイト／720 Kバイト

外部接続

SERIALコネクタ
RS-232C、D-SUB 9ピン (1)

PRINTERコネクタ
ECP、D-SUB 25ピン (1)

MONITORコネクタ
アナログRGB、ミニD-SUB 15ピン (1)

USBコネクタ
USB 4ピン (2)

i.LINK (IEEE1394) コネクタ
S400 4ピン (1)　S400＝400 Mbps

ネットワークコネクタ
RJ45 (1)

ドッキングコネクタ
専用コネクタ、100ピン (1)

電源・その他

電源
ACアダプタまたはバッテリ (本機に装着時のみ)

外形寸法
約279.5 × 18.5 (前部・最薄部、後部は21.5) × 235.0 mm (幅／高さ／奥行き)

質量
PCGA-DSM5　約1,080 g
PCGA-DSD5　約1,030 g

別売り品

ACアダプター
PCGA-AC19V

リチャージャブルバッテリーパック (L)
PCGA-BP2R

リチャージャブルバッテリーパック (LLL)
PCGA-BP4R

CD-RW/DVD ドッキングステーション
PCGA-DSM5 (PCG-R505R/DKは付属)

DVD ドッキングステーション
PCGA-DSD5

CD-RWドライブ
PCGA-CDRW52

USBフロッピーディスクドライブ
PCGA-UFD5

CD-ROMドライブ
PCGA-CD51/A

USBマウス
PCGA-UMS1/A

増設メモリーモジュール
64 Mバイト増設メモリーモジュール
PCGA-MM64N
128 Mバイト増設メモリーモジュール
PCGA-MM128N

動作・保存環境

動作温度
5 ℃～35 ℃ (温度勾配10 ℃／時以下)

動作湿度
20 %～80 % (結露のないこと)
ただし35 ℃における湿度は65 %以下
(湿球温度29 ℃以下)

保存温度
–20 ℃～60 ℃ (温度勾配10 ℃／時以下)

保存湿度
10 %～90 % (結露のないこと)
ただし60 ℃における湿度は20 %以下
(湿球温度35 ℃以下)

仕様および外観は改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

付属ソフトウェアについて

本機には以下のソフトウェアが付属しています。
本機オンラインマニュアル内「付属ソフトウェア」では、各ソフトウェアの起動方法やお問い合わせ先などを説明しています。また、ソフトウェアの使いかたがわからなくなったときのために、各ソフトウェアにつき「操作がわからなくなったときは」の項目があります。あわせてご覧ください。

ソフトウェアに関するお問い合わせについて

それぞれのソフトウェアによってお問い合わせ先が異なります。
各ソフトウェアごとに記載された先へお問い合わせください。
特に指示のない場合は、VAIOカスタマーリンクへお問い合わせください。

クリエーション

❑ Adobe PhotoDeluxe for **ファミリー**

画像を修正／加工するためのソフトウェア

お問い合わせ先：アドビ システムズ サポート契約センター
電話番号：(03) 5350-8688
初回コールより90日間の無料サポート。以後は同社による有料サポートメニューが用意されています。

❑ Drag'n Drop CD

自分だけの音楽CDやデータCDなどを作成することができるCDライティングソフトウェア
本機でお使いになる際は、CD-RW/DVDドッキングステーションPCGA-DSM5またはCD-RWドライブPCGA-CDRW51/A、PCGA-CDRW52が必要です。

お問い合わせ先
ホームページ：http://www.easy.co.jp/dd/sony/

❑ DVgate

動静止画編集用にデジタルビデオカメラレコーダーなどの機器から動画や静止画を取り込むためのソフトウェア

❑ MovieShaker

取り込んだ動画を編集するためのソフトウェア

次のページにつづく

❑ PictureGear
静止画や動画を見たり、保管するためのソフトウェア

❑ PictureToy
写真や地図などの静止画を下敷きとして、その上に重ねてお絵描きをするためのソフトウェア

オーディオ＆ビジュアル

❑ Beatnik Player
インターネット上で音楽やサウンドのインタラクティブ体験をすることを可能にする、ウェブブラウザ用のプラグイン・ソフトウェア

お問い合わせ先
電子メール：vaiouser@beatnik.com

❑ Media Bar
音楽を聞いたり、映像を見たりするためのソフトウェア

❑ OpenMG Jukebox
ハードディスクに保存したデジタル音楽コンテンツを楽しむためのソフトウェア

❑ PicoPlayer
「Giga Pocket」ソフトウェア（Version 4.0以降）が搭載されている「バイオ」と組み合わせて使用するソフトウェア
ご利用にあたっては、本機の他に「Giga Pocket」ソフトウェアが搭載されている「バイオ」が必要です。

❑ QuickTime
動画を再生したり静止画を表示するためのソフトウェア
マルチプラットフォーム対応マルチメディア・アーキテクチャの業界標準です。

❑ RealPlayer
インターネットで配信されている動画を再生するためのソフトウェア

お問い合わせ先：リアルネットワークス株式会社　サポートセンター
電話番号：(03) 5466-1458

❑ Windows Media™ Player
音楽や動画などのファイルを再生するためのソフトウェア

❑ WinDVD™ 2000

DVDを再生したり、高画質なビデオデコードをするためのソフトウェア
本機でDVDを再生するには、ドッキングステーションが必要です。

エンターテインメント

❑ MusicShaker

「OpenMG Jukebox」ソフトウェアに取り込んだ曲を楽しく再生するための、音楽ファイル再生ソフトウェア

コミュニケーション

❑ AOL

オンラインサービス「AOL」を利用するためのソフトウェア

お問い合わせ先：AOLジャパン株式会社　AOLサポートセンター
電話番号：(03) 5331-7400

❑ BIGLOBEサインアップナビ

インターネット接続サービス「BIGLOBE」に入会するためのソフトウェア
お問い合わせ先：BIGLOBEインフォメーションデスク
電話番号：(0120) 86-0962 (フリーダイヤル)
携帯電話：(03) 3947-0962
受付時間：24時間365日

❑ DIONオンラインサインアッププログラム

インターネット接続サービス「DION」に入会するためのソフトウェア

お問い合わせ先：KDDI　カスタマサービスセンター
内容に関するお問い合わせ
電話番号：(0077) -7192 (無料)
接続・設定などに関するお問い合わせ
電話番号：(0077) -20227 (有料、全国一律1分10円)
上記番号につながらない場合は
札幌 (011) 232-7012／東京 (03) 5348-3975 (有料)

次のページにつづく

❑ DreamStart

インターネット接続サービス「DTI」に入会するためのソフトウェア

お問い合わせ先：DTIカスタマーセンター
入会のお問い合わせ・資料請求：0120-830501
受付時間：平日11時～19時　土曜日11時～17時
電子メール：service@dti.ad.jp

❑ eBay**ご紹介**

インターネットオークションサイト「eBay」のご紹介のソフトウェア

お問い合わせ先
電子メール：jpsupport@ebay.com

❑ Eudora

電子メールを送受信するためのソフトウェア

お問い合わせ先
電話番号：(06) 6441-0234
ファックス番号：(06) 6441-0235
電子メール：eudora-sales@kuni.co.jp

❑ Microsoft® Internet Explorer

インターネット用ブラウザ

❑ Microsoft® Outlook Express

電子メールを送受信するためのソフトウェア

❑ @nifty**でインターネット**

インターネット接続サービス「@nifty」に入会するためのソフトウェア

お問い合わせ先：ニフティ株式会社　@niftyサービスセンター
電話番号：(0120) 816-042（フリーダイヤル）
受付時間：毎日 9時～21時　（ビルの電源工事などによりお休みさせていただく場合があります。）

❑ ODN**スターターキットソフトウェア**

インターネット接続サービス「ODN」に入会するためのソフトウェア

お問い合わせ先：日本テレコム株式会社　ODNサポートセンター
電話番号：0088-86（無料）

❑ PostPet for Windows

ペットが電子メールを運ぶ、電子メールをやりとりするための
ソフトウェア

お問い合わせ先

ポストペットホームページ

http://www.so-net.ne.jp/postpet/

❑ P'zDialer

ネットワークサービス「ぷらら」を利用するためのソフトウェア

お問い合わせ先：株式会社ぷららネットワークス「ぷららダイアル」

電話番号：(03) 5954-5330

❑ Smart Capture

インターネット配信用にデジタルビデオカメラレコーダーなどの機器から
動画や静止画を取り込むためのソフトウェア

❑ Smart Connect

i.LINKケーブルで接続したVAIO間でファイルを共有するための
ソフトウェア

❑ Smart Connect**モニタ**

「Smart Connect」を使って接続しているコンピュータを一覧表示したり、データの転送状況を見るためのソフトウェア

次のページにつづく

❑ **So-net簡単スターター**

インターネットサービスプロバイダ「So-net」に入会するための
ソフトウェア

お問い合わせ先：So-netインフォメーションデスク
電話番号：(0570) 00-1414（全国共通）
携帯・PHSからおかけになる場合は、こちらへおかけください。
札幌 (011) 711-3765／仙台 (022) 256-2221／
東京 (03) 3446-7555／名古屋 (052) 819-1300／
大阪 (06) 6577-4000／広島 (082) 286-1286／
福岡 (092) 624-3910
受付時間：10時～21時　年中無休
ご入会方法、サービス内容のお問い合わせ、各種会員情報の変更方法や課金状況の確認などのお問い合わせは、上記の電話番号のほか、ファックスや電子メールでも承ります。
ファックス番号：(03) 3446-7557
電子メール：info@so-net.ne.jp

❑ **Wireless LAN ユーティリティ・ドライバ**

ソニー製ワイヤレスLAN PCカードを使用するためのソフトウェア

❑ **さくらのブラウザバンキングサービス**

さくら銀行のホームページにアクセスします

お問い合わせ先：さくらテレホンダイレクト
電話番号：(0120) 506-390（フリーダイヤル）

❑ **バイオネットワークサービスオンラインサインアップ**

VAIOカスタマー専用のインターネット接続サービス「バイオネットワークサービス」に入会するためのソフトウェア

お問い合わせ先：
ソニースタイルドットコム・ジャパン株式会社
バイオネットワークサービスセンター
電話番号：(03) 5783-1133

リファレンスツール

❑ Adobe Acrobat Reader

本機や各ソフトウェアオンラインマニュアルなどのPDF形式の書類を画面上で読むためのソフトウェア

❑ Navin' You

付属のNavin' You専用マップサンプル版を見たり、インターネットから店舗情報を検索したりするためのソフトウェア

❑ **Navin' You専用マップサンプル版**

東京23区／名古屋市／大阪市エリアの機能限定サンプル版

お問い合わせ先：　株式会社ゼンリン　お客様ご相談窓口

電話番号：(03) 5259-5077

受付時間：10時～12時／13時～17時　月～金（祝日は除く）

❑ Roboword

英単語を和訳するためのソフトウェア

お問い合わせ先：

株式会社テクノクラフト　ロボワードユーザーサポート

電話番号：(03) 5821-1830

❑ **ハイパーダイヤ**

時刻表や運賃などを検索するためのソフトウェア

お問い合わせ先：

(株) 日立情報システムズ　ハイパーダイヤ ユーザーサポートセンター

電話番号：(03) 3464-7844

❑ **郵便番号検索ツール**

郵便番号から住所を検索したり、住所から郵便番号を検索するためのソフトウェア

ユーティリティ

❑ CyberSupport

本機を使っていて困ったことや疑問があった場合に使用するソフトウェア

❑ PowerPanel

本機の動作モードを切り替えるためのソフトウェア

❑ Sony Notebook Setup

本機の使用状況に合わせた動作環境をつくるためのソフトウェア

❑ UI Design Selector

ソニー製ソフトウェアのインターフェイスデザインを変更するためのソフトウェア

次のページにつづく

❑ VAIO Action Setup

本機のセンタージョグの働きやタイマーを設定するためのソフトウェア

❑ VirusScan

コンピュータウイルスを検出／除去するためのソフトウェア

「コンピュータウイルスについて」(104ページ) もあわせてご覧ください。

お問い合わせ先：

日本ネットワークアソシエイツ株式会社　テクニカルサポート

電話番号：(03) 3379-7770

❑ VisualFlow

“メモリースティック”やハードディスクに保存されている静止画、動画、音声のファイル表示し、選択したファイルを他のソフトウェアで表示／再生するためのソフトウェア

❑ **ジョグダイヤルウィンドウ**

本機のセンタージョグを使ってできる操作のガイドを表示するソフトウェア

❑ **できる**Windows for VAIO

インプレス「できるシリーズ」のデジタル版

お問い合わせ先：インプレスカスタマーセンター

電話番号：(03) 5213-9295

❑ **メモリースティックフォーマッタ**

“メモリースティック”をフォーマット（初期化）するためのソフトウェア

その他

❑ VAIO**オンラインカスタマー登録**

本機のカスタマー登録をするためのソフトウェア

カスタマー登録の手順について詳しくは、「カスタマー登録する／インターネット登録する」(32ページ) をご覧ください。

お問い合わせ先：

ソニーマーケティング株式会社 VAIOカスタマー専用デスク

電話番号：(03) 3584-6651

❑ **リカバリ** CD

本機の操作中に誤ってハードディスクを初期化してしまったり、Windowsなどのシステムファイルを消してしまった場合に、ハードディスクの内容を工場出荷時の状態に戻すためのCD-ROM

索引

五十音順

ア行

アプリケーション リカバリ CD-ROM 115, 119, 123
インターネットに接続する 32
液晶ディスプレイ 17, 83, 124
オンラインマニュアル 40, 41, 46

カ行

キートップ 88
キーボード
　キーボードショートカット 56
　使う 52
クリック 51
　ダブルクリック 51
　右クリック 51
結露 124
コンピュータウイルス 104, 127

サ行

システム リカバリ CD-ROM 115, 117, 118, 122
センタージョグ 16, 18
ソフトウェア
　不正コピー禁止について 128
　オンラインマニュアルを見る 46
　付属ソフトウェア 135

タ行

タッチパッド
　クリックする 51
　スクロールする 51
　ダブルクリックする 51
　使う 50
　ドラッグアンドドロップする 51
　ドラッグする 51
　左ボタン 50
　右クリックする 51
　右ボタン 50
ダブルクリック 51
データのバックアップをとる 2, 125
ディスク
　お手入れ 129
　取り扱いについて 126
ディスプレイパネルを開く 23
テレホンコード 12, 33
電源
　入れる 22
　切る 31
　コード 12, 23
電話回線につなぐ 33
トーン式ダイヤル 36
ドッキングステーション 60
ドラッグ 51
ドラッグアンドドロップ 51

ナ行

内蔵スピーカー 18, 57
ネットワークコネクタ 19, 62

ハ行

パーティションサイズを変更する 121
ハードディスク
　取り扱いについて 125
　パーティションを区切る 121
　バックアップをとる 2, 125
バッテリ 12
　ランプ 17
パルス式ダイヤル 36
パワーボタン 17, 24
左ボタン 50
付属ソフトウェア 135
プリンタコネクタ 62
フロッピーディスク 60, 89
　ドライブ 62
　取り扱いについて 125
ヘルプ
　ヘルプを見る 47
ポインタ 26, 50

マ行

右ボタン 50, 51
メモリ
　増設する 109
　モジュールを取り付ける 109
　モジュールを取りはずす 112
“ メモリースティック ” 93, 126
　スロット 18
モジュラジャック 19, 33

ラ行

リカバリ CD
　再セットアップする 117
　リカバリ CDとは 115

アルファベット順

A

ACアダプタ 12, 23
AC電源 23

C

CD-ROM 92
　お手入れ 129
　取り扱い 126
CD-RW 92
　お手入れ 130
　取り扱い 126
CyberSupport 70

D

DVD-ROM 92
　お手入れ 129
　地域番号 129
　取り扱い 126

F

Fnキー 57

I

i.LINK 14, 19, 62, 63, 94
IDラベル 17, 131
ISDN 6, 32

L

LCD/Videoスタンバイ 83

M

MONITORコネクタ 18, 62

N

Num Lkキー 52, 55

P

PBX 6, 34
PCカード 96
　使用時のご注意 127
　スロット 19

S

Sony Notebook Setup 114

U

USBコネクタ 18, 19, 62, 63

V

VirusScan 104, 128

W

Windowsキー 56
Windows 2000 ..... 13, 26

- VAIO はソニー株式会社の商標です。
- “MagicGate MemoryStick”(“マジックゲートメモリースティック”) および MG 、“Memory Stick”(“メモリースティック”)、 、“MagicGate”(“マジックゲート”)、MAGICGATE 、OpenMG、OpenMG は、ソニー株式会社の商標です。
- So-net、ソネットおよびSo-netロゴはソニー株式会社の登録商標です。
- i.LINKは、IEEE1394-1995およびその拡張仕様を示す呼称です。i.LINKとi.LINKロゴ “ ” は商標です。
- Intel、Pentium、Celeron、SpeedStepは、Intel Corporationの商標または登録商標です。
- Microsoft、MS-DOS、Windows、Windows MediaおよびOutlookは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- IBMおよびPC/AT、PS/2は、米国International Business Machines Corporationの商標および登録商標です。
- Adobe®、Adobe® PhotoDeluxe®およびAdobe® Acrobat® ReaderはAdobe Systems Incorporated（アドビ システムズ社）の商標です。
- Copyright © 2000 DigiOn Inc. and Easy Systems Japan Ltd. All rights reserved. Drag'n Drop CDはEasy Systems Japan Ltd.とDigiOn Incの商標です。
- Beatnik Player はBeatnik, Inc.の登録商標です。
- QuickTime and the QuickTime logo are trademarks used under license. QuickTime is registered in the U.S. and other countries.
- 「RealPlayer」は、米国また諸各国において、米国 RealNetworks, Inc.社の登録商標あるいは登録申請中の商標です。
- Copyright Inter Video, Inc 2001 All Rights Reserved.
- 2000 AMERICA ONLINE. INC. All Rights Reserved.
- BIGLOBEは日本電気株式会社の登録商標です。
- DIONは株式会社ディーディーアイの登録商標です。
- DREAM TRAIN INTERNET INC. All rights reserved.
- eBay及びeBayロゴは、米国eBay, Inc.の米国及びその他の国における登録商標または商標です。
- Copyright © 1991-2000 QUALCOMM, Incorporated.
  Copyright © 1995-2000 株式会社クニリサーチインターナショナル
- K56flexはConexant Systems, Inc.とLucent Technologies社の商標です。
- @niftyはニフティ株式会社の商標です。
- ODNは日本テレコム株式会社の商標です。
- PostPet、ポストペットおよびPostPetロゴはソニーコミュニケーションネットワーク株式会社の登録商標または商標です。
- 「ぷらら」は株式会社ぷららネットワークスの商標です。
- Robowordは株式会社テクノクラフトの登録商標です。
- ハイパーダイヤは、（株）日立情報システムズの登録商標です。

次のページにつづく

- PowerPanel は米国フェニックス テクノロジーズ社の商標です。
- VirusScanは日本ネットワークアソシエイツ株式会社の商標です。
- 「できる」は株式会社インプレスの登録商標です。
- その他、本書で登場するシステム名、製品名、サービス名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では™、®マークは明記していません。

ソフトウェアをお使いになる前に、必ずお買い上げのパソコンに添付のソフトウェア使用許諾契約書をご覧ください。

この説明書は再生紙を使用しています。

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象商品に関する基準を満たしていると判断します。

国際エネルギースタープログラムは、コンピュータをはじめとしたオフィス機器の省エネルギー化推進のための国際的なプログラムです。このプログラムは、エネルギー消費を効率的に抑えるための機能を備えた製品の開発、普及の促進を目的としたもので、事業者の自主判断により参加することができる任意制度となっております。対象となる製品はコンピュータ、ディスプレイ、プリンタ、ファクシミリおよび複写機等のオフィス機器で、それぞれの基準ならびにマーク（ロゴ）は参加各国の間で統一されています。

充電式電池の収集・リサイクルについて

リチウムイオン電池は、リサイクルできます。不要になったリチウムイオン電池は、金属部にセロハンテープなどの絶縁テープを貼って充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。

Li-ion

充電式電池の収集・リサイクルおよびリサイクル協力店に関する問い合わせ先：

社団法人電池工業会　ホームページ:http://www.baj.or.jp

- □ 権利者の許諾を得ることなく、本機に付属のソフトウェアおよび取扱説明書の内容の全部または一部を複製すること、およびソフトウェアを賃貸することは、著作権法上禁止されております。
- □ 本機、および本機に付属のソフトウェアを使用したことによって生じた損害、逸失利益、および第三者からのいかなる請求等につきましても、当社は一切その責任を負いかねます。
- □ 本機の保証条件は、同梱の当社所定の保証書の規定をご参照ください。
- □ 本機に付属のソフトウェアは、本機以外には使用できません。
- □ 本機、および本機に付属のソフトウェアの仕様は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご容赦ください。
- □ CD-ROMや音楽CDからのコピーの作成およびその利用は、使用許諾条件または著作権法に違反する場合があります。コピーの作成およびその利用にあたっては、オリジナルCDの利用許諾条件および著作権法を遵守してください。使用許諾条件、著作権法についてご不明な点がある場合は、法律の専門家にご相談ください。

VAIOホームページ
VAIOを楽しく使っていただくための情報をご案内します。
● http://www.vaio.sony.co.jp/

VAIOカスタマーリンク ホームページ
VAIOの最新サポート情報をご案内します。
● http://vcl.vaio.sony.co.jp/

http://www.sony.co.jp/

ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川6-7-35

Printed in Japan